

令和3年度 事業報告書

ふれあいネットワーク



社会福祉法人

尾道市社会福祉協議会

目 次

1. 法人運営事業

(1) 理事会、評議員会等の開催	2
(2) 役員・評議員・監事研修会	4
(3) 福祉基金の運用	5
(4) ボランティア基金の運用	5
(5) 金山基金の運用	6
(6) 社協会員の加入促進	6
(7) 寄付金の受付	7

2. 地域福祉事業

(1) 地区社協等地域組織強化事業	8
(2) ふれあいサロン事業	14
(3) 生活福祉資金貸付事業	20
(4) 福祉サービス利用援助事業「かけはし」	20
(5) 法人後見事業	21
(6) 認知症高齢者見守り事業	21
(7) 認知症サポーター養成事業	23
(8) 認知症カフェ推進事業	27
(9) 住民参加型ふれあいサービス事業	31
(10) 介護器具等の貸し出し事業	31
(11) 福祉総合相談事業	31
(12) 生活困窮者自立支援事業	32
(13) 生活支援体制整備事業	37
(14) おのみち福祉まつり・尾道市社会福祉大会等の開催	38
(15) 広報啓発活動	40
(16) 民生委員児童委員協議会との連携	40
(17) 福祉まるごと相談窓口事業	40

3. 福祉人材養成事業

(1) 地域人材確保推進体制整備事業	45
(2) 大学、専門学校等社会福祉援助技術実習生等の受け入れ	46
(3) 日本赤十字社講習会	46

4. 福祉教育推進事業

(1) 児童・青少年を対象とした福祉教育	47
----------------------	----

5. ボランティア活動推進事業

(1) ボランティアセンターの運営	49
-------------------	----

(2) ボランティア養成事業	53
6. 高齢者福祉事業	
(1) 第47期尾道いきいき大学	56
(2) 敬老会	58
7. 障害者福祉事業	
(1) 障害者社会参加促進事業	61
(2) 障害者当事者団体への支援・協力	63
8. 児童福祉事業	
(1) 子育て支援ネットワークづくり	64
(2) 子どもの居場所づくり	67
9. 母子・父子福祉事業	
(1) ひとり親家庭の就労支援講座	68
10. 尾道市総合福祉センター等の管理	
(1) 尾道市総合福祉センターの管理	68
(2) 向島福祉支援センター（愛あいセンター）の管理	70
(3) 因島総合福祉保健センターの管理	70
11. 尾道市総合福祉センター事業	
(1) 障害者福祉センター事業	71
(2) 老人福祉センター事業	72
(3) 児童センター事業	73
(4) 母子・父子福祉センター事業	75
(5) 福祉センター事業「よりあい広場」	76
12. 共同募金事業	76
13. 災害支援事業	
(1) 災害ボランティアセンター	78
14. 地域包括支援センター事業	
(1) 総合相談・支援業務	78
(2) 介護プラン作成件数	78
(3) 介護予防普及啓発事業	78
(4) 地域活動	80
(5) 認知症地域支援推進員の活動	82
(6) 包括支援センター担当者会議	84
(7) 研修等	86

15. 介護保険事業

- (1) 居宅介護支援事業 91
- (2) 訪問介護事業 95
- (3) 訪問入浴介護事業 98
- (4) 通所介護事業 99

16. 障害福祉サービス事業

- (1) 障害者訪問介護事業 103
- (2) 障害者訪問入浴介護事業 103
- (3) 障害者通所介護事業 104

令和3年度 事業報告

少子・高齢化による人口減少、単身世帯の増加、社会的孤立等が発生し、地域住民が抱える生活課題も多様化、複雑化しています。公共サービスだけで課題を解決することが困難となり、地域で暮らす全ての人がいきいきと幸せな生活を送るためには、住民同士の支え合いやセーフティーネット機能の強化がますます重要になっています。

しかし、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中で人と人とが互いに接触する機会を減らすことが求められ、社会的にも大きな影響が出ました。

このような中、尾道市社会福祉協議会（以下、「本会」という。）では、地域のつながりを大切にし、住み慣れた地域で安心して生活できることを目指して、事業を実施しました。

生活支援体制整備事業では、北部・中央・西部・南部（因島）・南部（瀬戸田）地域包括支援センターの各圏域において事業を実施し、旧尾道地域の第2層協議体の圏域見直しを受け、地区社協と設立に向けた協議を進めました。

小地域ネットワーク推進事業では、地区社協や町内会の4地区において生活課題の把握や支援の方法など、地域の実情にあった支え合いの地域づくりに取り組みました。

生活困窮者自立支援事業では、生活困窮者の早期発見を図り、自立した生活を行えるよう関係機関と連携して総合的なサポートを実施しました。前年に引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、新規相談受付件数422件（コロナ感染拡大前比2倍）、延べ対応件数で8,192件（同比3倍）の対応をしています。

福祉まるごと相談窓口事業では、相談件数が44件ありました。また、多機関で協働して支援体制を構築するための仕組みづくりとして、地域共生包括化推進会議を全7回開催しました。複合・多問題ケース解決のための個別ケース会議は9回開催し、多機関で連携した支援に努めました。

生活福祉資金貸付事業では、通常の貸付事業に加え、新型コロナウイルス感染症の影響による特例貸付（緊急小口資金・総合支援資金）に取り組みました。生活困窮者施策として実施された、住居確保給付金（通常・コロナ特例支給）・自立支援給付金とあわせ、本会が窓口となった支援については、総額約1億9,680万円にのぼりました。

ボランティア養成事業では、各種ボランティア養成講座の開催に努め、更なる地域ボランティアの育成を図りました。

ふれあいサロン事業では、新型コロナウイルス感染症の影響で開催期間は限られていましたが161カ所で開催され、その内、常設型（週1回以上開催）サロンも23カ所で開催されました。

子育て支援事業では、子育てサロンやブックスタートを通して子育て中の親子の支援を行い、他機関と連携して、子育て支援ネットワークづくりの推進に努めました。

認知症の人にやさしいまちづくり事業では、認知症の方や家族を支援するため支援員を派遣するとともに、地域で認知症に対する理解を深めるため、認知症サポーター養成事業等に取り組みました。

そのほか、福祉サービス利用援助事業（かけはし）は、59人の方に、法人後見事業は、3人の方の後見人として支援を行いました。広島県社会福祉協議会が実施する各種研修の外、尾道市主催の職員研修にも参加し、職員の資質向上に努めました。

介護保険、障害福祉サービス、介護予防・日常生活支援総合事業では、特に、新型コロナウイルスの感染拡大の防止に向け、「3つの密」を避ける、マスク、手洗い(消毒)の基本的な対策に加え、県境を越える移動については、行き先の地域の要請を確認し、慎重に判断することで、職員・利用者ともに、ひとりの陽性者も出すことなく、個別に高齢者・障害者への介護サービス事業を実施しました。

また、利用者の人権擁護の観点から、虐待の発生を防止するため、虐待防止指針を整備して虐待防止検討委員会を設置し、介護サービス事業所全ての職員に研修を実施しました。

1. 法人運営事業

(1) 理事会、評議員会等の開催

理事会、評議員等を開催し、適正な運営に努めた。

① 理事会の開催

開催日	主な議題
第1回 6月11日(金) 同意者 16名 (決議の省略)	議案第1号 令和2年度事業報告について 議案第2号 令和2年度一般会計決算について 議案第3号 理事及び監事候補者の推薦について 議案第4号 評議員候補者の推薦について 議案第5号 評議員選任・解任委員の選任について 議案第6号 評議員選任・解任委員会の招集について 議案第7号 役員等賠償責任保険契約について 議案第8号 介護事業所運営規程の一部改正について 議案第9号 定時評議員会の決議の省略の方法による改正について 報告事項 介護事業所運営規程の一部改正について 報告事項 行事等の対応について 報告事項 市社協事務局体制について ※書面による同意
第2回 6月28日(月) 出席者 15名 (Web会議)	議案第10号 会長選任について 議案第11号 副会長選任について 協議事項 各委員会委員について 報告事項 職務執行状況報告について その他1 尾道市共同募金委員会について

第3回 11月12日(金) 出席者15名 (Web会議)	議案第12号 令和3年度一般会計補正予算(第1号)について 議案第13号 評議員会の招集について 報告事項 職務執行状況報告について その他1 尾道市総合福祉センターの使用について その他2 いきいき大学(修了式の簡略化)について
第4回 3月18日(金) 出席者14名 (Web会議)	議案第14号 令和3年度一般会計補正予算(第2号)について 議案第15号 令和4年度事業計画について 議案第16号 令和4年度一般会計収支予算について 議案第17号 給与規程の一部改正について 議案第18号 パートタイマー等職員就業規程の一部改正について 議案第19号 役員等賠償責任保険契約について 議案第20号 評議員会の招集について その他1 いきいき大学(入学式の簡略化)について

② 評議員会の開催

開催日	主な議題
第1回 6月28日(月) 同意者36名 (決議の省略)	議案第1号 令和2年度事業報告について 議案第2号 令和2年度一般会計決算について 議案第3号 理事の選任について 議案第4号 監事の選任について ※書面による同意
第2回 11月26日(金) 出席者35名 (Web会議)	議案第5号 令和3年度一般会計補正予算(第1号)について その他1 総合福祉センターについて その他2 いきいき大学(修了式の簡略化)について
第3回 3月28日(月) 同意者34名 (決議の省略)	議案第6号 令和3年度一般会計補正予算(第2号)について 議案第7号 令和4年度事業計画について 議案第8号 令和4年度一般会計収支予算について ※書面による同意

③ 監事会

開催日	主な議題
5月28日(金) 出席者2名	(1) 令和2年度事業監査について (2) 令和2年度一般会計監査について

④ 評議員選任・解任委員会

開催日	主な議題
6月14日(月) 出席者 3名	議案第1号 委員長の選任について 議案第2号 評議員の選任について

⑤ 表彰審査委員会

開催日	主な議題
10月6日(水) 出席者 6名	(1) 令和3年度社会福祉活動功労者及び介護者表彰について 市社協会会長表彰として、社会福祉協議会関係者 12名、民生委員児童委員 3名、社会福祉施設・団体関係者 18名、ボランティア(個人)10名、ボランティア(団体)2団体、介護者 1名を決定した。

(2) 役員・評議員・監事研修会

福祉活動の推進に役立てるため、研修会へ参加した。

開催日	主な内容
8月31日(火) ～ 9月14日(火) (視聴期間) [※オンラインにて開催。 参加者36名]	第66回 「広島県社会福祉夏季大学」 「ともに生きる」ための先駆的な実践から、「支え手」「受け手」の関係を越えて、地域の中で誰もが活躍できる場づくりや地域づくりを創出する視点と具体的な手法について学んだ。 講義1「子どもたちの笑顔を守るために私たちにできること」 講師：(一財) 児童虐待防止機構オレンジCAPO 理事長 島田妙子さん 講義2「福祉の再構築～あらゆる人が自然と混じり合う場づくり～」 講師：(株) ReDo 代表取締役 藤岡聡子さん 講義3「次世代につなぐCARE文化と地域づくり」 講師：(株) あおいけあ 代表取締役社長 加藤忠相さん

(3) 福祉基金の運用

福祉基金の利息を法人運営費として有効に活用した。

(単位 円)

区 分	令和3年度	令和2年度	令和元年度
① 積立状況	155,388,673	155,388,673	155,388,673
② 利息収入	1,522,438	1,522,497	1,522,437
③ 前期繰越金収入	24,934	22,437	0
④ 使途 法人運営事業	1,547,372	1,520,000	1,500,000
⑤ 次期繰越金	0	24,934	22,437

(4) ボランティア基金の運用

ボランティア基金の利息を福祉大会事業、子育て支援事業、ボランティア養成事業などへ有効に活用し事業の充実を図った。

(単位 円)

区 分	令和3年度	令和2年度	令和元年度
① 積立状況	352,276,008	352,276,008	352,276,008
② 利息収入	4,345,421	4,343,739	4,346,202
③ 前期繰越金収入	2,523,756	354,576	0
④ 使途の内訳 (合計)	6,869,177	4,698,315	4,346,202
ア 認知症高齢者見守り事業	0	0	54,529
イ ふれあいサービス事業	0	0	137,000
ウ 福祉総合相談事業	39,301	52,253	49,680
エ 福祉大会事業	205,272	280,104	700,000
オ 福祉まつり事業	0	48,800	152,214
カ 福祉教育事業	10,542	29,600	4,147
キ ボランティア養成事業	317,921	152,411	506,000
ク 子育て支援事業	218,101	206,391	441,942
ケ ブックスタート事業	0	0	32,114
コ 法人運営事業	1,591,000	1,405,000	1,914,000
サ 次期繰越金	4,487,040	2,523,756	354,576

(5) 金山基金の運用

金山基金は、法人事業運営費等へ有効に活用し事業の充実を図った。

(単位 円)

区 分	令和3年度	令和2年度	令和元年度
① 積立状況	106,074,704	112,074,704	132,074,704
② 利息収入	5,020	13,022	474,706
③ 基金取崩額	6,000,000	20,000,000	20,000,000
④ 前期繰越金収入	12,290,805	4,789,798	3,358,766
⑤ 使途の内訳 (合計)	18,295,825	24,802,820	23,833,472
ア 福祉大会事業	0	0	138,294
イ 生活支援体制整備事業	1,873	34,702	1,107
ウ ふれあいサロン事業	0	2,260	0
エ 老人センター事業	138,101	0	0
オ 障害者センター事業	226,130	216,478	38,538
カ 児童センター事業	469,698	251,755	2,442
キ 法人運営事業	14,935,362	12,006,820	18,863,293
ク 次期繰越金	2,524,661	12,290,805	4,789,798

(6) 社協会員の加入促進

世帯会員、団体会員、賛助会員の加入をお願いし、市社協への理解に努め協力を得た。

区 分	旧 尾 道		御 調		向 島	
	件数	金額(円)	件数	金額(円)	件数	金額(円)
世帯会費	27,239	4,085,900	2,025	303,850	4,961	744,150
団体会費	36	108,000	7	21,000	9	27,000
賛助会費 (事業所)	138	573,000	34	141,000	33	141,000
(個人)	87	285,000	2	8,000	4	14,000
合 計		5,051,900		473,850		926,150

区 分	因 島		瀬 戸 田		合 計	
	件数	金額(円)	件数	金額(円)	件数	金額(円)
世帯会費	8,062	1,209,300	3,526	528,900	45,813	6,872,100
団体会費	9	27,000	5	15,000	66	198,000
賛助会費 (事業所)	48	171,000	32	134,000	285	1,160,000
(個人)	7	30,000	5	17,000	105	354,000
合 計		1,437,300		694,900		8,584,100

(7) 寄付金の受付

福祉活動の財源として、市民の皆様の協力を得ることができた。

① 受付状況

区 分	旧 尾 道		御 調		向 島	
	件数	金額(円)	件数	金額(円)	件数	金額(円)
市社協指定分	61	1,849,500	30	723,000	54	890,000
地区社協指定分	65	1,490,462	7	180,000	75	1,455,000
合 計	126	3,339,962	37	903,000	129	2,345,000
(内訳)						
香典返し	109	2,748,000	36	853,000	126	2,285,000
一 般	17	591,962	1	50,000	3	60,000
物品寄付	2	44,468	1	149,310	0	0

区 分	因 島		瀬 戸 田		合 計	
	件数	金額(円)	件数	金額(円)	件数	金額(円)
市社協指定分	4	277,167	15	424,583	164	4,164,250
地区社協指定分	39	890,000	2	60,000	188	4,075,462
合 計	43	1,167,167	17	484,583	352	8,239,712
(内 訳)						
香典返し	31	540,000	15	430,000	317	6,856,000
一 般	12	627,167	2	54,583	35	1,383,712
物品寄付	0	0	0	0	3	193,778

② 寄付金管理運営委員会の開催

開催日	議 題
第1回 1月31日(月) 同意者9名 (決議の省略)	報告事項 (1) 令和2年度寄付金の取扱状況について (2) 令和2年度寄付金の使途について (3) 令和3年度寄付金の取扱状況について (4) 令和3年度寄付金の使途について 協議事項 (1) 令和4年度寄付金の使途について

2. 地域福祉事業

(1) 地区社協等地域組織強化事業

① 小地域ネットワーク推進事業

地区社協を基盤とした住民の見守りや支え合い活動の推進を目的に、令和3年度は2地区を新たにモデル指定し、指定2年目の2地区(継続)と合わせて4地区で小地域ネットワーク推進事業を展開した。助成は1地区につき年50,000円、モデル指定期間は2年間としている。

ア 小地域ネットワーク推進事業モデル指定で取り組んだ地区社協

(ア) 新規の地区社協

旧尾道地域：木ノ庄西地区、木頃地区

(イ) 継続中の地区社協

旧尾道地域：久保地区

向島地域：立花地区

イ モデル指定地区の主な取り組み

(ア) 新規地区

a 木ノ庄西地区……地域住民による高齢者見守り活動

(a) 支え合い・ふれあいネットワーク推進委員会の開催(6回)

(b) 「見守り支援ネットワーク」の組織図・活動実施要領作成

(c) 取り組みのお知らせを全戸配布

(d) 75歳以上の見守り対象者を把握

(e) 小地域代表・見守り構成員の配置

(f) 「あんしんカード」の配付・回収

(g) 見守り対象者のマップ作成

b 木頃地区……地域住民による高齢者見守り活動

(a) 小地域ネットワーク活動に伴う講習会の開催

(b) 小地域ネットワーク推進会議の開催(3回)

(c) 75歳以上の方がいる世帯を対象にアンケートの回収及び集計

(d) 見守り対象者のマップ作成

(e) 地区社協だよりで取り組みを掲載

(イ) 継続(2年目)地区

a 久保地区(旭ヶ丘町内会)……地域住民による高齢者及び子育て世帯の見守り活動

(a) 見守りサポーター会議の開催(5回)

(b) 見守りサポーター小委員会の開催(4回)

(c) 見守り対象者(75歳以上の高齢者等)のリストアップと見守りマップ作成

(d) 久保地区社協だよりで取り組みを掲載

(e) 町内回覧で見守りサポーター活動を告知

(f) 緊急連絡カードの配付

(g) 中学生以下の子どもがいる世帯のリストアップとアンケート実施

b 立花地区

(a) 小地域ネットワーク推進会議の開催（3回）

(b) たちばな見守り隊再編成

(c) 地域づくり講演会の開催

(d) 70歳以上の一人暮らしを対象にあんしんカードの配付・回収

(e) 75歳以上の方の見守りマップ作成

(f) なぎさ会での活動報告

ウ 全地区社協及び民生委員対象の実践報告会

小地域ネットワーク活動の啓発と普及につなげるため、モデル指定2年目の地区社協による実践報告会を行った。

開催日	場 所	内 容	参加者
3月9日（水）	5会場を Web で繋 いでのリ モート形 式	◇小地域ネットワーク推進事業の概要説明 ◇小地域ネットワーク活動の実践報告 《発表者》 ①「地域で芽生えた見守り活動 ～大きく花❀ひらけ！立花地区～」 発表者：立花地区社会福祉協議会 会 長 京泉和久男さん 副会長 向井淳さん ②「高齢化が進む団地 ～いつまでも暮らし続けるために～」 発表者：久保地区社会福祉協議会 会 長 松井裕子さん 旭ヶ丘町内会 会 長 中村秀行さん	87名

【成果】

- ・ モデル指定地区で小地域ネットワーク活動が展開され、地域住民同士の見守り・支え合い体制の基盤及び体制が構築された。
- ・ 見守り活動に取り組むことで、地区の住民に支え合いの意識が醸成された。
- ・ コロナ禍でも多くの方に参加して頂けるよう、リモート形式（Zoom）で実践報告会を開催した。チラシを作成しての開催案内に加え、5会場を確保し最寄りの会場での参加を可能にしたことから、87名に参加いただき、小地域ネットワーク活動の啓発を図ることができた。

【課題】

- ・ モデル指定地区において、地区社協や自治会、民生委員等が連携して活動が進められるよう支援を行い、小地域ネットワーク体制の構築を図っていく。
- ・ 地域住民同士の生活支援活動、交流の拠点づくりなど、見守り活動に限らず、地域のニーズにあった幅広い支え合い活動の展開を行っていく必要がある。
- ・ 新規のモデル指定地区を確保していくための手法を検討する必要がある。

② 生活・介護支援サポーター養成事業

本年度は新たに啓発チラシを作成し、地区社協や町内会等に開催の働きかけを行った。地域の支え合い活動に取り組んでいる地域や地域住民の福祉意識を高めたいという地域に対して講座を実施した。年間 12 講座の開催を計画していたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響で、複数回に渡る事業中止に加え、地域での集まりや様々な活動が中止となったため、4 地区での講座開催となった。地域の実情に合わせた講座内容を実施し、講座修了後は地域でのつながり・支え合い活動に活かされている。(令和 3 年度末で事業終了。)

《実施講座》

開催日時・地区	内 容
11 月 7 日 (日) 13:30~15:00 立花地区	「ここ (立花) で暮らす。そのために…」 講師：庄原市社会福祉協議会 会長 上田正之さん (地域福祉応援びと) 会場：いきいきサロン立花「和」 受講者：26 名
11 月 27 日 (土) 13:30~15:00 木ノ庄西地区	「ここ (木ノ庄西) で暮らす。そのために…」 講師：庄原市社会福祉協議会 会長 上田正之さん (地域福祉応援びと) 会場：いきいきサロン木ノ庄西 受講者：18 名
12 月 21 日 (火) 19:00~20:00 河内地区	「助け合いは地域から」 講師：尾道市社会福祉協議会 松浦浩子 会場：河内公民館 受講者：30 名
3 月 8 日 (火) 10:30~12:00 中庄地区	「人つながりこそ豊かな人生の第一歩！」 講師：庄原市社会福祉協議会 会長 上田正之さん (地域福祉応援びと) 会場：中庄公民館 受講者：58 名

【成果】

- ・ 地区社協の役員やサロンスタッフ、地域住民等を対象に開催し、地域でのつながりや支え合いの必要性について理解を促すことができた。また、講座の中で参加者一人ひとりが今後の地域活動を考える良い機会となった。
- ・ 地域の実情や参加者、地域での既存の取組などを事前に把握し、地域のニーズに合った講座内容で実施することができた。

③ 地区社協会長会議の開催

ア 旧尾道地域

開催日	内 容
4月13日(火)	(任期满了に伴う理事及び監事並びに評議員の改選会議後) ・地域福祉課職員紹介 ・生活支援体制整備事業の説明
7月16日(金)	・敬老会の事務手続き及び委託契約手続きについて ・市社協事業の説明
11月5日(金)	・敬老会の反省について ・市社協における事業展開について

イ 御調地域

開催日	内 容
5月14日(金)	・新地区社協会長の紹介 ・尾道市社協の理事・評議員の推薦について ・令和3年度事業計画等 尾道市社協の事業について
7月9日(金)	・敬老会の事務手続き等について ・御調地域における協議体の設立について
11月4日(木)	・敬老会事業の反省等について ・12月の街頭募金について ・御調地域における協議体の設立について

ウ 向島地域

開催日	内 容
5月12日(水)	・地区社協会長自己紹介及び関係職員紹介 ・令和3年度世帯会費の協力依頼について ・理事、評議員の推薦について
7月14日(水)	・敬老会の事務手続きについて ・敬老会委託契約手続きについて
10月13日(水)	・敬老会の反省について ・令和3年度共同募金について

エ 因島地域

開催日	内 容
4月27日(火)	・令和3年度の因島支所の業務体制について ・理事、評議員の推薦について ・5月の行事予定について
6月23日(水)	・令和3年度事業計画(因島支所)について ・令和3年度世帯会費の協力依頼について ・令和3年度敬老会説明会について ・7月の行事予定について

7月12日(月)	<ul style="list-style-type: none"> ・第66回広島県社会福祉夏季大学について ・表彰候補者の推薦について ・8月の行事予定について
9月28日(火)	<ul style="list-style-type: none"> ・共同募金について ・10月の行事予定について
10月27日(水)	<ul style="list-style-type: none"> ・共同募金運動について ・理事会、評議員会について ・11月の行事予定について
11月22日(月)	<ul style="list-style-type: none"> ・街頭募金活動について ・12月の行事予定について
12月22日(水)	<ul style="list-style-type: none"> ・共同募金の実施状況について(因島支所管内) ・1月の行事予定について
3月22日(火)	<ul style="list-style-type: none"> ・共同募金実績(因島地区)について ・4月の行事予定について

オ 瀬戸田地域

開催日	内 容
6月4日(金)	※緊急事態宣言延長に伴い、会場使用が不可となり、会議を中止。予定していた議題の一部関係資料のみ各会長へ送付。
7月6日(火)	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度敬老会事業について ・生活支援体制整備事業について ・地区社協関連事業について ・ふれあいサロンの放送について ・買い物支援事業について ・市社協会長表彰について
8月3日(火)	<ul style="list-style-type: none"> ・生活支援体制整備事業について ・ふれあいサロンの放送について <p style="text-align: right;">※区長会議</p>
9月17日(金)	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度敬老会事業について ・令和3年度共同募金について ・生活支援体制整備事業について <p style="text-align: right;">※区長会議</p>
11月26日(金)	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度敬老会事業について ・令和3年度共同募金について ・生活支援体制整備事業について <p style="text-align: right;">※区長会議</p>
3月9日(金)	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度共同募金の実績、配分状況について ・生活支援体制整備事業について ・令和4年度ふれあいサロンについて

④ 地域活動研修会

ア 向島地区まちづくり花街道整備事業

花ボランティア「ほほえみ」の協力により、「花いっぱい！笑顔いっぱい！」運動を展開した。6月と11月に花を植え、年間を通じて肥料をやり、草取りを行った。

イ 地域づくり講演会

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。

⑤ 社協型活動総合推進事業（小地域お茶の間づくり）《継続》

週1回開設する常設サロン運営の中から、生活課題に気づき解決をしていくため、隔月第1火曜日に定例会議の「にこにこ会」を開催し、地域住民が日常生活でどのような困りごとを抱えているか、どのような解決方法があるか話し合いを行っている。また常設サロンが拠点となる場づくり、地域づくりができることをPRしている。

実施地域	御調地域[にこにこサロン]
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の課題や個別課題の把握 ・サロンのない地域へ出前サロンを実施 ・包括支援センター介護なんでも相談会（隔月1回） ・公民館運営委員会への出席

⑥ 地区社協事業（自主事業）

コロナ禍で活動が制限される中ではあったが、尾道市内の63地区で地域住民を対象とした高齢者支援、子育て支援、防災、広報等の自主事業が取り組まれた。

- ・ 地域住民の交流を図るため、関係団体と協力して、56地区でグランドゴルフ大会、健康ウォーキング、清掃活動等が開催された。
- ・ 33地区で、地区内の高齢者を対象とした配食サービスや見守り活動、勉強会の開催等、高齢者福祉に関する取り組みが行われた。
- ・ 28地区で、親子交流行事、生物観察会、小学生への学習支援、野菜収穫体験、絵本の配付等、児童福祉に関する取り組みが行われた。
- ・ 40地区で、年間を通じた防犯パトロール等の見守り活動が行われた。
- ・ 8地区で防災講座の開催や避難訓練等、災害に備えた活動が行われた。
- ・ 30地区で、地区社協だよりの発行等による広報活動が行われた。

(2) ふれあいサロン事業

ふれあいサロンは今年度 169 カ所が登録。新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置の発令により、長い期間活動中止となったため、ほとんどのサロンが昨年度より開催回数が減った。年度内に開催できたサロンは 161 サロンであった。開催にあたり、遵守項目を守っていただきながらの開催となった。サロン支援員による支援や専門講師の派遣を行った。

会場や地域の意向で開催できなかったサロンについては、見守り活動を積極的に行ってもらい、地域のつながりを絶やさないようにした。

旧尾道地域 15,174 名、御調地域 1,738 名、向島地域 2,191 名、因島地域 4,839 名、瀬戸田地域 939 名、合計 24,881 名がふれあいサロンに参加した。

① 専門講師派遣事業

各サロンに対し、年 3 回の専門講師を派遣した。内訳は、音楽指導 76 回、折紙指導 10 回、栄養指導 6 回、絵手紙指導 16 回、運動指導 70 回、お手玉指導 6 回、南京玉すだれ指導 10 回、ちんどん指導 8 回、メディカルアロマ指導 8 回、バルーンアート指導 1 回、ハーバリウム指導 13 回、チョークアート指導 16 回、陶芸指導 8 回、司法書士講座 1 回の計 249 回である。これらの取組みによりサロン活動の幅が広がり、趣味や交流のプログラムだけではなく、認知症予防・介護予防に寄与することができた。

また、シルバーリハビリ体操指導士がサロンへ出向き、体操指導を行った。

種 類	講 師 名
運動指導	吉田深雪さん、藤原信枝さん、杉原ともみさん、鮎本英治さん、幡地玲子さん、田中悦子さん、嶋田萌菜さん、宮地敏恵さん
認知症サポーター養成講座	尾道市認知症キャラバン・メイト連絡会
音楽指導	じゃんじゃん、福山ピアノプラザ指導員 村上清美さん、シルバー人材センター民謡同好会、 宮本孝子さん、河田尚子さん、柏原美保子さん
栄養指導	NB会
折紙指導	仁井谷孝一さん
絵手紙指導	高畦八重子さん
お手玉指導	お手玉フレンド
南京玉すだれ指導	お笑いの会、笑おう会
バルーンアート指導	杉原潔さん
メディカルアロマ指導	田中早苗さん
ちんどん指導	尾道お笑いちんどんクラブ
チョークアート指導	大原郁香さん
ハーバリウム指導	高垣亜希子さん
陶芸指導	三島博さん
司法書士（遺言等）の講座	村上司法書士事務所

② サロンへの支援

ア 新規サロンの立ち上げ支援

次年度に向け、日比崎地区平原でふれあいサロンの立ち上げについて話し合いを

重ねた。

イ 郊外サロンの支援

昨年度は郊外サロン助成金の利用は実施できるサロンに限られていることから、コロナウイルス対策費として助成した。今年度はワクチン接種も進み、好転傾向になると予測し、バスなどを利用して郊外に出かけた際の「郊外サロン助成金」を再開した。しかし、実際に利用できたサロンは37サロンとなった。

ウ 支援体制

支援員は年間に92回、各サロンに出向き、レクリエーション指導だけではなく、身近な情報などの発信、ニーズに応じた支援等を行った。今年度はこまめな訪問を行い、再開に対して不安を抱えているボランティア、参加者の話を伺った。また、換気や消毒の指導を行った。開催できない時期にはふれあいサロンだよりを発行し、各サロンに対して情報提供を行った。

エ ふれあいサロン研修会

ふれあいサロン研修会は感染拡大防止の観点から、7月と3月の研修会を中止した。文書発送を行い、書面での説明に替えた。

【成果】

- ・ 活動停止により、ボランティア、参加者ともサロンの必要性を再認識することができた。

【課題】

- ・ サロン参加者が定着化する一方で、新規参加者の増加が難しい。
- ・ サロンボランティアの後継者がなかなか育たない。
- ・ 新型コロナウイルス感染症拡大防止のための活動自粛が継続されれば、事業展開の再検討の必要性のほか、サロン参加者のモチベーションや体調維持に懸念が生じる。

ふれあいサロンの開催状況一覧（令和4年3月末現在）

〔旧尾道地域でのふれあいサロン開催状況〕

(名)

地区・町内会		サロン名	開催場所	開催回数	参加人数
山波	全 域	いきいきサロン	山波公民館	毎月1回	167
	今免北	ふれあいサロンピーチ	星の里 山波の家	毎週1回	190
	東 谷	ふれあいサロンきぼう	山田恵子さん宅	毎月1回	8
新高山全域		さくらんぼ	いきいきサロン新高山	毎月1回	137
久保	全 域	さくら会	いきいきサロン久保 ・いきいきサロン防地	毎月1回	294
	防 地	ひだまり防地	いきいきサロン防地	毎月1回	123
	大 宮	フレンド大宮	いきいきサロン久保	毎月2回	247
	旭ヶ丘・黄谷	旭ふれあいサロン	人権文化センター	毎月1回	198
	旭ヶ丘	ひだまり旭ヶ丘	旭ヶ丘団地集会所	毎週1回	157
筒 湯	筒湯ふれあいサロン		いきいきサロン筒湯	毎月1回	160
	サロンひなたぼっこ		いきいきサロン筒湯	毎月1回	50
長 江	長 江	ながえの集い	長江公民館	毎月1回	259
	長江中	ふれあいサロン山城戸	ふれあいサロン山城戸	毎月1回	83
	和加礼・長江北	槇ヶ峰ふれあいサロン	いきいきサロン槇ヶ峰	毎月1回	137
商店街サロンどんぐりの会			もりあげ隊	毎週1回	163
商店街サロンコスモス			もりあげ隊	毎月2回	123
商店街サロン家族の会			もりあげ隊	毎月1回	82
栗 原	向 峠	向峠なかよしサロン	いきいきサロン向峠	毎月1回	0
	潮 見	さくらふれあいサロン	潮見会館	毎月1回	71
	竹 屋	竹屋ほほえみサロン	竹屋会館	毎月1回	109
	本通り第二	ふれあいサロンもみじ	いきいきサロン栗原	毎月1回	129
	川 上	川上さくらんぼ会	川上公民館	毎月1回	60
	向 山	いきいきサロンひまわり	向山クラブ	毎月1回	65
	門 田	門田ほほえみサロン	門田コミュニティセンター	毎月1回	197
	門 田	にこにこクラブ	門田コミュニティセンター	毎月2回	341
	竜王台	おはなの竜王台	竜王台集会所	毎月1回	7
	久山田	久山田ふれあいサロン	久山田公民館	毎週1回	259
	則 末	則末ふれあいサロン	栗原公民館	毎週1回	166
	本通り第三	ふれあいサロンわかば	いきいきサロン栗原	年間3回	0
	栗原北	三美園団地	三美園団地ふれあいサロン ひだまり	いきいきサロン三美園	毎月1回
竹屋団地		竹屋団地ふれあいサロン会	竹屋団地集会所	毎月1回	0
大迫団地		大迫団地ふれあいサロン	栗北公民館	毎月1回	90
三美園住宅自治会		ふれあいサロン気楽	三美園団地住宅自治会集会所	毎月1回	0
松 岡		松岡サロン	いきいきサロン栗原北	毎月1回	36
三成ヶ丘		ふれあいサロン三成ヶ丘	三成ヶ丘町内会集会所	毎月1回	45
松岡団地		ふれあいサロン松岡団地	松岡団地集会所	毎週2回	543
日比崎	天満、下組南 本通り第1	ふれあいサロンさくら	日比崎公民館	年間6回	25
	三軒家南 ・北若宮	ふれあいサロンぼたん	日比崎公民館	年間6回	38
	吉浦、巖通 新浜東 西之華	ふれあいサロンクローバー	日比崎公民館	年間6回	24
	全 域	松ぼっくり	松ぼっくり	週2回	257
		モリンガ	モリンガ	週3回	143
	平 原	平原はつらつサロン	平原コミュニティセンター	毎週1回	300

吉和	全 域	ふれあいサロン吉和	吉和公民館	毎月1回	137
	全 域	いきいきサロン吉和	いきいきサロン吉和	毎月1回	106
	新 浜	いきいきサロン新浜	いきいきサロン新浜	毎月1回	60
	高 頭	高頭ふれあいサロン	高頭公民館	毎月1回	87
三 成	全 域	ふれ愛サロンふじい川	才原なごみ館・大迫公民館 ・山方公民館ほか	毎月1回	161
	才 原	健康づくりサロン才原	才原なごみ館	毎週1回	741
	白 江	白江健康サロン	白江公民館	毎週1回	303
	下組・猪子迫	三成なかよしサロン	いきいきサロン三成	毎週1回	330
木 頃	中 野	仲良しクラブ	いきいきサロン木頃	毎週1回 ※農繁期は休	154
	本郷下組	あやめサロン	いきいきサロン藤井川	毎月1回	60
木ノ西	上 中	上中ふれあいサロン	いきいきサロン木ノ庄西	毎月1回	128
	石 畦	石畦ふれあいサロン	石畦ふれあいクラブ	毎月1回	61
	畑	畑ふれあいサロン	いきいきサロン畑	毎月1回	58
	木ノ庄東	木ノ庄東ふれあいサロン	木ノ庄東公民館	毎月1回	21
原 田	小 原	ふれあいサロン小原	いきいきサロン小原	毎月1回	48
	梶山田	ふれあいサロン梶山田	J A原田支所	毎月1回	60
高 須	全 域	鶴羽会	東部公民館	毎月2回	204
		高須男性サロン	大田ふれあい館ほか	毎月1回	67
	太 田	太田ふれあいサロン	大田ふれあい館	毎月1回	78
	横 路	およねサロン	横路公民館	毎月1回	156
	西 藤	西藤のつどい	福田ふれあい館	毎月1回	165
浦 崎	戸 崎	戸崎いきいき手城会	戸崎区クラブ	毎月1回	174
	上 組	ふれあいサロン上組	上組区クラブ	毎月1回	114
	下 組	サロン住吉	下組区クラブ	毎月1回	137
	灘	いきいきサロンなだ	灘区クラブ	毎週1回	319
	満 越	満越いきいきサロン	満越クラブ	毎月1回	65
	新 田	新田ふれあいサロン	新田区クラブ	毎月1回	52
	海 老	海月ふれあいサロン	海老公民館	毎月1回	30
	高 尾	いきいきサロン高尾	高尾公民館	毎月1回	94
向 東	矢 立	ふれあいサロン矢立	矢立クラブ	毎週1回	392
	彦ノ上一区	ふれあいサロン彦一	彦ノ上児童館	毎月1回	178
	彦ノ上二区	ゆうゆうサロン彦二	彦ノ上児童館	毎月1回	77
	彦ノ上三区	ふれあいサロン彦の上三区	彦ノ上児童館	毎週1回	561
	肥 浜	ふれあい、いきいき「サロン」ひばま	肥浜公民館	毎月1回	92
		ふれあいサロンスマイル	肥浜公民館	毎月1回	62
	谷 水	ふれあいサロン谷水	谷水公民館	毎月1回	104
	堤	ふれあいサロン堤	堤区集会所	毎週1回	304
	森 金	ふれあいサロン森金	森金公民館	毎月1回	103
	寺 内	寺内ふれあいサロン	寺内公民館	毎月1回	41
	新 開	ふれあいサロン「しんがい」	新開公民館	毎週1回	475
	天女浜	ゆうゆう天女	天女浜公民館	毎月1回	85
	歌	ふれあいサロン歌	歌公民館	ほぼ毎日	2122
大 町	コミュニティ大町	大町公民館	毎月1回	195	
古江奥	古江奥ふれあいサロン	古江奥公民館	毎月1回	67	
才 越	才越ふれあいサロン	才越公民館	毎月1回	102	
古江浜	ふれあいサロンひといき	古江浜公民館	毎月1回	348	
百 島	「やすらぎのつどい」	いきいきサロン百島	年間7回	90	

〔御調地域でのふれあいサロン開催状況〕

(名)

地区名	サロン名	開催場所	開催回数	参加人数
菅野	菅野地区ふれあいサロン	菅野公民館	年間6回	45
	仁野ハッピースマイル会	仁野福祉会館	毎月1回	35
	大塔タンポポ	大塔集会所	毎月1回	53
上川辺	上川辺地区ふれあいサロン	上川辺公民館	概ね月1回	60
	ふれあいサロン三郎丸	三郎丸集会所	毎月1回	79
	大蔵ふれあいサロン睦会	大蔵集会所	毎月1回	107
市	市地区ふれあいサロン	市公民館	概ね月1回	92
	平なごみ会	平集会所	概ね月1回	71
	すみれ会江国	江国会会堂	毎月1回	116
河内	河内地区ふれあいサロン	河内公民館	概ね月1回	132
	大田ふれあいサロンひまわり	いきいきサロン大田	毎月1回	101
	丸河南ふれあいサロンなごみ	丸河南集会所	毎月1回	165
今津野	きらく会	今津野公民館	概ね月1回	92
	サロンうぐいす	川西集会所ほか	毎月1回	72
綾目 大和	綾目ふれあいサロン	綾目公民館	概ね月1回	105
	大和地区ふれあいサロン	大和公民館	毎月1回	50
	下山田ふれあいサロン	下山田集会所	毎月1回	43
全域	にこにこサロン	市公民館	毎週1回	316

〔向島地域でのふれあいサロン開催状況〕

(名)

地区名	サロン名	開催場所	開催回数	参加人数
兼吉	兼吉サロン	兼吉やすらぎ荘他	毎月1回	0
江奥	文化サロン	ひだまり交流館	毎週1回	448
	イキイキ広場	ひだまり交流館	毎月1回	134
	紫竹会の集い	柏原公民館・奥山公民館 ・烏帽子公民館	概ね月1回	39
東富浜	東富浜1・2区にこやか ふれあいサロン	東富浜公民館	年間6回	74
	東富浜3区いきいきサロン	東富浜3区コミュニティ センター	毎月1回	17
小歌島	さざなみ	サロンおかじま	毎月1回	89
中富浜	ふれあいいきいきサロン 「なかよし会」	中富コミュニティセンター	毎月1回	217
西富浜	西富浜ふれあいサロン	西富浜ふれあい交流センター	毎月1回	200
田尻	田尻いきいきサロン和楽	田尻公民館	毎月1回	0
土井	いきいきサロン土井	土井公民館	毎月1回	39
宇立	宇立いきいきサロン	宇立公民館	毎月1回	115
	サロンなかよしこよし	宇立公民館	毎月1回	76
有道	有道ふれあいいきいきサロン	有井公民館	毎月1回	52
津部田	津部田地区ふれあい いきいきサロン	津部田コミュニティセンター	毎月1回	94
岩子島	めだかの学校	めだかの学校	月火水金	540
立花	立花いきいきサロン	いきいきサロン立花「和」	毎月1回	57

〔因島地域でのふれあいサロン開催状況〕

(名)

地区	サロン名	開催場所	開催回数	参加人数
土 生	へんろ茶屋	へんろ茶屋	ほぼ毎日	1193
	脳刺激さくら会	土生公民館	毎月1回	200
	語ろう会	安郷区民館	毎月1回	59
	塩東すみれ会	いきいきサロン土生南	毎月1回	69
	すずの会	郷区会館	毎月1回	124
	ふれあいサロン・ニコニコ会	江の内区県営住宅集会所	毎月1回	143
田 熊	土生健康サロン	土生公民館	毎月2回	295
	さわやかホーム	田熊公民館	毎月1回	185
	サロンすみれ会(田熊)	田熊公民館	毎月1回	146
	ひよこ会	竹長区民会館	毎月2回	212
	サロン絆	金山区民館	毎月1回	77
三 庄	サロンなごみ	西区区民館	毎月1回	117
	三庄サロン	三庄公民館	毎月1回	144
	サロン椋浦	いきいきサロン椋浦	毎月1回	40
	千守サロン	千守地蔵堂	毎月1回	139
	8区愛互会サロン	8区会館	毎月1回	0
中 庄	九区サロン	九区会館	毎月1回	93
	ふれあいサロン「たんぼぼ」	中庄公民館	毎月1回	219
	ふれあいサロンあじさい	中庄町新開研修所	偶数月	244
	西浦地区ポプラの会	因島西浦ふれあい館	毎月1回	36
	ふれあいサロンコスモス会	蘇功区民館	偶数月	160
	ふれあいサロン丸池	丸池集会所	偶数月	89
	サロン外浦	外浦町集会所	偶数月	74
重 井	サロン室陣	室陣集会所	毎月2回	223
	喜楽会	重井公民館	毎月1回	66
	つどいの家	重井公民館	毎月1回	100
大 浜	すこやかサロン	因島ふれあいセンター	毎月1回	45
	ラビット	大浜公民館	毎月1回	67
東生口	大浜おしゃべり会	大浜公民館	毎月2回	92
	東生口地区カモメ会	因島洲江ふれあい館	毎月1回	45
御 寺	レディサロン	いきいきサロン東生口	毎月1回	71
	ドリームサロン	いきいきサロン東生口	毎月2回	62

〔瀬戸田地域でのふれあいサロン開催状況〕

(名)

地区	サロン名	開催場所	開催回数	参加人数
名 荷	いきいきサロン名荷	名荷公民館	毎月1回	80
林	いきいきサロン	林公民館	毎月1回	111
中 野	つくし会	中野集会所	毎月1回	73
鹿田原	鹿田原ふれあいサロン	鹿田原集会所	毎月1回	34
沢	沢ふれあいサロン	沢公民館	毎月1回	32
瀬戸田	微助っ人	瀬戸田光照苑	毎月1回	102
高 根	高根ふれあいサロン	高根潮香園	毎月1回	0
福 田	港福いきいきサロン	福田たちばな荘	毎月1回	99
垂 水	なでしこ会	垂水垂幸園	毎月1回	114
田高根	ふれあいなぎさサロン	田高根なぎさ園	毎月1回	52
荻	荻 福々会	荻南風園	毎月1回	70
宮 原	ほのぼの会	生口島開発センター	毎月1回	53
御 寺	レインボー	御寺集会所	毎月1回	119

(3) 生活福祉資金貸付事業

広島県社会福祉協議会との連携により、低所得者、高齢者、障害者等の自立を目的として、必要な相談支援および生活福祉資金の申請を受け付けた。また、複合的な課題を抱え、貸付のみでは解決に至らない相談者に対しては、生活困窮者自立支援事業と連携し、相談者に適切な支援を提供することに努めた。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響が長引く中、支援策の一つである、「生活福祉資金特例貸付」は、令和2年度に続き多数の相談があった。相談者に対しては、状況の聞き取りや手続きなど丁寧に対応し、制度の適切な運用に努めた。また、貸付申請時の相談だけでなく、貸付期間中及び貸付終了後も、コロナ禍生活支援通信の発信や貸付終了者向け相談会を実施する等、一定期間の状況確認や制度の周知に取り組んだ。

相談件数	1,746件 (1,618件)
決定件数	575件 (568件)

()内は新型コロナウイルス感染症拡大防止に関連する特例貸付分の件数

(4) 福祉サービス利用援助事業「かけはし」

障害などによって判断能力が不十分な方に対して、福祉サービス利用手続きの援助や代行、日常的な金銭管理の援助、通帳の預かり等の支援をした。

コロナ禍においても全社協・県社協主催の集合型及びオンラインの研修会に参加し、専門員・生活支援員のスキルアップや新規支援員の養成に努めた。

関係機関にもこの事業が周知され、役割の重要性が期待されてきており、今後も複雑な問題を抱えた相談や世帯支援の必要性も考えられるため、一人ひとりであった支援を迅速に提供し、関係機関との情報交換や支所との連携を深め、契約締結審査会等も有効に活用して相談機能を強化していく。

① 相談・支援状況 (令和4年3月末現在)

問い合わせ・契約者対応件数・・・5,791件			
契約終了者	新規契約者	利用者 (内生活保護)	生活支援員
9名	7名	59名 (19名)	26名
利用者内訳	認知症 11名、知的障害 26名、精神障害 18名、その他 4名 旧尾道地域 31名、御調地域 5名、向島地域 6名、因島地域 13名、瀬戸田地域 4名		

② 研修会等

○ 職員研修等

開催日	内 容	参加者
6月18日(金)	令和3年度かけはし・法人後見担当者会議 (広島県社協主催) オンライン	2名
12月13日(月)	令和3年度総合相談・対応力強化研修(広島県社協主催)	2名
1月25日(月)～ 1月26日(火)	令和3年度日常生活自立支援事業「専門員実践力強化研修会Ⅱ」(全社協主催) オンライン	3名

2月18日（金）	令和3年度 福祉サービス利用援助事業「かけはし」専門員研修（広島県社協主催）オンライン	3名
----------	---	----

○ 支援員研修

開催日	内 容	参加者
11月11日（木）	令和3年度 生活支援員等養成研修（広島県社協主催） 会場：本所・各支所（御調支所を除く）オンライン	16名

（5）法人後見事業

法人後見人として3件受任。成年被後見人が安心した生活が送れるよう支援を進めている。

ア 受任件数

（令和4年3月末現在）

補 助	保 佐	後 見	法人後見支援員
0名（件）	0名（件）	3名（件）	6名
利用者内訳	認知症高齢者2名、知的障害者1名 向島地域1名、因島地域1名、瀬戸田地域1名		
延べ支援回数	専門員：銀行支援回数30回、訪問回数18回、電話対応回数130回、ケア会議・同行・窓口対応等166回、死後事務1件 支援員：銀行支援回数26回、訪問回数15回、電話対応回数0回、ケア会議・同行・窓口対応等0回		

イ 新規受任件数・終了件数

内訳	後見等新規受任件数（件）				後見等終了件数（件）				終了理由
	後見	保佐	補助	計	後見	保佐	補助	計	
	2	0	0	2	1	1	0	2	

ウ 研修会等への参加

関係機関との連携やスキル向上のため、次の研修会や会議等に参加した。

- ・ 令和3年度かけはし・法人後見担当者会議（県社協主催）
- ・ 令和3年度中核機関体制整備に向けた市町研修会（県社協主催）
- ・ 令和3年度家事関係機関との連絡協議会（広島家庭裁判所主催）
- ・ 令和3年度成年後見制度実務者研修（県社協主催）

（6）認知症高齢者見守り事業

在宅で暮らす認知症高齢者や介護している家族等に対し、やすらぎ支援員を派遣し支援する事業。地域包括支援センターや居宅介護支援事業所と連携し、支援を必要としている人に情報が伝わるよう事業の周知を図った。ニーズに合わせた支援を行うことで信頼関係を築き、利用者本人の生きがい感の向上、家族の心身のリフレッシュに繋がった。また、やすらぎ支援員研修会を開催し、やすらぎ支援員のスキルアップを図った。あわせて2カ月に1回偶数月に在宅介護者の集いを開催した。

今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、5/15～6/30、8/10～9/30の間、やすらぎ支援員の訪問活動や在宅介護者の集い、研修会等の開催を自粛し、その間、認知症事業だよりの発行を通してつながりを絶やさないよう取り組んだ。

今年度新たな取り組みとして、訪問活動自粛期間中に電話での支援を希望する利用者には、訪問支援に代えて電話での支援を開始した。8月は19回、9月は27回の電話支援を行った。また、地域包括支援センターや居宅介護支援事業所に、毎月郵送しているやすらぎ支援員活動報告書についてアンケート調査を実施し、その成果と課題をやすらぎ支援員と共有しスキルアップを図った。

訪問再開にあたっては、「訪問にあたっての遵守項目」を提示し、感染防止対策等を講じた上で訪問していただくよう周知徹底した。

区 分	旧尾道	向島	御調	因島	瀬戸田	合 計
年間利用者数(人)	53	12	7	13	10	95
年間活動実績回数	479	65	87	81	74	786
登録やすらぎ支援員(人)	53	13	18	17	11	112

① やすらぎ支援員研修会

開催日	場 所	内 容
11月22日(月)	御調保健福祉センター	「回想法」(リモート開催) 講師：神戸女子大学健康福祉学部社会福祉学科 教授 津田理恵子さん 参加者11名
12月3日(金)	総合福祉センター	認知症高齢者見守り事業とは 活動報告について～アンケート集計を通して～ 傾聴の意義について グループワーク～コロナ禍における活動について～ 参加者24名
12月16日(木)	因島総合福祉センター	認知症高齢者見守り事業とは 活動報告について～アンケート集計を通して～ 傾聴の意義について グループワーク～コロナ禍における活動について～ 参加者13名

② 認知症講演会

開催日	場 所	内 容
2月15日(火)	総合福祉センター	「認知機能低下を支援する方法」 ～早期より心と認知機能低下を支援する～ 講師：医療法人 里滋会 片山内科クリニック 院長 片山禎夫先生 参加者約170名
3月5日(土)	尾道市人権文化セ	認知症の人と家族の会 広島県支部出前定例講演会 「体験発表」 発表者：尾道市認知症の人と家族の会会員 後藤英俊さん

	ンター	「認知症になっても、希望をもって暮らせる地域を」 講師：県立広島大学保健福祉学科作業療法学科 学科長 西田征治さん 参加者 51名
--	-----	---

③ 在宅介護者の集い

開催日	場 所	内 容
4月27日(火)	総合福祉センター	「認知症サポーター養成講座」、介護者の体験発表 認知症に関する事業や活動の紹介 参加者 49名
6月22日(火)	総合福祉センター	「思いのたけを話してみませんか！」 ～ひとりで頑張りすぎないために～ 参加者 11名
10月26日(火)	総合福祉センター	「高齢者のための在宅福祉サービスについて」 ～尾道市のサービスを知って、上手に使おう～ 講師：高齢者福祉課 保健師 土屋睦子さん 参加者 18名
12月21日(火)	総合福祉センター	「わたしのまちの介護保険」 ～介護保険の制度を知って、上手に使おう～ 講師：尾道市西部地域包括支援センター 住田八重 参加者 28名

【成果】

- ・ やすらぎ支援員が訪問を重ねることで笑顔のなかった利用者が支援員の訪問を楽しみに待つようになり、生きがい感の向上に繋がることできた。
- ・ 家族の話し相手として訪問し、介護者に心の余裕が生まれ笑顔が見られるようになった。
- ・ やすらぎ支援員研修会を開催し、事業目的や成果の確認を通して、やすらぎ支援員の活動意欲の向上につながった。
- ・ 「在宅介護者の集い」を通して介護者の日頃のストレスを発散し、悩みや思いを打ち明け、自分自身の介護について振り返るよい機会となった。

【課題】

- ・ 認知症の基礎知識や傾聴の技法に関する研修会を継続的に開催し、やすらぎ支援員のスキルアップを図っていく必要がある。
- ・ やすらぎ支援員とともにケアマネジャーとの連携、情報交換を密に行い、チームの一員としての視点をもてるよう、やすらぎ支援員を多面的にサポートしていく必要がある。
- ・ コロナ禍の中、やすらぎ支援員が安心して訪問活動ができるよう、引き続き細やかな連携と情報発信をおこなっていく必要がある。

(7) 認知症サポーター養成事業

認知症になっても住み慣れた地域で安心して暮らせるまちづくりを目指し、「認知症サポーター養成講座」を開催。認知症について正しく理解し認知症の人やその家族を見守り支援する「認知症サポーター」が582名誕生し、市内の認知症サポーターは合計19,721名となった。また、各学校においても認知症サポーター養成講座に取り組み、87名の学生サポーターが新たに誕生し、市内の学生サポーターは合計5,565名となった。

講座開催に向けては、その講師役となる「キャラバン・メイト」の連絡会を定期的に開催

し、コロナ禍の中、三密にならないなど感染防止対策を徹底した講座内容を検討した。

年間 39 講座を開催し、そのうち年間 25 講座に寸劇やロールプレイを取り入れ、「尾道市認知症キャラバン・メイト連絡会」「尾道市認知症キャラバン・メイト連絡会因島グループ」としてチームで講座を担当し、受講者の心に響く講座となるよう工夫した。講座を受講した小学生が、全国キャラバン・メイト連絡協議会が主催するキッズサポーターによる認知症への理解をテーマとする「文芸作品小学生」に応募し、最優秀賞に選ばれ、キャラバン・メイトの士気向上に繋がった。

認知症サポーター養成講座終了後には、おのみち見守りネットワーク徘徊等 SOS 情報メールや尾道市認知症サポーターのステッカー等について情報発信し、認知症の理解、普及啓発に努めた。あわせて『オレンジメイト』への登録を呼びかけ、年間 74 名の登録があり累計 354 名（2 名登録抹消）となった。

今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、5/11～6/30、8/10～9/30、1/9～3/6 の間、認知症サポーター養成講座の開催等キャラバン・メイトの活動を自粛し、その間、認知症事業だより等の発行を通してつながりを絶やさないよう取り組んだ。また、活動再開にあたっては、感染防止対策等を講じた上で活動していただくよう周知徹底した。

① 認知症サポーター養成講座

尾道市内 39 カ所で開催（参照「開催一覧表」）

② キャラバン・メイト連絡会

開催日	内 容	参加者
4 月 8 日(木)	各地域でのキャラバン・メイトの取り組み、実施済み講座の振り返り、今後の活動予定、寸劇撮影について、	12 名
7 月 15 日(木)	各地域でのキャラバン・メイトの取り組み、実施済み講座の振り返り、今後の活動予定、総会について	14 名
7 月 26 日(月)	寸劇練習（A-QOA 撮影に向けて）	10 名
7 月 27 日(火)	キャラバン・メイト連絡会総会に向けて役員会	7 名
8 月 5 日(木)	総会、「認知症サポーター チームオレンジ」研修会	18 名
10 月 7 日(木)	各地域でのキャラバン・メイトの取り組み、実施済み講座の振り返り、今後の活動予定について	13 名
10 月 13 日(水)	寸劇練習（キラキラ星の見える『ふる里』）	13 名
10 月 22 日(金)	A-QOA 研究会 映像撮影に向けて県立広島大学作業療法学教授、助教授と連携会議、寸劇練習（A-QOA 撮影に向けて）	12 名
11 月 11 日(木)	キャラバン・メイトの取り組み、実施済み講座の振り返り、今後の活動予定について	13 名
11 月 11 日(木)	寸劇練習（A-QOA 撮影に向けて）	10 名
11 月 24 日(水)	寸劇練習（A-QOA 撮影に向けて）	10 名
12 月 10 日(金)	A-QOA 研究会映像撮影（本番）	14 名
12 月 13 日(月)	各地域でのキャラバン・メイトの取り組み、実施済み講座の振り返り、今後の活動予定について	7 名

2月26日(土)	認知症サポーターキャラバン令和3年度表彰式・報告会、受賞者による実践報告(オンライン開催)	24名
3月10日(木)	各地域でのキャラバン・メイトの取り組み、今後の活動予定、認知症サポーターキャラバン令和3年度表彰式・報告会動画配信視聴	11名

③ 認知症啓発イベント活動

開催日	内 容 等
9月1日(水) ～30日(木)	世界アルツハイマーデー月間パネル掲示 尾道市高齢者福祉課：尾道市役所 尾道市北部地域包括支援センター：みつぎ子ども図書館 尾道市東部地域包括支援センター：浦崎公民館 尾道市地域包括支援センター：尾道市立市民病院 尾道市西部地域包括支援センター：尾道市総合福祉センター 尾道市向島地域包括支援センター：向島子ども図書館 尾道市南部地域包括支援センター：因島図書館・因島総合支所 南部地域包括支援センター瀬戸田支所：瀬戸田図書館

④ 認知症関係事業への参加協力

開催日	会 場	内 容 等	参加者
4月27日(火)	サロン丸池	因島見守り訓練(声掛け体験)	25名

⑤ 認知症サポーター認定所

認知症サポーター養成講座を受講した小売店や事業所、認知症サポーターが経営する個人商店等を認知症サポーター認定所として登録、ホームページに掲載。

登録認定所数：195カ所

【成果】

- ・ ふれあいサロンなど地域や職域、学校等で認知症サポーター養成講座を開催し、認知症について正しい理解を深めることができた。
- ・ 尾道市認知症キャラバン・メイト連絡会としてチームで講座を担当し、心に響く講座を実施することができた。
- ・ 尾道市認知症キャラバン・メイト連絡会としてA-QOA研究会の映像撮影に協力し、DVDにすることが出来た。

【課題】

- ・ 町内会等、きめ細かい認知症サポーター養成講座を開催し、認知症になっても安心して暮らせるまちづくりを推進していく必要がある。
- ・ 各学校での講座を積極的に働きかけ、子どもの時から認知症について正しく理解し、高齢者を敬う心を養っていく必要がある。

- ・ 「オレンジメイト」が認知症カフェなど地域での活動に結び付くような仕組みづくりや働きかけをしていく必要がある。
- ・ コロナ禍の中、キャラバン・メイトが安心して活動ができるよう、引き続き細やかな連携と情報発信をおこなっていく必要がある。

[認知症サポーター養成講座 開催一覧]

回	地区	開催日	開催団体	開催場所	劇	参加人数※		キャラバン・メイト
1	尾	4月 2日(金)	さくらふれあいサロン	潮見会館	○	21	6	連絡会
2	尾	4月 12日(月)	中野仲良しクラブ	いきいきサロン中野	○	21	4	連絡会
3	尾	4月 27日(火)	在宅介護者の集い	尾道市総合福祉センター	×	49	31	安井由枝
4	御	7月 21日(水)	すみれ会江国	江国公会堂	○	24	15	連絡会
5	因	7月 30日(金)	つどいの家	重井公民館	○	20	14	連絡会(因島G)
6	尾	7月 30日(金)	子どもサポートセンターb&g	尾道市総合福祉センター	○	23	12	連絡会
7	向	8月 3日(火)	津部田地区ふれあいいきいきサロン	津部田コミュニティセンター	○	28	17	連絡会
8	尾	8月 4日(水)	尾道刑務支所	尾道刑務支所	×	9	7	河原順子
9	御	10月 8日(金)	広島銀行御調支店	広島銀行御調支店	×	14	9	河原順子
10	因	10月 9日(土)	しまの輪カフェ	ケアホームひだまり	○	13	7	連絡会(因島G)
11	因	10月 13日(水)	因島高等学校	因島高等学校 特別棟4階	○	17	10	連絡会(因島G)
12	御	10月 13日(水)	広島銀行御調支店	広島銀行御調支店	○	14	0	河原順子
13	御	10月 14日(木)	サロンうぐいす	川西集会所	×	16	2	松山慎太郎
14	因	10月 15日(金)	田熊老人クラブ	田熊公民館 大講堂	○	107	101	連絡会(因島G)
15	瀬	10月 18日(月)	中野サロン	中野集会所	○	32	5	連絡会(因島G)
16	尾	10月 19日(火)	古江奥ふれあいサロン	向東古江奥公民館	×	9	5	安井由枝
17	尾	10月 22日(金)	いきいきサロン山波	山波公民館	○	34	15	連絡会
18	尾	10月 25日(月)	新ヤクルト販売(株)福山営業所	ヤクルト尾道センター	×	16	2	福山市地域包括支援センター
19	瀬	10月 28日(木)	瀬戸田 18 区民協	瀬戸田市民会館	○	35	21	連絡会(因島G)
20	御	11月 5日(金)	今津野きらく会	今津野公民館	○	27	8	連絡会
21	向	11月 8日(月)	新広島ヤクルト販売(株)福山営業所	ヤクルト向島センター	×	18	7	福山市地域包括支援センター
22	尾	11月 9日(火)	ふれあいサロン歌	歌公民館	○	40	4	連絡会
23	瀬	11月 23日(火)	垂水サロン	垂水サロン	○	17	9	連絡会(因島G)
24	向	11月 24日(水)	サロンなかよしこよし	宇立公民館	×	15	2	小林富美子
25	御	11月 26日(金)	御調中央小学校6年生	御調中央小学校3階音楽室	○	50	43	連絡会
26	因	12月 1日(水)	第一生命保険(株)因島営業オフィス	第一生命保険(株)因島営業オフィス	○	19	16	連絡会(因島G)
27	因	12月 2日(木)	日本生命(株)因島営業所	日本生命(株)因島営業所	○	27	21	連絡会(因島G)

28	尾	12月2日(木)	第一生命保険(株) 尾道松永営業オフィス	第一生命保険(株) 尾道松永営業オフィス	×	34	19	小林富美子
29	向	12月2日(木)	広島銀行向島支店	広島銀行向島支店	×	13	4	河原順子
30	尾	12月3日(金)	高須地区社会福祉協議会きずな塾	東部公民館高須南分館	×	39	26	小林富美子
31	向	12月8日(水)	広島銀行向島支店	広島銀行向島支店	○	11	0	連絡会
32	尾	12月15日(水)	日本生命保険相互会社 尾道営業部	日本生命保険相互会社 尾道営業部	×	37	35	河原順子
33	尾	12月21日(火)	西藤のつどい	福田ふれあい館	○	34	11	連絡会
34	瀬	12月21日(火)	港福いきいきサロン	福田たちばな荘	○	14	6	連絡会(因島G)
35	尾	12月22日(水)	ケアホーム長江	ケアホーム長江	×	36	11	松山慎太郎
36	向	12月23日(木)	向島地域	向島愛あいセンター	○	37	23	連絡会
37	尾	2月2日(水)	尾道福祉専門学校1年生	尾道福祉専門学校	×	36	26	河原順子
38	瀬	3月8日(火)	いきいきサロン林	林公民館	○	24	11	連絡会(因島G)
39	因	3月9日(水)	すずの会	郷区会館	○	27	17	連絡会(因島G)
				計		25	1,057	582

注) ※参加人数の左は全数、右は内数で初めて参加した人数

(8) 認知症カフェ推進事業

認知症の人ができるだけ住み慣れた地域で暮らし続けられるよう、様々な主体が地域で自主的に運営する認知症カフェの取組を推進する事業。今年度は、新たな認知症カフェが3カ所開設し、合計28カ所の認知症カフェが開設。主催者内訳は、地域住民主催が18カ所、介護事業所主催が5カ所、医療機関主催が5カ所となる。

年間120回の認知症カフェを開催し、合計2,436名の参加があった。その内、1,926名が実績助成金交付対象者に該当し、一人当たり100円の実績助成金を交付した。

今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、5/11～7/11、8/10～9/30、1/9～3/6の間、認知症カフェの開催を自粛し、その間、認知症事業だよりを発行しつながらを絶やさないうり取り組んだ。カフェ再開にあたっては、「再開にあたってのアンケート」の実施や「再開にあたっての遵守項目」を提示し、感染防止対策等を講じた上で開催していただくよう周知徹底した。今年度再開できたカフェは、28カ所の内23カ所である。

① 新規認知症カフェの立ち上げ支援

開設検討会議等を開催し、今年度、東部圏域に「駅かふえ」向島圏域に「オレンジカフェ天女浜」中央圏域に「オレンジカフェサンサンくぼ」の3カ所が新規開設。また、北部圏域のひかり苑が、来年度第2カ所目となるカフェを三成地域に開設予定。

名 称	開設日	開催日	会 場
駅かふえ	4/16(金)	第3金曜日	東部公民館高須南分館
オレンジカフェ天女浜	4/27(火)	第4火曜日	天女浜公民館
オレンジカフェサンサンくぼ	7/13(火)	第2火曜日	いきいきサロン久保

② 既存認知症カフェの支援

年間 37 回各認知症カフェに出向き、カフェの運営や反省会等、開設運営方法等についての側面支援を行った。また、参加者の緊急時への対応として「カフェ安心カード」を紹介し、主催者や参加者の安心・安全につながっている。

【成果】

- ・ 地域住民主催の認知症カフェは、認知症の方やその家族が居心地良くくつろげる場として、また虚弱・閉じこもりがちな人の居場所として、認知症をキーワードとした認知症の人にやさしい地域づくりの拠点となっている。さらに、軽度認知症と思われる人に支援者が早く出会う場となっている。
- ・ 医療介護の専門職主催による認知症カフェでは、その強みを活かした勉強会や相談機能の充実が図られている。
- ・ 細やかな情報発信や連携が、各カフェの運営士気を高めることに繋がっている。
- ・ 各圏域の地域包括支援センターとの連携が、充実した認知症カフェ開催に繋がっている。

【課題】

- ・ 圏域別のカフェを対象とした研修会や交流会を開催し、認知症カフェの意義や目的の再確認とともにコロナ禍における運営方法等の共有をとおり、士気向上を図っていく必要がある。
- ・ コロナ禍における認知症カフェ連絡会の開催方法等を検討し、実施に繋げていく必要がある。

[認知症カフェ開設一覧]

(名)

番号	カフェの名称 (主催団体)	開催日時	開催場所 (住所)	参加 人数
		参加費		
①	オレンジカフェ長江 (明徳町内会・ケアホーム長江)	第3日曜日 10:00~12:00	ケアホーム長江1階 (尾道市長江二丁目7-8)	0
		100円		
②	菜の花カフェ (オレンジメイト菜の花)	第4日曜日 10:00~12:00	小林宅 (尾道市高須町3794)	99
		100円		
③	とまり木カフェ (公立みつぎ総合病院地域包括連携室尾道市北部地域包括支援センター)	第4木曜日 13:30~15:00	御調保健福祉センター2階機能訓練室 (尾道市御調町市107-1)	94
		100円		
④	オレンジカフェ商店街 (尾道市認知症の人と家族の会)	第2金曜日 13:00~15:00	本通り もりあげ隊 内 (尾道市土堂二丁目3-29)	71
		100円		
⑤	オレンジカフェむかいしま♥愛あい (オレンジメイト♥愛あい)	第4木曜日 10:00~12:00	向島愛あいセンター (尾道市向島町5888-1)	234
		100円		

⑥	オレンジカフェ福祉センター・友 (オレンジメイト・友)	第2水曜日 13:30~15:30	尾道市総合福祉センター2階 (尾道市門田町22-5)	164
		100円		
⑦	シニア・カフェ西しんがい (高須町西新涯町内会)	第2金曜日 13:30~15:30	高須町西新涯町内会集会所 (尾道市高須町西新涯)	74
		100円		
⑧	こころカフェ (医療法人社団はっぴねす)	第2木曜日 13:00~14:30	こころ尾道駅前クリニック6階 (尾道市土堂一丁目11-6)	43
		100円		
⑨	オレンジカフェむかいひがし (オレンジメイトむかいひがし)	第3月曜日 10:00~12:00	サンボル尾道 2階会議室 (尾道市向東町8670-2)	315
		100円		
⑩	やすらぎカフェ (尾道市医師会 介護老人保健施設 やすらぎの家)	月1回(不定期)	やすらぎの家 家族介護教室 (尾道市久保町1718)	150
		無し		
⑪	レモンカフェ (ボランティアレモン)	第4金曜日 13:00~15:00	出口宅 (尾道市瀬戸田町垂水1411-1)	86
		無し		
⑫	オレンジカフェびんご俱樂部びんご茶屋 (有)ブレイクスルー びんご俱樂部)	第3土曜日 13:30~15:30	びんご俱樂部 (尾道市因島三庄町3472)	0
		100円		
⑬	因島医師会ビロードカフェ (一社)因島医師会)	第4土曜日 13:30~15:00	ビロードの丘2階研修室 (尾道市因島中庄町1955)	108
		100円		
⑭	耳をすませて (オレンジメイト茶話駄)	第2火曜日 13:30~15:00	澤田宅(もと そば処 茶話駄) (尾道市御調町貝ヶ原72-2)	60
		100円		
⑮	オレンジカフェおお〜いで (星の里・今津野の家)	第4金曜日 10:00~11:30	星の里・今津野の家 (尾道市御調町津蟹611-4)	0
		100円		
⑯	きららカフェ (きららラポール尾道)	第3水曜日 13:00~14:30	きららラポール尾道 (尾道市十四日町59-8)	0
		100円		
⑰	かぐら 浦崎カフェ (オレンジメイトかぐら)	第1火曜日 10:00~11:30	浦崎公民館 (尾道市浦崎町2102-5)	51
		100円		
⑱	しまの輪カフェ (しまの輪会)	第2土曜日 13:30~15:30	ケアホームひだまり (尾道市因島中庄町3805-1)	74
		100円		
⑲	喫茶かたふじ (オレンジメイトかたふじ)	第2月曜日と翌日の火曜日 13:30~14:30(月2回)	いきいきサロン高根 潮香園 (尾道市瀬戸田町高根595)	0
		100円		
⑳	オレンジカフェこれから (オレンジメイト岩子島)	第3月曜日 13:30~15:30	めだかの学校 (尾道市向島町岩子島1498-1)	130
		100円		
㉑	ひかりカフェ原田 (福)原田ヒカリ会 高齢者総合ケアセンター ひかり苑)	第4水曜日 14:00~15:30	老人介護支援センターひかり苑2階 (尾道市原田町梶山田3581-1)	57
		無し		
㉒	カフェ「集」 (医療法人社団 精彩会)	第3土曜日 13:30~15:00	地域ネットワークコミュニティー 「集」(ニチエー三成店敷地内)	27
		100円		

⑳	オレンジカフェひだまり (オレンジメイトひだまり)	第1木曜日 13:30~15:00	江奥コミュニティセンター(ひだまり交流館) (尾道市向島町1919-2)	118
		100円		
㉑	オレンジカフェみにみに (オレンジメイトみにみに)	第2木曜日 10:00~11:30	(もと)喫茶ミニミニ (尾道市向東町2218-2)	27
		100円		
㉒	歌声カフェ (ご近所さんカフェ)	第2火曜日 13:30~15:00	ご近所さんカフェ(村上宅) (尾道市因島重井町2941)	71
		100円		
㉓	オレンジカフェ天女浜 (オレンジメイトはごろも)	第4火曜日 13:30~15:00	天女浜公民館 (尾道市向東町天女浜9225-2)	89
		100円		
㉔	駅かふえ (ボランティアはなみずき)	第3金曜日 10:00~11:30	東部公民館高須南分館 (尾道市高須町4750-2)	153
		100円		
㉕	オレンジカフェサンサンくぼ (久保地区社会福祉協議会)	第2火曜日 10:00~11:30	いきいきサロン久保 (尾道市西久保町24-23)	141
		100円		

※ 令和4年3月末現在／開設の早い順に記載

(9) 住民参加型ふれあいサービス事業

暮らしの中で、ちょっとした困りごとのある人（利用会員）とお手伝いできる人（サービス会員）が、近所同士でお互いに会員となり、お互いさまの気持ちで支え合う地域づくりを目指し、「住民参加型ふれあいサービス」を推進した。利用会員とサービス会員が、直接利用料を授受することとし、利用料は1時間700円、登録料は年間500円である。介護保険ではカバーしきれない家事援助（掃除、調理等）、外出支援、草取り等の利用が多かった。

今年度は新型コロナウイルス感染拡大により、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が発令された、5、6、8、9月は通院介助以外のサービスは中止としたが、それ以外は活動した。1月から再びまん延防止等重点措置が発令されたが、既存の活動は継続し、新規の相談受付のみ中止とした。

コロナ禍で新規サービス会員の養成講座は開催できなかったが、市社協だよりによりサービス会員募集記事を4回掲載したところ、新たに24名が会員登録された。

① ふれあいサービス運用状況

サービス会員登録者	122名	サービス回数	延1,487回
利用会員登録者	260名	サービス時間	延2,138時間

(10) 介護器具等の貸し出し事業

介護保険の対象にならない方や障害者福祉制度の給付対象にならない方、盆や年末年始などで一時退院される方、旅行などで一時使用される方などに介護器具等の貸し出しを行った。

器具の種類	本所	御調	向島	因島	瀬戸田	計
車椅子	80	42	45	13	36	216
ポータブルトイレ	11		11		1	23
チャイルドシート	8	2	2	8	9	29
杖	1					1
計	100	44	58	21	46	269

(11) 福祉総合相談事業

専門相談（弁護士、元調停委員、司法書士、元公証人を毎月各1回）を実施した。また、毎週月曜日に実施している傾聴ボランティア「コスモス」による「こころの悩みごと相談」では、コロナ禍に対する対応も兼ねて電話相談の受付を開始した。その他、日常的には、本会職員が本所及び各支所で、市民の困り事や福祉相談に応じている。

〔福祉総合相談の実績〕

〔専門相談の実績〕

相談事項		件数	相談件数明細	
			電話(件)	来訪(件)
暮らし・住まい	生計	3	0	3
	日常生活	6	0	6
	年金	1	0	1
	職業・生業	0	0	0
	住宅	2	0	2
家族	家族	11	1	10
	離婚	4	0	4
健康・医療	健康、衛生	1	0	1
	精神保健福祉	0	0	0
法律	人権、法律	44	0	44
	財産	16	0	16
	事故	0	0	0
福祉・教育	児童福祉・母子保健	0	0	0
	教育・青少年	0	0	0
	心身障害者(児)	0	0	0
	母子・父子福祉	0	0	0
	高齢者福祉	1	0	1
	社会参加	0	0	0
その他		0	0	0
合計		87	1	88

内 訳	弁護士相談	48件
	司法書士相談	13件
	元調停委員相談	0件
	元公証人相談	2件
	合計	63件
こころの悩みごと相談		10件

傾聴ボランティア「コスモス」会員スキルアップ研修を毎年開催しているが、昨年度に引き続き今年度も新型コロナウイルス感染拡大防止のため、研修会の開催は中止した。

(12) 生活困窮者自立支援事業

さまざまな理由により経済的な面で生活に困っている方、働きたいけれど働けない等不安を抱えている方、誰にも頼ることが出来ず悩み事をひとりで抱え込んでいる方などの自立に向けた相談支援を行うため専門の相談員を配置。経済的に困窮し、最低限度の生活を維持することができなくなるおそれのある方を、関係機関と連携しながら生活の安定と自立に向けた自立相談支援、家計改善支援をおこない、コロナ禍による特例措置の住居確保給付金、生活福祉資金特例貸付及び新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金と連携した相談支援を実施した。

また、今年度から生活困窮者の生活の安全と自立の促進を図るため、生活困窮者特別支援事業「きりふだ」の運用を開始した。

相談対応実績		年間合計
相談対応件数(延べ件数)		8,192
(内訳)	電話相談・連絡	1,651
	訪問・同行支援	503
	面談	2,646

	その他機関との会議（支援調整会議以外）	958
	他機関との電話照会・協議	
	その他	2,434
所内会議		13
支援調整会議（プラン策定及び評価実施）		6
新規相談受付件数（総数）		422
プラン作成件数（総数）		4
就労支援対象者数（プラン期間中の一般就労を目標にしている）		5
法に 基 づく 事 業 等 利 用 件 数	住居確保給付金	90
	一時生活支援事業	0
	家計改善支援事業	1
	就労準備支援事業	0
	就労訓練事業	0
	自立相談支援事業による就労支援	3
そ の 他	生活福祉資金等による貸付	568
	生活保護受給者等就労自立促進事業	2
就労者数（一般就労総数）		34
うち就労支援対象プラン作成者分		3

【成果】

- ・ 今年度の新規相談対応件数は、422 件であった。生活困窮者の置かれた状況に応じた包括的かつ継続的な相談支援を実施した。自立支援事業においては、経済的な面だけでなく、長く失業している方や働いた経験の無い不安な方へ、ハローワークや尾道しごと館などと連携し就労支援を行った。
- ・ プラン作成や就労相談の結果、34 名の就労が決定した。昨年に引き続き税金の滞納や債務の返済を計画的にできていない方に対して債務整理のため弁護士事務所への同行支援や家計改善支援プランを作成し、継続的に支援を行った結果、定期的な返済が可能となった。また、家計管理が困難な方には福祉サービス利用援助事業「かけはし」へ繋ぎ、連携した支援を行い適切な家計管理をすることができた。
- ・ 従前から、ひきこもりの相談者に対しては、人と関わることから始める「なごやかカフェ」を傾聴ボランティア「コスモス」との協働実施で偶数月に開催していたが、コロナ禍の影響で開催中止が続いた。また、女性に限定した居場所支援として、女性ならではの悩みや情報交換の場として「おのみち女子会『クローバー』」の開催についても同様に中止が相次いだ。今後もコロナ禍の状況が続く事を前提とした開催方法を検討する。
- ・ 生活困窮者支援の社協独自事業の充実を図るために従来実施していた緊急食糧等一時支援事業や、フードバンク事業に、併せてリサイクル事業と代用品レンタル事業を追加し、生活困窮者特別支援事業「きりふだ」として実施した。その結果、緊急的な危機状

況を回避するだけでなく、就労活動などが円滑に進むなどスムーズな生活の立て直しにつながった。

- ・ 暮らしサポートセミナーについては、コロナ禍の影響を考慮し、今年度はポスター掲示形式で開催した。内容は暮らしサポートセンター尾道の取り組み内容を中心に作成し、市の施設や社協（支所含む）で掲示し、困りごとの相談窓口を広報した。
- ・ コロナ禍による貸付制度の利用者向けにコロナ禍支援通信を作成し、定期的に発送した。コロナ禍施策を中心に掲載し、情報の貧困を防ぎ必要な施策にスムーズにつながる支援を実施した。併せて、生活保護係と連携し、貸付終了者向け相談会を毎月実施した。

【課題】

- ・ 当初予定していた各地区民生委員児童委員協議会などへ広報活動が、コロナ禍の影響で実施できなかった。
- ・ 複合的な課題を抱えた相談者や困難な事例に対応できるよう相談員のスキル向上や相談員間での情報共有を徹底し、職員の資質の向上を目指す必要がある。
- ・ 相談件数が増加の一途を辿っているため、職員の負担軽減を図る必要がある。そのためには、これまで以上の多機関との連携体制を早期に構築する必要がある。

【研修・その他】

- ・ 広島県生活困窮自立支援事業従事者研修①②
- ・ 令和3年度地域依存症対策事業 研修会
- ・ 令和3年度地域共生社会の実現に向けた包括的支援体制推進セミナー
- ・ 令和3年度ひきこもり講演会
- ・ 地域生活支援を進める専門職研修
- ・ 令和3年キャリア別社協職員研修
- ・ 令和3年度 総合相談・対応力強化研修
- ・ 令和3年度 市町社協地域生活支援向上研修
- ・ 広島司法書士会 第27回市民公開講座
- ・ 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築オンラインセミナー
- ・ 令和3年度 社会福祉協議会活動全国会議

○新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金

新型コロナウイルス感染症による影響が長期化する中で、既に特例貸付の緊急小口資金や総合支援資金の貸付期間が終了するなどにより、特例貸付を利用できない世帯に対して、就労による自立を図るまたは、それが困難な場合には円滑に生活保護の申請につなげることを目的とした、新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金の申請の受け付けを行いました。

申請件数	合計金額
71 件	5,300,000 円

○生活困窮者特別支援事業「きりふだ」

従前より実施してきた「緊急食糧等一時支援事業」、「フードバンク事業」に加え、令和3年度から新たに「(生活用品)リサイクル事業」、「代用品レンタル事業」を加え、生活困窮者特別支援事業「き・り・ふ・だ」として開始した。自立に対する意欲があるにもかかわらず、環境や物品が揃っていないが故に自立に向けた就労活動や家計改善、生活改善等が困難になっている方を一時的に事業で支えることで、自立に向けた生活環境(健康面含む)を整え、且つ就労活動範囲を広げる等、生活や生命の安全を図り確実に自立へと繋げることができた。

※「き・り・ふ・だ」は「緊急食糧等一時支援事業」、「(生活用品)リサイクル事業」、「フードバンク事業」、「代用品レンタル事業」のひと文字目を取り命名した。

① 緊急食糧等一時支援事業

食べるもの等に困る一時的な生活困窮者・世帯に対して、食糧等を提供し、生活の自立に向けた緊急一時的な支援を行い、危機回避を図った。

(件)

	本所	御調支所	向島支所	因島支所	瀬戸田支所	合計
対応件数	42	0	4	11	2	59

② (生活用品)リサイクル事業

不要となった福祉(生活)用品を「譲りたい方(譲り渡し)」と「譲ってほしい方(譲り受け)」の橋渡しを行い、福祉(生活)用品の有効活用並びに生活困窮者の生活の安定を図った。

(件)

	譲りたい	譲ってほしい	合計
対応件数	12	8	20

③ フードバンク事業

スーパーや企業、NPO団体から、フードバンクに寄付を受けた食糧等を無償提供し、生活の自立や継続的な福祉活動の実施に繋げ地域福祉の向上を図った。

(件)

受取件数	提供件数
108	264

④ 代用品レンタル事業

生活の維持や就労活動に必要な物を代用品としてレンタルし、生活維持と就労活動を円滑に進め、生活環境の一時的な安定を図った。

(件)

内訳 対応件数	自転車	炊飯器	電気ポット	電子レンジ	固定電話	合計
	本所	2	1	0	0	0
因島支所	1	1	0	0	0	2

○居場所づくり事業

相談者の「自分たちの悩みを共有できる居場所がほしい。」との声を受け、コミュニケーションの機会や仲間づくりができる場（居場所）として2か月に1回の頻度で『なごやかカフェ』を開催。また、「女性ならではの悩みや話ができる場がほしい。」という要望が受け、女性限定の「おのみち女子会『クローバー』」を毎月開催した。

① なごやかカフェ

様々な原因により社会との繋がりが希薄な状況にある方々が、「地域で自分らしく生活していくこと」を目指し、同じような状況にある人同士が集まり悩みや情報の共有を行う場を提供。幅広い年齢層のボランティアスタッフと協力して運営した。

回数	開催日	参加者数	内容
第1回	4月28日(水)	2名	レクリエーション (KAPLA®)
第2回	6月23日(水)	0名	中止 ※コロナの影響
第3回	8月25日(水)	0名	中止 ※コロナの影響
第4回	10月27日(水)	2名	パステルアート
第5回	12月22日(水)	1名	クリスマス会
第6回	2月16日(水)	0名	中止 ※コロナの影響

【成果・課題】

年6回開催予定だったが、コロナの影響により3回のみの開催となる。開催を楽しみにされる声もあり、社会とのつながりを持てる居場所として参加者に浸透した。参加者が固定のメンバーになっているため、当事者、支援者への広報を検討し、当センターが開催したセミナーやパネル展示で広報を行った。今後、参加者の継続的な支援と新規参加者が参加しやすい雰囲気づくり、受け入れ態勢を整えることが必要である。

② おのみち女子会「クローバー」

自らの経験やつらい思い、女性特有の問題、悩みなどを女性同士で語り合い、思いを共有する。不安の軽減や一歩を踏み出すきっかけづくり、仲間づくりを目的として定期的に開催。当事者スタッフとボランティアスタッフが協力し、運営した。

回数	開催日	参加者数	内容
第1回	4月9日(金)	2名	フリートーク
第2回	5月14日(金)	0名	中止 ※コロナの影響
第3回	6月11日(金)	0名	中止 ※コロナの影響
第4回	7月9日(金)	0名	中止 ※コロナの影響

第5回	8月20日(金)	0名	中止 ※コロナの影響
第6回	9月10日(金)	0名	中止 ※コロナの影響
第7回	10月22日(金)	3名	フリートーク、ハロウィンの飾りつけ
第8回	11月12日(金)	3名	フリートーク、クリスマスリース制作
第9回	12月10日(金)	1名	フリートーク、クリスマスの飾りつけ
第10回	1月14日(金)	0名	中止 ※コロナの影響
第11回	2月18日(金)	0名	中止 ※コロナの影響
第12回	3月11日(金)	0名	中止 ※コロナの影響

【成果・課題】

年12回開催予定だったが、コロナの影響により4回のみでの開催となる。参加者間の近況報告やスタッフのこれまでの経験を聞くことで、前向きな変化が見られ、就労に繋がるきっかけとなった。集う形での女子会の開催は中止としたが、個別面談やハガキ送付など、繋がりが途切れないよう工夫した。また、周知のため、当事者、支援者への広報を検討し、本会が開催したセミナーやパネル展示で広報を行った。次年度は、本会のホームページなどを活用し、当事者に情報が届くよう広報の仕方を工夫する。

(13) 生活支援体制整備事業

高齢者の在宅生活をみんなで支える地域づくりとして、尾道市は生活支援体制整備事業を地域包括支援センターの圏域毎に委託し、内5圏域を本会が受託している。

令和3年度から、尾道市が、第2層協議体設立エリアについて、旧尾道地区は地区社協圏域に見直しをされた。このため、地区社協単位での説明会の開催を計画しようとしたが、新型コロナウイルス感染拡大のため、全地区社協での説明会開催に至らなかった。

また、各圏域に生活支援コーディネーター（地域支え合い推進員）を配置し、地域のニーズや資源等の情報の取りまとめ、情報共有に努めたが、こちらも新型コロナウイルス感染症の影響で地域の活動が度々中止となったため、活動を縮小せざるをえなかった。そのうえ、地域住民との繋がりを図り、地域の支え合いの体制づくりを展開していくための基盤づくりでもあるサロン等の訪問も、計画の半分程度しか出来なかった。

西部圏域（日比崎地区社協、栗原北地区社協区域含む）では、西部地域包括支援センターと情報共有を図りながら、5カ所のサロンで講話を行った。この中で、平原地区での新たなサロンの立ち上げにつながった。

なお、各地区の説明会は、コロナ収束の見通しが立たないので、新年度に新役員に対して行うこととした。

南部（因島）圏域では、昨年度末に立ち上げることが出来た「ケアネットフォーラム因島」を3回開催した。各団体の活動状況を共有しながら、「住民の皆さんが挨拶し合えるまちづくり」を目指し、住民・地域の課題について継続して話し合っていくことを確認した。

北部圏域（栗原北地区社協区域除く）では、御調町エリアで一つ、美木中エリアで一つと、2つの第2層協議体の設立に向け取り組んだ。新たな組織が必要かなどの意見もあったが、検討会議を重ねていくうちに、既存の各団体からの意見や課題を集約し、地域全体で情報共

有や話し合いをすることの必要性を理解していただいたように感じられた。

なお、木ノ庄西地区だけでなく、木頃地区でも高齢者見守りネットワークに取り組むこととなった。

中央圏域（日比崎地区社協除く）では、久保地区社協で複数回にわたり生活支援体制整備事業、第2層協議体及び生活支援コーディネーターについて説明を行い、意見交換を行った。何度も説明を行う中で、一定の理解が得られ久保地区社協の四役を中心として、第2層協議体の方向性をまとめていくこととなった。

また、ふれあいサロンひだまり旭ヶ丘を始め長江地区のサロンなど5カ所で地域づくりの講話を行い、事業推進に努めた。

南部（生口島・瀬戸田）圏域では、第2層協議体設立に向けた2回目の生活支援体制整備事業の説明会を6地区社協で行った。引き続き、残りの地区でも説明会を実施し、瀬戸田地区全体の住民の様々な意見を集約して、第2層協議体の立ち上げに向け、課題を整理していく。

また、10カ所のサロンにも参加して、地域のニーズ把握や情報収集に努めるとともに、引き続き高根地区の買物支援にも関わった。

各圏域ともに、包括の介護予防・生活支援部会との合同会議を開催し、現時の取組状況や困っていることなどをお互いに報告し合い、改めて情報共有の重要性を認識したところである。

3市（三原市、尾道市、福山市）の生活支援コーディネーター会議を開催し、それぞれの課題を共有しながら、お互いのスキルアップを図っている。

【成果】

- ・ 地域での見守り活動の意識向上が図られた。
- ・ 第2層協議体に対する認識が少しずつ上がっている。
- ・ 小地域ネットワーク推進事業や生活介護支援サポーター養成講座等を重層的に行うことで、地域への働きかけや活動がつながりやすかった。
- ・ 地域の情報の共有を図り、サロン等に参加するなかで、住民のコーディネーターへの認識が高まっている。

【課題】

- ・ 旧尾道地域の現状及び課題の把握が不十分である。
- ・ 地域役員の担い手不足及び高齢化。
- ・ 参加者は、高齢者や関係団体の役員の方が大半である。若い人たちは、地域活動とは疎遠になりがちである。若い方を取り込む方策が必要である。
- ・ 本事業を進めていくにあたり、行政及び包括との連携は不可欠である。今後も各関係機関と連携し、役割分担のうえ進めていくことが求められる。

(14) おのみち福祉まつり・尾道市社会福祉大会等の開催

① 第50回おのみち福祉まつり

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、また、総合福祉センターが新型コロナウイルス

ワクチン接種会場となっていたため、会場を使用していた福祉まつりは中止し、代わりに 10 月 18 日～11 月 19 日まで「オンライン福祉まつり」を開催した。市社協の事業やボランティア活動の紹介を動画で作成し、ホームページで一カ月間視聴できるようにした。

② 尾道市社会福祉大会等の開催

ア 尾道市社会福祉大会（場所：尾道市総合福祉センター）

新型コロナウイルス感染拡大防止のため大会は中止となり、表彰のみ行った。

永年にわたり福祉活動に功労のあった方や在宅で介護されている方を表彰した。

日 時	11 月 16 日（火） 13：20～13：35
内 容	<p>1 福祉功労者及び介護者表彰及び感謝状の贈呈</p> <p>① 尾道市社会福祉協議会会長表彰 44 名 2 団体</p> <p>社会福祉協議会関係者 12 名</p> <p>民生委員児童委員 3 名</p> <p>社会福祉施設・団体関係者 18 名</p> <p>ボランティア（個人） 10 名</p> <p>ボランティア（団体） 2 団体</p> <p>介護者 1 名</p> <p>② 尾道市社会福祉協議会会長感謝状</p> <p>高額寄付者 15 名 1 団体 匿名 3 名</p> <p style="text-align: right;">（参加者 16 名）</p>

イ 広島県社会福祉大会（場所：広島市南区民文化センター）

日 時	10 月 28 日（木） 13：30～15：40
内 容	<p>福祉活動功労者表彰状の贈呈</p> <p>広島県社会福祉協議会会長表彰 15 名</p>

ウ 全国社会福祉大会

内 容	<p>新型コロナウイルス感染拡大防止のため大会は中止となり、表彰のみ行われた。</p> <p>全国社会福祉協議会会長表彰 6 名</p>
-----	--

③ 第 37 回御調地区健康福祉展への参加

日 時	10 月 23 日（土）（中止）
場 所	公立みつぎ総合病院、御調保健福祉センター
内 容	<p>開催予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大に伴い中止となった。代替行事として、10 月 26 日（火）から 11 月 4 日（木）まで、ふれあいサロンやボランティアグループのパネル展示を行った。</p>

④ 障害者ふれあいスポーツ大会への参加

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止となった。

⑤ むかいしま健康福祉まつりへの参加

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止となった。

(15) 広報啓発活動

① 市社協だより

偶数月に、市社協だより第 275 号～第 280 号を発行し、全世帯に配布して、地域福祉に関する情報のお知らせ、各種行事の案内やボランティア活動等の啓発を行った。

② ホームページ

各種行事や教室の案内、新型コロナウイルスによる事業実施状況のお知らせなど、必要に応じてタイムリーな情報発信を行った。

(16) 民生委員児童委員協議会との連携

民児協会長会議に出席し、市社協事業の説明や共同募金の協力依頼や、ボランティア保険等の情報提供を行った。また、尾道市内 18 区の単位民児協会会議にも各地域担当職員が出席して市社協の事業説明を行い、連携を図った。

(17) 福祉まるごと相談窓口事業

どこに相談すればいいかわからない、8050 問題や引きこもりなど多くの課題を抱えて悩んでいらっしゃる方に相談員が寄り添い、関係機関へつなぐなど、解決に向けて取り組んだ。

単一機関だけでは解決が困難な複合化した課題の解決を図るために尾道市地域共生包括化推進会議を設置し、本会議、実務者会議、個別ケース会議、課題解決会議等を開催した。

・福祉まるごと相談セミナーの開催

当初会場型で開催予定であったが、コロナ禍を踏まえオンラインで実施。

テーマ 「ひきこもりを考える家族セミナー ～ひきこもりの理解と対応～」

第 1 部 講演 「ひきこもりの実態と家族や周囲に出来る事」

講師 KHJ 全国ひきこもり家族連合会 ジャーナリスト 池上正樹さん

第 2 部 パネルディスカッション 「本人、家族、地域、支援者のつながりを考える」

コーディネーター ノートルダム清心女子大学 准教授 中井俊雄さん

アドバイザー KHJ 全国ひきこもり家族連合会 ジャーナリスト 池上正樹さん

パネリスト 広島県ひきこもり支援センター 臨床心理士 高橋耕介さん

くらしサポートセンター尾道 社会福祉士 高橋 望

福祉まるごと相談窓口実績（前年度と集計基準変更）

相談件数	相談内容
44件	135項目（例示は次のとおり。） 病気、障害（手帳有）、障害（疑い）、自殺企図、その他メンタルヘルス、住まいの不安定、ホームレス、経済的困窮、債務、家計管理の問題、就職活動困難、就職定着困難、社会的孤立（ひきこもり含む）、家族関係、介護、子育て、不登校、非行、ひとり親、DV・虐待、コミュニケーションが苦手、本人の能力の課題、その他（8050問題など）

令和3年度 尾道市地域共生包括化推進会議 実績

	本会議	実務者会議	個別ケース会議	課題解決会議	事務局会議	その他
4月			1ケース		事務局会議	
5月			2ケース			研修参加
6月						
7月			1ケース		事務局会議	
8月						
9月	第2回	第2回	1ケース		事務局会議	
10月			1ケース		事務局会議	
11月		第3回	1ケース		事務局会議	
12月		第4回			事務局会議	研修参加
1月					事務局会議	研修参加
2月	第3回				事務局会議	
3月		第5回	2ケース	第1回	事務局会議	

■包括化推進会議

月日・会議名	内容
9月27日（月） 第2回会議 （包括化推進会議・実務者会議合同）	<ul style="list-style-type: none"> 参加機関自己紹介 高島市の実績報告 尾道市地域共生包括化推進会議について 意見交換
2月14日（月） 第3回会議 （書面会議）	<ul style="list-style-type: none"> 令和3年度実務者会議の取り組み状況について 令和3年度個別ケース会議の取り組み状況について 課題解決会議について

■実務者会議

月日・会議名	内 容
9月27日(月) 第2回会議 (包括化推進会議・ 実務者会議合同)	<ul style="list-style-type: none"> ・参加機関自己紹介 ・高島市の実績報告 ・尾道市地域共生包括化推進会議について ・意見交換
11月8日(月) 第3回会議	<ul style="list-style-type: none"> ・第2回会議の振り返り ・個別ケース会議のフローチャート作成についてグループワーク ・課題解決会議について ・研修交流会について
12月6日(月) 第4回会議	<ul style="list-style-type: none"> ・第3回会議の振り返り ・個別ケース会議報告 ・個別ケース会議手引きについて ・各機関のヒアリングについて ・研修交流会について
3月25日(金) 第5回会議	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度実績報告 ・令和4年度年間スケジュールについて ・個別ケース会議報告 ・第3回包括化推進会議意見集約の報告 ・グループワーク

■個別ケース会議

開催月・地区ケース	参 加 団 体
4月 因島 3人世帯	市社会福祉課、市健康推進課、因島福祉課、南部地域包括支援センター、ケアマネジャー、市社協因島支所、くらしサポートセンター
5月 ①尾道2人世帯 ②尾道9人世帯	①市社会福祉課保護係、市健康推進課、市子育て支援課、パレアモア、東部保健所、くらしサポートセンター ②市社会福祉課保護係、市健康推進課、市子育て支援課、スクールソーシャルワーカー、民生児童委員、はなはな、くらしサポートセンター
7月 尾道 5人世帯	市社会福祉課保護係、市子育て支援課、市健康推進課、スクールソーシャルワーカー、くらしサポートセンター
9月 向島 8人世帯	市社会福祉課保護係、市女性相談、市子育て支援課、市健康推進課、スクールソーシャルワーカー、はなはな、くらしサポートセンター
10月 尾道 7人世帯	市社会福祉課保護係、市子育て支援課、市健康推進課、スクールソーシャルワーカー、はなはな、くらしサポートセンター
11月 瀬戸田2人世帯	市社会福祉課保護係、市因島福祉課、地域包括支援センター、因島はなはな、ケアマネジャー、就労支援事業所、くらしサポートセンター

3月 ①瀬戸田2人世帯 ②尾道3人世帯	①市社会福祉課保護係、市因島福祉課、地域包括支援センター、因島はなはな、ケアマネジャー、就労支援事業所、市社協因島支所、くらしサポートセンター、かけはし ②市社会福祉課保護係、市子育て支援課、市健康推進課、市教育委員会、スクールソーシャルワーカー、東部こども家庭センター、民生委員児童委員、くらしサポートセンター
---------------------------	---

■課題解決会議

開催月・会議名	内 容
3月 第1回会議	<ul style="list-style-type: none"> ・地域共生包括化推進会議について ・課題解決会議の目的について ・各関係機関の取り組みについて情報共有 ・令和4年度年間スケジュールについて

■事務局会議

開催月	内 容
4月	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度スケジュールについて ・包括化推進会議及び実務者会議について
7月	<ul style="list-style-type: none"> ・包括化推進会議及び実務者会議について
9月	<ul style="list-style-type: none"> ・包括化推進会議及び実務者会議について
10月	<ul style="list-style-type: none"> ・包括化推進会議の振り返り ・個別ケース会議について ・課題解決会議について ・研修交流会について”
11月	<ul style="list-style-type: none"> ・第3回実務者会議の振り返り ・グループワークについて ・研修交流会について”
12月	<ul style="list-style-type: none"> ・重層的支援体制整備について ・他事業との連携について
1月	<ul style="list-style-type: none"> ・本会議の開催について ・実務者会議について ・各機関のヒアリングについて
2月	<ul style="list-style-type: none"> ・第3回地域共生包括化推進会議について ・第5回実務者会議について ・課題解決会議について ・次年度スケジュールについて

3月	<ul style="list-style-type: none"> ・第3回地域共生包括化推進会議の意見集約結果について ・第5回実務者会議について ・課題解決会議について
----	--

■その他

開催月	内 容
1月 【研修参加】 場所：Web 会議	「ひろしま社協活動推進会議」 報告：尾道市地域共生包括化推進会議事務局（市、社協） 内容：地域共生包括化推進会議の取り組みについて紹介

3. 福祉人材養成事業

(1) 地域人材確保推進体制整備事業

行政、ハローワーク、福祉施設、高等学校等と連携して尾道市福祉・介護人材確保等総合支援協議会会議を開催し、実施事業の協議及び報告を行うとともに、委員同士の情報交換と交流を図った。コロナ禍でも対応できるよう、オンラインやリモートでの開催を取り入れながら事業を展開した。継続して取り組んでいる「Teachers' Tour」については、「おのみち福祉ツアー」に名称を変更し、高齢・保育・障害・専門学校の4分野に幅を広げて情報発信を行った。

ア 尾道市福祉・介護人材確保等総合支援協議会会議

年2回（6月、2月）を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため6月の会議を中止し、2月はリモート形式で開催した。

開催日	場 所	内 容	参加者
2月25日（金）	Web 会議	①令和3年度実施事業について（報告） ②令和4年度事業計画及び収支予算について（協議） ③その他情報交換	12名

イ 福祉・介護職理解促進説明会（福祉出前授業）の実施

尾道市内8つの高校に開催を働きかけ、以下3校で実施した。福祉・介護を取り巻く現状を伝えるとともに、介護職のやりがい・魅力を発信した。

開催日	場 所	内 容	参加者
11月17日（水）	御調高等学校	演題：福祉出前講座 講師：尾道福祉専門学校 専任教諭 重岡秀和さん	1年生 52名
12月8日（水）	尾道高等学校	演題：社会福祉のとらえ方と介護の現状 ～介護福祉士のあり方とは～ 講師：トリニティカレッジ広島医療福祉専門学校 介護福祉学科 学科長 吉岡俊昭さん	工業科 2年生 52名
2月16日（水）	尾道商業高等学校 （※Webでのリモート授業）	演題：絶対介護時代～この時代を生きるすべての人たちへ～ 講師：トリニティカレッジ広島医療福祉専門学校 介護福祉学科 学科長 吉岡俊昭さん	1年生 129名

ウ 「おのみち福祉ツアー2021 Online」の開催

高等学校の生徒、保護者及び教員に福祉職場に関する情報を発信することで、実情や魅力について理解を深めて頂き、一人でも多くの生徒が福祉職を進路の一つとして考えて頂けるよう開催した。

広島県東部を中心に県北部からも参加をいただき、幅広く情報を発信することができた。また、参加者からのアンケート結果では、生徒の約8割が「進路の一つとして福祉業界を考えたいと思った」、教員の約9割が「進路の一つとして、生徒に福祉業界を勧めたいと思った」と回答があり、福祉・介護職の魅力や社会的必要性を伝えることができた。

開催日	開催方法	内 容	参加者
8月11日(水)	オンライン	「保育・障害・高齢の3分野の施設」と「介護職員を養成する専門学校」について紹介し、職場の現状、仕事の魅力・やりがい、職員の声、進学 の貸付制度などの情報を発信した。 【発表施設】 ①保育分野 (社福)広島県同胞援護財団 どうえん尾道中央認定こども園 ②障害者分野 (社福)あづみの森 尾道発達相談・療育支援センターあづみ園・障害者生活支援センターあおぎり ③高齢者分野 (社福)ひらはら会 高齢者総合ケアセンターひらはらの郷 ④専門学校 (社福)尾道さつき会 尾道福祉専門学校	22校 43名 (生徒 28名、教員 15名)

(2) 大学、専門学校等社会福祉援助技術実習生等の受け入れ

川崎医療福祉大学から、1名の実習生を受け入れた。

期間：令和3年9月6日(月)～10月11日(月)

(3) 日本赤十字社講習会

ア 旧尾道地域…7月1日(木)に浦崎地区、10月8日(金)に栗原北地区で、それぞれ
幼児安全法講習会を行い、子育てサロンの親子が受講した。もしもの事故
や怪我に備え、AEDの使用方法や応急処置について学ぶことができた。
5月に三成地区、2月に高須地区でも幼児安全法を行う予定にしていた

が、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止した。

- イ 御調地域……8月5日(木)に、幼児安全法講習会「こどもに起こりやすい事故の防止と手当(AED)」を保育ボランティア養成講座の中で行う予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。
- ウ 向島地域……11月24日(水)に、向島町はなみずき赤十字奉仕団と共催で救急法講習会を行い28名が受講した。また、3月10日(木)に、日本赤十字社広島県支部調整監 脇谷孔一さんによるSDGs講座を行った。ボランティア団体と奉仕団の共催により、一般参加者も含め25名が参加した。

4. 福祉教育推進事業

(1) 児童・青少年を対象とした福祉教育

① ボランティア活動実践校事業

ア 指定校

各指定校は、コロナ禍でも工夫をしながら、清掃活動や花植え、地域住民との交流、共同募金活動などを行った。

(指定校)

小学校(18校)	長江小、土堂小、栗原小、吉和小、山波小、日比崎小、三成小、美木原小、西藤小、浦崎小、栗原北小、御調中央小、御調西小、高見小、向島中央小、三幸小、因島南小、瀬戸田小
中学校(6校)	日比崎中、高西中、浦崎中、向東中、御調中、瀬戸田中

イ ボランティア実践校会議

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、会議は開催せず、各指定校の計画書を冊子にまとめて配付した。また、報告書も同様に冊子にまとめ、アンケートの結果とともに各指定校に配付することで、取り組み成果や課題の共有を行った。

② 出前福祉教室の開催

ア 向島地域

(ア) 向島中学校

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止となった。

(イ) 三幸小学校ボランティア体験学習(10月5日(火))

児童(4年生12名)を対象に、朗読録音、手話、点字ブロック歩行、車椅子の4つのコーナーをスタンプラリー形式による体験をし、ボランティア意識の高揚と啓発を図った。点字体験は、日程を変更して11月15日(月)に実施した。

(ウ) 向島中央小学校ボランティア体験学習(10月22日(金))

児童(3年生54名)・保護者を対象に、朗読、点字、手話、点字ブロック、車椅子の5つのコーナーを親子で体験し、人のやさしさや温もりを感じ取り、誰にでもやさしく接しようという意欲をもつとともに、社会の一員としてともに生きる社会を実現していこうとする態度を育てる目的でボランティア体験事業を行った。

イ 御調地域

(ア) 御調中央小学校 (11月26日(金))

障害者・高齢者への支援を行うボランティアを多く体験し、介護、福祉への関心を高めることを目的に、ボランティアを講師として、6年生(41名)を対象に、手話、朗読録音、アイマスク(白杖)、車椅子操作などの体験を7グループに分かれ、感染対策を徹底し、スタンプラリー形式で行った。

(イ) 御調西小学校 (2月4日(金))

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。

③ 夏休みヤングボランティアスクール

今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、対象者を高校生以上に限定して規模を縮小し、従来の介護施設や保育施設等での体験ではなく、福祉センターの行事運営スタッフとしてボランティア体験を実施した。

日時	場所	行事	参加者
8月6日(金) 10:00~12:00	総合福祉センター	児童センター夏休みチャレンジ教室 「みんなで踊ろう kids ダンス」	2名
10月17日(日) ①9:30~12:00 ②13:00~15:30	総合福祉センター	三世代交流「VS 夏&盆踊り」	12名

④ 「地域まるごと福祉教育推進事業」指定終了後の取り組み

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。

⑤ Let's 食育! 御調グループの取り組み

御調地区の関係団体(尾道市子育て支援課、尾道市地域おこし協力隊、御調保健福祉センター、子育て支援センターみっけ、御調子ども図書館「すくすく」、第11区主任児童委員、子育てオープンスペース 0123、尾道市社会福祉協議会)の協働開催で1~3歳児までの親子を対象に「食」についての大切さを伝えた。

日時	場所	内容	参加者
10月19日(火) 10:00~11:15	河内公民館	Let's 家庭菜園 サラダミックスを育てよう	4組

5. ボランティア活動推進事業

ボランティア活動を推進するため、地域の実情に応じた相談対応を行い、交流会の開催や情報発信等を通じてボランティアの育成や新規会員確保に取り組んだ。

(1) ボランティアセンターの運営（相談・派遣・ネットワーク・広報等）

① ボランティアの相談・情報提供

ボランティアの新規活動希望や派遣依頼等の対応を行うとともに、ボランティア団体に向けた各種ボランティア情報の発信や助成金、研修会等の情報提供を行った。

② ボランティア依頼への対応

登録ボランティア数 1,418 名で、団体、個人の依頼により派遣した。依頼件数は託児 14 件、手話 6 件、その他 1 件となっている。また、点訳と朗読録音依頼については次のとおりである。

区分	内 容	利用者
点訳依頼	市役所の各課や身障協会からの通知など公的な依頼が 16 件、個人的な依頼が 22 件あった。公的書類の通知文書、バスや電車の時刻表、川柳作品など、視覚障害者の生活に必要なものや生活の充実につながるものを点訳した。	12 名
朗読録音依頼	広報おのみち、市社協だより、市議会だよりをはじめ、新聞の社説、身障通信などを朗読した CD を視覚障害者の希望で送付した。	21 名

③ 各地域ボランティア連絡協議会の活動

ア 尾道ボランティア連絡協議会（参加サークル 14 団体、個人ボランティア 1 名）

定例会を毎月 1 回開催し、意見や情報の交換、ボランティア同士の交流を図りながら、次の活動を行った。

- ・ 定例会の開催（毎月第 4 木曜日） ※コロナ禍で 5 月、8 月、9 月、1 月は中止
- ・ 共同募金運動への協力
- ・ 会員に書籍の寄付を募り、尾道市総合福祉センターボランティア室内に自由に貸出できる書籍コーナーを設置。

イ 御調地区ボランティア連絡協議会（参加サークル 4 団体）への協力

町内で活動するボランティア団体が相互交流や研修、実践発表を行い、福祉の増進を図っている。具体的には、次のような活動を行った。

- ・ ボランティア連絡協議会会議実施（年 5 回）
- ・ 共同募金街頭募金への協力 12 月 1 日、2 日
- ・ 御調中央小学校ボランティア体験学習 11 月 26 日
- ・ 御調地区ボランティア連絡協議会研修会 1 月 19 日に開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
- ・ 尾道市ボランティアネットワーク会議への参加

- ・ 活動展示パネルの掲示（御調保健福祉センター・公立みつぎ総合病院・広島銀行）
- ウ 向島ボランティアグループ連絡会「花あかり」（参加サークル 6 団体）への協力
「花あかり」は6 団体が参加。毎月 1 回役員会を開催し、ボランティアグループ同士の情報交換を行った。このほか、次の活動を行った。
- ・ 「花あかり」役員会……毎月第 1 金曜日
 - ・ 尾道ボランティアネットワーク会議……毎月第 4 月曜日（3 カ月に 1 回）
 - ・ 小学校による総合学習体験と活動紹介
三幸小学校 4 年生にスタンプラリーによるボランティア体験学習
向島中央小学校 3 年生にボランティア体験学習
 - ・ 花いっぱい！笑顔いっぱい運動
 - ・ 認知症勉強会（12 月 23 日（木））
認知症の症状と対応の仕方、予防について説明。認知症は他人事ではなく、地域との関わり大切さ等について研修を行い、25 名が参加した。
 - ・ SDGs 講座（3 月 10 日（木））
向島町はなみずき赤十字奉仕団とボランティア団体の共催により、SDGs 講座を開催した。ボランティア活動をしていることは、SDGs（持続可能な開発目標）を推進することにつながっている。そこで、SDGs について学び、実際の活動が SDGs の視点からボランティア活動を持続するためにはどのようにすべきかについて研修を行い、一般参加者も含めて 25 名が参加した。
 - ・ 街頭募金への協力
- エ 因島ボランティア連絡協議会（参加サークル 8 団体）への協力
原則 2 カ月に 1 回、定例会を開催し、尾道市ボランティアネットワークの報告及び因島ボランティア連絡協議会の活動内容の検討、各サークルの情報交換を行った。今年度は、新型コロナウイルスの影響で思うような活動ができなかった。毎年恒例となっている「大浜しまなみビーチ清掃活動」は中止となり、「フラワーセンターの花植えボランティア」も開催されなかった。昨年の「NPO 法人全国子ども食堂支援センター・むすびえ」の理事長 湯浅誠さんの講演を聞いて計画した「島っ子こども食堂」の見学は、8 月 5 日、12 月 5 日の 2 回に分けて 2 団体ずつ見学することができた。子どもたちの楽しそうな姿と美味しそうに食べる姿に感動し、子どもの居場所づくりとして、「子ども食堂」の大切さを認識した。
- 今後も、コロナ禍の中でもできるボランティア活動を提案し、ボランティア同士の活動が活性化するような取組みを進めていきたい。
- オ 瀬戸田ボランティア連絡協議会（参加サークル 3 団体）への協力
尾道市ボランティアネットワーク役員会を受けて、報告及び活動内容の検討、各サークルの情報交換を定期的に行った。
- 参加サークルの内、しまおもい健康生活ネットワークとほっとレモン瀬戸田が、グループ同士の交流を兼ねて、生口島子育て支援センター主催のフラワーアレンジメント講座に参加協力をした。
- 来年度も参加サークルの活動がより活性化できるよう支援していきたい。

④ 尾道市ボランティアネットワーク事業

尾道市ボランティアネットワークを立ち上げてから14年目となり、加入ボランティア団体数は35団体となっている。年4回の定例会を開催し、各ボランティア連絡協議会の活動の共有や意見交換を行いながら交流を深めた。

また、今回で6回目となる「おのみちボラネット交流会」を開催した。コロナ禍でも多くの方に参加していただけるよう、3会場をZoomでつなぎ、参加人数を分散して開催した。

その他、ボランティア応援ブックの発行や、市社協だよりを活用して情報発信を行った。

ア 尾道市ボランティアネットワーク会議の開催

開催日	場 所	内 容	参加者
4月12日(月)	尾道市 総合福祉 センター	・2021年度新役員候補の決定 ・2021年度地域づくり講演会&尾道市ボランティアネットワーク総会について ・各V連の情報交換	13名
7月12日(月)	尾道市 総合福祉 センター	・2021年度尾道市ボランティアネットワーク総会書面決議の結果報告 ・おのみちボラネット交流会“2021”について ・ボランティア応援ブックの作成について ・各V連の情報交換	11名
10月21日(木)	尾道市 総合福祉 センター	・おのみちボラネット交流会“2021”について ・ボランティア応援ブックの作成について ・各V連の情報交換	10名
2月28日(月)	尾道市 総合福祉 センター	・おのみちボラネット交流会“2021”の振り返り ・2022年度市社協だよりの担当V連について ・2022年度地域づくり講演会&尾道市ボランティアネットワーク総会について ・2022年度おのみちボランティア研修会について ・各V連の情報交換	12名

イ 尾道市ボランティアネットワークの活動

開催日	場 所	内 容	参加者
6月4日(金)	書面決議	◆2021年度ボランティアネットワーク総会 ①2020年度事業報告及び2021年度事業計画 ②2021年度役員	会員 35団体
11月28日(日)	尾道市総合福祉センター、愛あいセンター、尾道市因島総合福祉保健センターの3会場をWebで接続	◆おのみちボラネット交流会“2021” ～コロナ禍でもつながっていこう～ 演題：「高齢者向けのインターネット活用術」 講師：あそびの工房「もくもく屋」 事務局長 田川雅規さん	80名

ウ ボランティア応援ブックの発行

尾道市内のボランティア活動についての理解を促し、多くの方に、ボランティアとしてはじめの一步を踏み出していただけるよう、「ボランティア応援ブック」を500部発行した。ボランティアの心得、タイプ別診断チャートや種別ごとのボランティア活動、尾道市ボランティアネットワークの加入団体等を掲載している。

エ 市社協だよりの記事提供

尾道市ボランティアネットワークや各ボランティア連絡協議会の取り組み、行事のお知らせ、ボランティアの活動紹介や募集など、尾道市民に向けて情報の発信を行った。

オ 人道的活動（署名及び寄付実施）

ロシアによるウクライナへの武力侵攻に対する反対意思を表明するため、オンライン署名ができるウェブサイト（Change.org）を活用して、尾道市ボランティアネットワークの名義で、武力侵攻への反対や攻撃の即時中止等を求める複数の活動に署名した。

また、ウクライナへの人道支援のため、国連難民高等弁務官（UNHCR）に同名義で1万円を寄付した。

【成果】

- ・ 定例会で各ボランティア連絡協議会の活動や課題を共有することで、各地域の状況を理解し、今後の活動を考える機会となった。
- ・ 交流会を通して、コロナ禍におけるコミュニケーションの必要性やITツールを活用したつながりづくりの手法を学んだ。また、自分でITを活用することが困難であっても、メッセージングボランティアとなり、ITツールの活用事例などの情報を周りに発信することで、新たな仲間づくりや取り組みにつながる可能性を感じた。

【課題】

- ・ 多くの団体でボランティアの高齢化や担い手不足が課題となっている中で、新規ボランティア会員の確保及び後継者の育成、既存活動の見直しなど新たな取り組みが必要である。
- ・ ボランティアの存在や活動を幅広く市民に周知できるよう、尾道市や各種団体との連携を図りながら、情報発信の手法を検討していく。

⑤ ボランティア活動保険・行事用保険などの受付

安心してボランティア活動をしてもらうために、研修会や民児協定例会などでボランティア保険の周知を行い、加入の促進と事故への対応を行った。

区 分	本所	御調	向島	因島	瀬戸田
ボランティア活動保険加入者数	2351 名 事故 8 件	267 名	796 名 事故 1 件	543 名 事故 2 件	653 名 事故 1 件
ボランティア行事用保険加入 件数	77 件	7 件	16 件	0 件	0 件
送迎サービス補償保険加入件数	0 件	1 件	—	—	—
福祉サービス総合補償保険 加入件数	13 件 事故 2 件	1 件	—	—	—
社協の保険（ふれあいサロン・社 協行事障害補償保険）加入件数	212 件 事故 3 件	—	—	—	—

⑥ 福祉活動機材等の貸し出し

車椅子や高齢者疑似体験グッズ、パネル、テントなどを貸し出し、地域行事や学校での福祉教育、各種イベントで活用された。

(2) ボランティア養成事業

ボランティア養成のために各種講座を実施した。

① 保育ボランティア養成講座

ア 旧尾道地域

1月21日（金）に助産師、保育士による講座を予定していたが、まん延防止等重点措置が発令されたため中止し、説明会のみ開催した。6名が参加され、うち1名が新規登録を行い、令和4年度から活動を始める。

イ 御調地域

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、6月から3度にわたり日程変更を試みたが、やむを得ず中止した。

② 読み語りボランティア研修会

ア 旧尾道地域

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。

イ 御調地域

11月25日（木）にヴォイストレーナー武田智子さんによるアクセント指導を、12月9日（木）にブックスタートの見学を行い、2名が新規登録された。

③ お掃除ボランティア「さわやか」活動

お掃除ボランティア「さわやか」を立ち上げてから11年目となった。隔月で年6回の定例会を予定していたが、コロナ禍で開催できない月があったため、年3回の開催となった。

活動依頼に対しては、事前の現地確認をはじめ、ボランティアを調整しスムーズな活動につなげた。また、民生委員や地域包括支援センター等に協力支援を図った。

毎年恒例の環境ウォーキングは、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、昼食を伴う交流会は中止とし、参加者を4グループに分けて密集しないように実施した。

ア お掃除ボランティア「さわやか」定例会の開催

開催日	場 所	内 容	参加者
新型コロナウイルス感染拡大防止のため、書面審議を実施		<ul style="list-style-type: none"> ・お掃除ボランティア「さわやか」総会 ・令和2年度事業報告及び収支決算について ・令和3年度事業計画及び収支予算について 	全会員 (29名)
7月21日(水)	総合福祉センター	<ul style="list-style-type: none"> ・お掃除ボランティア「さわやか」総会書面審議の結果報告 ・お掃除ボランティア活動報告及び活動予定 ・令和3年度の定例会について ・令和3年度環境ウォーキング&交流会について 	7名
10月13日(水)	総合福祉センター	<ul style="list-style-type: none"> ・お掃除ボランティア活動報告及び活動予定 ・令和3年度環境ウォーキング&交流会について 	7名
3月16日(水)	総合福祉センター	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度環境ウォーキング&交流会の振り返り ・お掃除ボランティア活動報告及び活動予定 ・令和4年度役員改選について ・令和4年度の取り組みについて 	7名

イ お掃除ボランティア「さわやか」因島グループ定例会の開催

開催日	場 所	内 容	参加者
7月29日(木)	因島総合福祉保健センター	<ul style="list-style-type: none"> ・お掃除ボランティア定例会(7/21)の報告 	8名
10月14日(木)	因島総合福祉保健センター	<ul style="list-style-type: none"> ・お掃除ボランティア定例会(10/13)の報告 ・環境ウォーキングについて ・お掃除ボランティア活動予定について 	10名
3月17日(木)	因島総合福祉保健センター	<ul style="list-style-type: none"> ・お掃除ボランティア定例会(3/16)の報告 ・令和4年度定例会年間予定について 	7名

ウ お掃除ボランティア「さわやか」交流会

開催日	場 所	内 容	参加者
11月17日(水) 9:30~11:30	千光寺山麓から尾道市立美術館までの4ルート	・令和3年度環境ウォーキング&交流会 目的地を目指して歩きながら、道端や溝などに落ちているゴミを拾い、会員同士のコミュニケーションを図った。	28名

エ お掃除ボランティア「さわやか」活動実績

実施月	旧尾道地区		御調地区		向島地区		因島地区		瀬戸田地区		合 計	
	件数	ボランティア	件数	ボランティア	件数	ボランティア	件数	ボランティア	件数	ボランティア	件数	ボランティア
4月			1	3							1	3
7月							1	7			1	7
10月			1	6	1	5	1	8			3	19
11月					2	7					2	7
12月	1	2									1	2
3月					1	3					1	3
合計	1	2	2	9	4	15	2	15	0	0	9	41

※尾道クリーンセンターのパッカー車利用：9回

【成果】

- ・ 尾道市内全域において9件の活動を実施し、利用者宅の衛生環境を整えるとともに、ボランティア自身の充実感を高めることができた。
- ・ 尾道市清掃事務所によるパッカー車の派遣により、ゴミ処理がスムーズに行えた。
- ・ 環境ウォーキングを通して、市内の環境美化及びお掃除ボランティア会員同士の交流を図ることができた。

【課題】

- ・ 一人暮らしの高齢者が、ますます増えていく中で、複合的な課題を抱えているケースもあり、関係機関と連携を図り、対応をしていかなければならない。
- ・ 地区社協や民生委員、包括支援センター、ケアマネジャー等と連携を深め、幅広い情報発信とともに、活動依頼を増やしていく必要がある。
- ・ 会員の高齢化や担い手不足という課題があり、今後は新規会員の発掘や育成について新たな取り組みを検討していく。

6. 高齢者福祉事業

(1) 第47期尾道いきいき大学

尾道市在住、60歳以上の方を対象に、生涯学習として尾道いきいき大学を開講した。

《大学の概要》

期 間：令和3年4月9日（入学式）～令和4年3月8日（修了式）

会 場：尾道市総合福祉センター・尾道市人権文化センター・おのみち生涯学習センター・しまなみ交流館

学生数：実技講座 249名、教養講座 134名、合計 383名

教養講座：5講座（下表参照）

実技講座：9講座（次頁表参照）

その他の主な行事

- ・ 実技講座講師会 ：12月 6日(月)
- ・ 運営委員会 ：12月 20日(月)
- ・ 学生祭 ：中止

教養講座

開催日	テーマ・演題	講 師
4/9	認知症が私たち家族にくれたギフト	映像作家・テレビディレクター 信友直子さん
5/14	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	
6/11	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	
7/9	新しい感染症に負けない食生活の工夫 ～免疫力を高める食事と口から食べる大切さ～	(公社)広島県栄養士会理事 医療事業部長 臨床栄養認定管理栄養士 長 久美さん
9/10	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	
10/8	高齢者に関わる身近な法律問題について	弁護士法人広島みらい法律事務所 尾道支所弁護士 佐藤邦男さん
11/12	わたしたちがつくる「幸齢社会おのみち」 ～地域生活課題の予防・発見・解決のしくみ～	広島国際大学 健康科学部 准教授 渡辺晴子さん
12/10	健腸長寿の秘訣	新広島ヤクルト販売株式会社 健康管理士 原田史子さん
3/11	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	

第47期尾道いきいき大学 修了生数

講座名	講師名	修了生			合計	3年間 皆勤者
		1年生	2年生	3年生		
書道かな	友宗 杉径	15	11	4	30	0
書道漢字	國貞 紅鶴	17	12	13	42	3
絵 画	山根 悦	14	9	9	32	2
自 由 花	進來 せい子	6	10	8	24	2
野 菜	金野 省三	8	8	4	20	0
英 会 話	能登セドリック	10	4	9	23	1
俳 句	郷坪 敏幸	17	19	5	41	0
茶 道	武田 宗純	7	3	6	16	2
パソコン	百島 裕司	21	/	/	21	/
実技講座合計		115	76	58	249	10
教養講座		134				
合 計		383				

修了証書授与者数・・・実技講座 3年生58名、パソコン講座 1年生21名 合計 79名

皆勤賞授与者数・・・10名

(2) 敬老会

尾道市と連携して、コロナ禍での地域住民の安全面を考慮し、地区社協や町内会が主体となって地域の実情に応じた可能な取り組みがなされるよう事業を展開した。

開催概要

- ・開催の箇所数

地域名	地区社協単位で開催した地区社協	地区社協単位で記念品配付した地区社協	町内会単位等で記念品配付した町内会（箇所数）
旧尾道		筒湯、山波、新高山、久保、長江、土堂、日比崎、吉和、三成、木頃、木ノ庄西、木ノ庄東、原田、西藤、高須、百島、向東	栗原（17）、栗原北（12）、向東（6）
御調		菅野、上川辺、市、河内、今津野、綾目、大和	
向島		兼吉、江奥、東富浜1・2区、東富浜3区、小歌島、中富浜、西富浜、田尻、川尻、土井、宇立、有道、津部田、岩子島、立花	
因島		土生、田熊、大浜、重井、東生口	三庄（2）、中庄（4）
瀬戸田		御寺、宮原、荻、田高根、垂水、福田、港、瀬戸田、高根、沢、鹿田原、中野、林、名荷	

- ・箇所数において、2箇所以上の地区社協又は町内会が合同で実施した場合は、1箇所としている。この為、地区社協数及び町内会数と箇所数は必ずしも同数とはならない。
- ・招待者年齢・・・75歳以上
- ・委託料・・・運営費として、一人あたり1,500円（地区社協が尾道市と直接契約する）
- ・招待者数・・・26,405人（男性10,580人、女性15,825人）
- ・出席者数・・・0人

令和3年度 敬老会実施状況（招待者人数）

（人）

	地区名	開催日	開催時間	受付時間	会 場	男性	女性	合計	出席者
旧尾道	山波				記念品のみ配布	294	439	733	—
	新高山					135	183	318	—
	久保					292	460	752	—
	筒湯					167	289	456	—
	長江					262	459	721	—
	土堂					175	314	489	—
	日比崎					418	712	1,130	—
	吉和					499	831	1,330	—
	栗原					921	1,414	2,335	—
	栗原北					442	653	1,095	—
	三成					224	347	571	—
	木頃					142	183	325	—
	木ノ庄西					87	116	203	—
	木ノ庄東					66	118	184	—
	原田					100	161	261	—
	西藤					107	146	253	—
	高須					442	667	1,109	—
浦崎	309	440	749	—					
百島	67	125	192	—					
向東	754	1,035	1,789	—					
小計					5,903	9,092	14,995	—	
御調	菅野				記念品のみ配布	32	62	94	—
	上川辺					74	107	181	—
	市					173	246	419	—
	河内					114	198	312	—
	今津野					54	87	141	—
	綾目					50	84	134	—
	大和					32	43	75	—
小計					529	827	1,356	—	
向島	兼吉				記念品のみ配布	130	209	339	—
	江奥					190	272	462	—
	東富浜1・2区					39	51	90	—
	東富浜3区					27	49	76	—
	小歌島					21	32	53	—
	中富浜					94	140	234	—
	西富浜					60	77	137	—
	田尻					59	95	154	—
	川尻					78	128	206	—
	土井					14	26	40	—
	宇立					90	109	199	—
	有道					136	200	336	—
	津部田					119	172	291	—
岩子島	66	101	167	—					
立花	70	100	170	—					
小計					1,193	1,761	2,954	—	
因島	土生				記念品のみ配布	459	732	1,191	—
	田熊					367	498	865	—
	三庄					397	545	942	—
	中庄					431	611	1,042	—
	大浜					76	116	192	—
	重井					288	400	688	—
	東生口					121	162	283	—
小計					2,139	3,064	5,203	—	
瀬戸田	御寺				記念品のみ配布	41	57	98	—
	宮原					43	60	103	—
	荻					41	44	85	—
	田高根					26	40	66	—
	垂水					55	68	123	—
	福田					107	117	224	—
	港					16	26	42	—
	瀬戸田					58	108	166	—
	高根					55	91	146	—
	沢					47	52	99	—
	鹿田原					11	21	32	—
	中野					71	87	158	—
	林					109	117	226	—
名荷	136	193	329	—					
小計					816	1,081	1,897	—	
合計					10,580	15,825	26,405	—	

(人)

	町内会等	開催日	開催時間	受付時間	会 場	男性	女性	合計	出席者	
旧尾道	栗原久山田	下組北	記念品のみ配布			25	48	73	—	
		本通り第2				50	89	139	—	
		本通り第3				50	73	123	—	
		本通り第4				6	7	13	—	
		本通り第5				3	10	13	—	
		則末町内				160	257	417	—	
		則末第4				2	4	6	—	
		向ヶ峠				89	152	241	—	
		向 山				51	77	128	—	
		竹 屋				75	127	202	—	
		川 上				131	175	306	—	
		大 地				25	25	50	—	
		緑ヶ丘				4	13	17	—	
		門 田				136	238	374	—	
		竜王台				22	27	49	—	
	大 迫	8	9	17	—					
	久山田	84	83	167	—					
	小 計					921	1,414	2,335	—	
	栗原北	三美園団地	記念品のみ配布				120	183	303	—
		大迫団地					71	94	165	—
		三成ヶ丘					43	66	109	—
		松岡団地					34	48	82	—
		堂 面					10	27	37	—
		三美園住宅					17	27	44	—
		竹屋東					17	24	41	—
		松 岡					40	67	107	—
		竹屋団地					56	82	138	—
		内 郷					0	1	1	—
		幸が丘					25	28	53	—
		幸ヶ丘					9	6	15	—
	小 計					442	653	1,095	—	
	向東	彦ノ上二	記念品のみ配布				38	63	101	—
		堤					22	42	64	—
寺 内		76					109	185	—	
谷 水		17					23	40	—	
古江奥		20					22	42	—	
向 東		561					796	1,357	—	
小 計					734	1,055	1,789	—		
因島	三庄	三庄	記念品のみ配布			384	526	910	—	
		椋 浦				13	19	32	—	
		小 計				397	545	942	—	
	中庄	中庄				316	412	728	—	
		鏡 浦				12	26	38	—	
		外 浦				37	61	98	—	
		西 浦				66	112	178	—	
小 計					431	611	1,042	—		

7. 障害者福祉事業

障害者が地域で安心して暮らせるよう、ボランティア活動の促進、福祉人材の育成等を行った。

また、当事者団体への支援等を行い、あらゆる機会を通じて障害者の自立と社会参加の促進を図った。

(1) 障害者社会参加促進事業

障害者の自立と社会参加を推進するため、各種講座やボランティアの養成を行った。新型コロナウイルス感染拡大による、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置などが発令された期間は講座を中止したため、例年より実施期間が長くなった。手話奉仕員養成講座は、年度内に所定の回数が実施できず、未修了となった。受講生には引き続き来年度の受講を促している。

① 各種養成講座

ア 手話奉仕員養成講座

地域名	実施予定期間	開催曜日・回数	受講者	修了者
市 域	7月1日～3月24日	毎週木曜日 21回	7名	—

イ 手話講習会 (※講師は、いずれも手話サークル会員とろうあ協会会員)

地域名	実施予定期間	開催曜日・回数	受講者	修了者
旧尾道	7月2日～1月14日	毎週金曜日 17回	5名	3名
御 調	5月8日～10月30日	毎週土曜日 10回	1名	1名
向 島	7月7日～1月12日	毎週水曜日 17回	4名	4名
因 島	6月30日～11月10日	毎週水曜日 10回	3名	3名

ウ 尾道市登録手話通訳者学習会〈専門研修〉

外部講師：広島県ろうあ連盟、尾道ろうあ協会、尾道市健康推進課、高齢者福祉課

受講者：延べ56名 7回

対象者：手話通訳派遣に登録している方

エ 点字講習会 (※講師は、点字サークル会員)

地域名	実施予定期間	開催曜日・回数	受講者	修了者
向 島	7月29日～3月9日	毎週水曜日 10回	1名	1名

オ 朗読録音講習会 (※講師は、朗読ボランティア会員)

地域名	実施予定期間	開催曜日・回数	受講者	修了者
旧尾道	10月12日～3月22日	第2・4火曜日 9回	5名	3名
御 調	7月1日～11月18日	毎月木曜日 5回	1名	1名
向 島	10月22日～1月21日	第2・4金曜日 10回	1名	1名
因 島	7月7日～2月16日	第1・3水曜日 10回	2名	1名

カ 朗読録音講習会〈専門研修〉

講師：武田智子さん

受講者：31名 5回

対象者：旧尾道地域朗読録音ボランティア会員

キ 要約筆記者養成講座

地域名	実施予定期間	開催曜日・回数	受講者	修了者
旧尾道	7月1日～3月24日	第1・3木曜日 10回	2名	2名

② 手話奉仕員、要約筆記者派遣事業

ア 手話奉仕員派遣

地域名	派遣件数	派遣時間	派遣内容	派遣者数	依頼者数
旧尾道	45件	62時間	病院・学校行事等	6名	11名
御調	12件	28時間	病院	5名	2名
向島	5件	8時間	病院	1名	2名
因島	9件	12時間	病院・手続き等	1名	1名
市外	19件	65時間	病院・講座への参加等	6名	3名

イ 手話奉仕員派遣（尾道市手話通訳者設置事業）※令和3年8月から開始

設置日：毎月第3火曜日 13時～16時

設置場所：尾道市役所社会福祉課

通訳者数：3名

ウ 要約筆記者派遣

地域名	派遣件数	派遣時間	派遣内容	派遣者数	依頼者数
旧尾道	2件	3時間	町内行事	3名	2名

③ 障害者スポーツ教室開催事業

地域名	教室等の行事名	参加者
旧尾道	水中ウォーキング	中止
	スポーツ吹き矢	中止
	ボッチャ	33名
因島	水泳教室・着衣泳実技	中止
	ふれあい運動会（ペアレース等9種目）	中止
	グラウンドゴルフ大会	中止
	卓球教室	中止
御調	障害者ふれあい交流会	13名
	障害者ふれあいスポーツ大会	中止
瀬戸田	スポーツ大会	中止

④ 啓発普及事業

第 28 回「障害者週間」尾道福祉大会は、新型コロナウイルス感染拡大防止ため中止となった。啓発活動として、障害者週間の期間中（12 月 3 日～9 日）に、市内の障害者施設利用者が作成された絵画等の作品展を尾道市役所、総合福祉センター、フジグラン尾道の 3 会場で行った。また、福祉大会の代替行事として、パラリンピック出場選手へ取材し、広報おのみちへインタビュー記事が掲載された。

⑤ 生活訓練事業

ア 介助ボランティア養成講座（障害者福祉）

まん延防止措置適用により閉館のため中止

イ チャレンジタイム（7 回） 参加者 24 名

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、今年度も料理教室は中止にし、代替の教室を開催した。知的障害者を対象に介助ボランティアと一緒にレクリエーションや創作活動の教室を通して達成感、充実感を味わい、休日の居場所づくり・仲間づくりの場となった。

ウ は一とらんど（6 回） 参加者 31 名

知的障害者の休日の居場所づくりや仲間づくりのために開催した。障害者同士の交流がもてるように支援した。

エ 簡単料理教室（6 回） 参加者 138 名

向島地域で知的障害者を対象に料理教室を行った。新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を講じながら、地元の野菜を使った料理を作るなど工夫し、調理を重ねていくことで日常生活につながる活動となった。

瀬戸田地域でも料理教室を計画していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止した。

⑥ 障害者 I T 総合推進事業

ア パソコン入門（27 回） 参加者 84 名

障害者を対象に、日常生活の向上及び社会参加の促進を図る目的で開催。参加者のレベルにあわせた講座で、パソコンの操作技術を習得した。

⑦ 芸術文化講座開催事業

ふでふで工房（9 回） 参加者 49 名

月 1 回知的障害者を対象に習字教室を 8 回、絵手紙教室を 1 回開催。知的障害者の休日の居場所づくり、仲間づくりに役立つ教室となった。尾道市役所 1 階市民交流スペースで展示会を行い、日頃の成果を多くの方に見て頂くことで、参加者の意欲向上につながる機会となった。

（2）障害者当事者団体への支援・協力

ア 障害者団体等に協力した。

イ 地域で活動する障害者関係団体のスポーツ大会、研修会等を支援した。

ウ 尾道市身体障害者福祉連合会及び福祉協会の各活動の支援を行った。

8. 児童福祉事業

(1) 子育て支援ネットワークづくり

ブックスタートから始まる子育て支援を推進し、おやこタイムやおやこ広場、子育てサロンの充実や子育て支援ネットワークへの協力を行った。

① ブックスタート事業（4カ月児健診の乳児へ絵本の読み聞かせとプレゼント）

社協、図書館、健康推進課、読み語りボランティアなどが協力して実施し、672人の赤ちゃんへ絵本等のプレゼントを行った。

新型コロナウイルス感染拡大による緊急事態宣言、まん延防止等重点措置などが発令された5～9月、1～2月は絵本の読み聞かせを中止し、絵本のプレゼントのみ行った。また、昨年度に引き続き、図書館職員の参加や、保育ボランティアによる赤ちゃんの抱っこは中止した。

地域名	旧尾道・向島	御 調	因 島	瀬戸田	
実施回数	年間 35 回	年間 6 回	年間 6 回	年間 6 回	
場 所	総合福祉センター	御調保健福祉センター	因島総合福祉保健センター	瀬戸田福祉保健センター	
対象児数	562 名	25 名	61 名	24 名	
役割分担	健 診	健康推進課	御調保健福祉センター	健康推進課	健康推進課
	受付等	中止	民生児童委員	民生児童委員	民生児童委員
	絵本の紹介	中止	中止	中止	中止
	読み語り	「なのはな」	「おはなしラッコ」	「さざなみ会」	「ひよこちゃん」
	赤ちゃんの抱っこ	中止	中止	中止	中止

② ブックスタート・プラス事業

1歳6カ月児健診の幼児 707 人に絵本をプレゼントした。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、絵本の読み聞かせは中止したが、因島会場は感染防止対策を講じ、12月から読み聞かせを再開した。

地域名	旧尾道・向島	御 調	因 島	瀬戸田	
実施回数	年間 36 回	年間 5 回	年間 6 回	年間 5 回	
場 所	総合福祉センター	御調保健福祉センター	因島総合福祉保健センター	瀬戸田福祉保健センター	
対象児数	583 名	24 名	73 名	27 名	
役割分担	健 診	健康推進課	御調保健福祉センター	健康推進課	健康推進課
	絵本の紹介	中止	中止	中止	中止
	読み語り	中止	中止	さざなみ会	中止

③ ブック・ステップアップ事業

3歳児健診の幼児843人に絵本をプレゼントした。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、絵本の読み聞かせは中止したが、因島会場は感染防止対策を講じ、3月から読み聞かせを再開した。

地域名	旧尾道・向島	御調	因島	瀬戸田	
実施回数	年間42回	年間6回	年間6回	年間6回	
場所	総合福祉センター	御調保健福祉センター	因島総合福祉保健センター	瀬戸田福祉保健センター	
対象児数	695名	27名	89名	32名	
役割分担	健診	健康推進課	御調保健福祉センター	健康推進課	健康推進課
	絵本の紹介	中止	中止	中止	中止
	読み語り	中止	中止	さざなみ会	中止

④ ブックスタート関連取組み

ア 会議

11月19日（金）ブックスタート絵本選定会議の開催。

イ 研修会

11月25日（木）ブックスタート全国研修会2021（オンライン）

ウ 講演会

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。

【成果】

- ・ 事業のアンケートにおいて、ブックスタート事業を受けた方は、家庭で絵本を読む機会が増え、親子で向き合う時間が増えていると感じる割合が高い。また、図書館を利用されるきっかけになっている。
- ・ 読み聞かせを中止していることを残念に思う保護者が多く、この事業が定着していることが伺えた。

【課題】

- ・ ブックスタートは読み聞かせを再開しているが、保育ボランティア等による抱っこや一部民生委員児童委員の参加を中止している。また、因島以外はブックスタート・プラス、ブック・ステップアップの読み聞かせは再開できていない。
- ・ 乳幼児健診の時間を短縮して行っている中、読み聞かせの再開や一部ボランティアの参加が見通せない状態である。

⑤ 子育てサロンの推進事業

新型コロナウイルス感染拡大による、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置などが発令された期間はサロン活動を中止した。高須子育てサロン「ひよこクラブ」が昨年度で活動を中止したため、今年度は15カ所となった。内1カ所は活動を中止している。再開したサロンは、遵守項目に沿って、感染防止対策を講じて活動を行った。

子育てサロン連絡協議会の総会は、緊急事態宣言が発令されていたため、書面審議とした。役員会は5回開催し、コロナ禍での活動状況等の情報交換を行った。

[子育てサロン一覧]

サロン名	場 所	回 数	参加人数
高須子育てサロン「らっこクラブ」	東部公民館	月1回	51
山波子育てサロン「クローバー」	山波公民館	月1回	69
土堂子育てサロン「たいよう」	土堂公民館	月1回	107
日比崎子育てサロン「ひびきっず」	日比崎公民館	月4回	127
吉和子育てサークル「ドレミサークル」	吉和公民館	月1回	23
栗原子育てサークル「お日さまクラブ」	栗原公民館	月1回	16
栗原子育てサロン「ちえりいクラブ」	いきいきサロン栗原	中 止	0
栗原北子育てサロン「日だまりカフェ」	栗原北公民館	月1回	33
三成子育てサロン「にこにこ」	才原なごみ館	月1回	32
西藤子育てサークル「ぞうさんクラブ」	福田ふれあい館	月1回	122
浦崎子育てサークル「ほっとにこにこ」	浦崎公民館・浦崎認定こども園	月2回	178
向東子育てサロン「ぴよぴよ」	向東公民館	月1回	210
向島子育てサロン「すくすく」	愛あいセンター	月1回	358
因北子育てサロン「うきうき」	中庄公民館	月2回	171
瀬戸田子育てサロン「バンビ」	瀬戸田福祉保健センター	月4回	158

⑥ おやこタイム、おやこ広場等子育て支援事業（母子・父子福祉センター事業参照）

乳幼児の親子の子育て支援を行った。

⑦ 関係機関との連携

ア 医師会少子化対策等検討委員会への参加

イ 「尾道子育て支援ネットワーク」の会議へ月1回の参加、活動への協力

ウ Let's 食育！御調グループのイベント（1回）、協働会議（年3回）への参加

【成果】

- ・ コロナ禍で行き場のない親子が再開を心待ちにしており、子育てサロンの必要性を感じたという声が上がった。

【課題】

- ・ 新型コロナウイルス感染症の影響で参加者が大幅に減少しており、活動継続が困難となってきた子育てサロンが数カ所ある。

(2) 子どもの居場所づくり

① こどもサポート事業

近年、社会構造や家族形態、働き方の変化などにより、「たくさんの経験をわが子にさせたいが、思いが叶わない」「家庭の事情で子どもと関われる時間が十分でない」「子どもの成長や家族のことで、周囲に相談できる人がいない」といった悩みをもつ親が増えている。

本事業は、そのような社会課題を受け、平成29年7月に旧尾道市域でスタートした（尾道拠点）。同31年2月には、因島にも市内2拠点目が開設。平日の放課後から夜間までを開設時間とし、主に小学校低学年を対象に、学習支援や夕食提供をはじめとした生活習慣形成の支援、体験機会の提供などを行っている。

令和3年度は、尾道拠点が8世帯11人、因島拠点が6世帯10人の登録があり、子どもたち一人ひとりに寄り添ったサポートを実施した。日々の生活支援に加え、野外活動や企業見学など、年間を通じて様々な活動を実施し、児童の成長を後押しした。

尾道拠点は同年度から、公益財団法人日本財団（東京都）の助成による運営から、尾道市の委託事業に変更となった。これを機に、地元の企業や美術館などに体験活動の受け入れを依頼し、より地域に根差した事業となるように心掛けた。

令和4年度からは、因島拠点も尾道市からの受託事業となる。関係各所との連携をさらに強め、子どもたちによりよいサポートを行っていきたい。

② 子どもの居場所づくりネットワーク事業

子どもたちが健やかに育つ地域環境づくりのため、子ども食堂や学習支援等の居場所づくりに取り組む団体の連携体制の整備、活動支援を行った。

ア 意見交換会、研修会の開催

新型コロナウイルスの影響で6.8.2月はオンラインにより、4.10.12月は対面により意見交換会を開催し情報や課題の共有を行った。8月には研修として岡山県学童保育連絡協議会会長の糸山智栄さんにオンラインでの価値観のお話をとおして、コロナ禍における居場所づくりやフードバンクについて意見交換ができた。

会員間の横のつながりもでき、食品の提供情報等、活発な情報交換につながった。

イ フードドライブの実施

今年度は4回の期間を設定したフードドライブ事業を行い、延べ108件の食品寄付を受けたほか、期間外にも延べ53件の寄付をいただいた。これらに加え食品製造、社会奉仕、農業関係の団体から食品、食材の寄付を受け会員に配分することができた。また、小学校から学習の一環として提供を受けた食品の配分のお手伝いの申し出をいただき、事業の裾野の広がりにつながった。

ウ 相談支援

子ども食堂等の開設を検討している個人・団体への相談対応を行い、4件の相談のうち3件が本ネットワークへ参加いただけた。

9. 母子・父子福祉事業

(1) ひとり親家庭の就労支援講座（母子・父子福祉センター事業参照）

医療事務講座、調剤薬局事務講座、簿記入門講座、日商簿記3級検定対策講座、パソコン教室を実施し、ひとり親家庭及び寡婦の方々を対象にした就労支援講座を行った。新型コロナウイルスの感染状況に影響されつつも、例年通りの講座を開催することができた。また託児の場を設け、安心して学習に集中できる環境を整えた。

10. 尾道市総合福祉センター等の管理

(1) 尾道市総合福祉センターの管理

総合福祉センター利用状況（令和3年4月1日～令和4年3月31日）

階	室名等		市社協	福祉センター	無料登録団体	市	有料	合計	件数	総合計
1階	作業室	午前	0	0	0	0	0	0	0	0
		午後	0	0	0	0	0	0		
		夜間	0	0	0	0	0	0		
	会議室	午前	0	0	0	0	0	0	0	0
		午後	0	0	0	0	0	0		
		夜間	0	0	0	0	0	0		
	小会議室	午前	250	189	499	1,655	50	2,643	528	4,999
		午後	477	29	229	1,176	18	1,929		
		夜間	30	87	205	46	59	427		
	和室	午前	156	2,317	782	343	0	3,598	324	5,579
		午後	406	298	508	498	0	1,710		
		夜間	60	87	124	0	0	271		
	ボランティア室	午前	0	0	534	0	0	534	253	1,017
		午後	0	0	483	0	0	483		
		夜間	0	0	0	0	0	0		
機能回復訓練室	午前	16	892	0	0	0	908	351	1,313	
	午後	5	370	15	13	0	403			
	夜間	0	0	2	0	0	2			
2階	会議室	午前	1,861	1,114	429	430	60	3,894	467	9,598
		午後	814	1,479	697	1,908	67	4,965		
		夜間	114	0	250	367	8	739		
	小会議室	午前	259	78	259	355	35	986	471	2,588
		午後	249	166	338	680	5	1,438		
		夜間	2	0	116	24	22	164		
	教養娯楽室	午前	1,565	0	0	0	0	1,565	438	3,417
		午後	1,852	0	0	0	0	1,852		
		夜間	0	0	0	0	0	0		
	創作室	午前	83	33	626	85	0	827	285	1,558
		午後	159	93	322	147	0	721		
		夜間	0	0	0	10	0	10		
	技能習得室	午前	0	0	0	0	0	0	0	0
		午後	0	0	0	0	0	0		
		夜間	0	0	0	0	0	0		

	児童センター	午前	0	7,256	0	0	0	7,256	181	7,291
		午後	0	35	0	0	0	35		
3階	保育室	午前	270	1,156	0	2,249	0	3,675	299	6,724
		午後	393	561	0	2,095	0	3,049		
		夜間	0	0	0	0	0	0		
	調理実習室	午前	87	0	0	58	0	145	19	386
		午後	199	0	0	42	0	241		
	集会会議室	午前	744	451	120	1,693	0	3,008	486	6,733
		午後	280	162	391	2,615	0	3,448		
		夜間	0	0	243	13	21	277		
	健康相談室	午前	0	0	6	2,178	0	2,184	409	4,706
		午後	0	0	6	2,514	0	2,520		
		夜間	0	0	0	2	0	2		
	栄養指導室	午前	72	0	95	2,048	9	2,224	340	4,732
		午後	83	0	44	2,245	0	2,372		
		夜間	14	0	120	2	0	136		
	保健指導室	午前	0	0	7	2,090	0	2,097	399	4,637
午後		0	0	7	2,533	0	2,540			
4階	集団指導室	午前	0	0	0	0	0	0	0	0
		午後	0	0	0	0	0	0		
		夜間	0	0	0	0	0	0		
	会議室	午前	0	0	0	0	0	0	0	0
		午後	0	0	0	0	0	0		
		夜間	0	0	0	0	0	0		
	大会議室	午前	0	0	0	0	0	0	0	0
		午後	0	0	0	0	0	0		
		夜間	0	0	0	0	0	0		
共有	全館	午前	0	0	0	0	0	0	0	0
		午後	0	0	0	0	0	0		
	1Fロビー	午前	0	0	0	0	0	0	0	0
		午後	0	0	0	0	0	0		
合計			10,500	16,853	7,457	30,114	354	65,278	5,250	65,278

※毎日、福祉センター館内の消毒作業を行い、新型コロナウイルスの感染拡大防止に努めた。

(2) 向島福祉支援センター（愛あいセンター）の管理

愛あいセンター使用状況（令和3年4月1日～令和4年3月31日）

室名等	利用件数（件）	利用人数（人）
第1会議室	49	179
第2会議室	155	2,860
第3会議室	86	600
ロビー	31	263
ひまわり	24	374
コチョウラン	21	59
コスモス	23	150
カーネーション	21	117
はなみずき	24	104
アーモンド	40	197
相談室	111	280
合計	585	5,183

(3) 因島総合福祉保健センターの管理

因島総合福祉保健センター使用状況（令和3年4月1日～令和4年3月31日）

室名	利用件数（件）	利用人数（人）
調理室・和室	62	1,311
プレイルーム	59	553
相談室	110	744
会議室	150	2,041
合計	381	4,649

11. 尾道市総合福祉センター事業

(1) 障害者福祉センター事業

市内在住の障害者手帳（身体、療育、精神）を持つ人を対象に、障害者福祉センター事業として各種の教室、講座を開催した。

今年度は、福祉センターが新型コロナウイルスのワクチンの接種会場となり、1階作業室・3階調理室・4階フロアが使用できなくなり、教室の開催場所の確保が難しかった。毎月開催していた「あったかタイム」「うたの花束」「つどい」は回数を減らして予定を組んだ。

年度当初は、通常通り開催できたが、新型コロナウイルスの感染者数の増加に伴って、福祉センターが閉館となり、中止を余儀なくされた。年間を通して、この状況が繰り返された。

閉館中には、利用者に「困りごと相談カード」を送付して、気軽に電話などで相談してもらうように促した。また、ハーモニカ教室の利用者には楽譜を同封して自宅で練習するように提案すると、喜ばれた。教室が再開されると、久しぶりの再会を喜び、お互いを気遣う様子が多く見られた。

平日の教室は、主として身体・精神の障害者への外出支援と社会参加の促進、リハビリに役立つ講座や場の提供を、土・日曜日の教室は、知的障害者の安心安全な居場所と、仲間づくりに役立つ教室を開催した。安定して教室等に参加する障害者同士の交流が深まり、身体のリハビリだけでなく生活に張りが出て、他行事への参加意欲にも繋がっている様子が伺えた。

特にスポーツ教室の「ボッチャ」ではパラリンピックの影響もあって、参加者が定着し上達した。敵味方関係なく、良いショットが決まると拍手したり、どこに投げたら良いか考えて意見を出し合い、体を動かしながら、頭の体操にもなって爽快感を楽しんだ。参加を重ねるたびに、参加者同士が顔見知りになり、交流を深める姿が見られた。

知的障害者のための習字教室「ふでふで工房」では今年度も市役所での作品展を開催し、たくさんの方に1年間の成果を見てもらい達成感を味わった。

引き続き、障害者に寄り添い、安心・安全に教室を開催し、日頃から気軽に相談などができる関係を築いていきたい。

障害者福祉センター事業の内容

基本事業	事業名	開催回数	参加人数
機能訓練	日常生活動作、歩行訓練	148回	(障害者) 281名
	あったかタイム	2回	10名
IT総合推進事業	パソコン入門	27回	84名
芸術文化講座	ふでふで工房（知的障害者のための習字クラブ）	9回	49名
本人支援事業	チャレンジタイム	7回	24名
	はーとらんど	6回	31名
社会参加活動	うたの花束	4回	19名
	つどい	2回	10名

スポーツを楽しもう	かるやか水中ウォーク 中止	0回	0名
	スポーツ吹き矢 中止	0回	0名
	ボッチャ	4回	33名
更生相談	福祉生活相談	3回	3名
創作・趣味活動	楽しむハーモニカ	6回	34名
	交流会「まんまるの会」	1回	24名
	介助ボランティア養成講座 中止	0回	0名
夏休み教室	中止	0回	0名
同好会	友遊パソコン	29回	174名
	栗クラブパソコン	15回	123名
	習字同好会	13回	60名

(2) 老人福祉センター事業

市内在住の60歳以上の方を対象に体力の維持・増進、生きがいづくりや仲間づくり、出かけるきっかけづくりを目的に各種教室や行事を企画・実施した。

今年度は感染拡大の影響で3度教室休止期間があった。コロナ禍1年目は活動自粛で運動不足や人と逢わないことで活動意欲が低下し、健康状態が悪化するなど課題が見つかった。このことを受け、フレイル予防の運動の提案や認知症予防の効果がある脳トレ問題を盛り込んだ冊子『おうちで』を発行し、教室休止中の健康維持や介護予防・認知症予防の啓発を行った。

コロナ禍2年目には、福祉センターがワクチン接種会場となったことで、使用できる部屋が限られた。利用者の要望に応え、時間を短縮し、開催日数や回数を増やして仲間づくりや出かける場を提供し、健康の維持向上を目指した。

男性の外出支援として＜男のストレッチ＞を行った。和気あいあいと集って健康づくりに勤しみ、顔見知りが増えると意欲的に参加する様子が見られた。＜囲碁・将棋クラブ＞は、部屋の確保が困難なこともあり水曜日のみの開催となったが、共通の娯楽を楽しむ大切な居場所になっていた。

音楽療法＜うたを楽しもう＞では、歌を唄ったり聞いたりすることでリラックス効果を高め、不安やストレスを軽減させた。童謡、唱歌、懐かしの歌謡曲など幅広いジャンルの音楽を取り入れることで気持ちが豊かになり、若かったころを思い出す回想法にも繋げた。

創作活動では＜干支の切り絵＞＜着物帯の壁飾り＞など魅力ある内容で行った。指先を使うことで脳を活性化させるとともに、新たなことへの挑戦や生きがい・達成感が味わえたと喜ばれた。

高齢者と子ども、親が触れ合う三世代交流＜VS夏&盆踊り＞では、午前と午後の部に分け、各部屋に分かれてゲームや踊りを楽しんだ。地域のイベント等がことごとく中止となる中、親子が触れ合い、良い思い出づくりになったと好評だった。次年度も引き続き世代を超えた交流が持てる内容を企画していく。

高齢者は感染リスクが高いとの情報があり外出を控える方もいたが、多くの方が健康維持や出かける場を求めて各種教室を積極的に活用し、仲間と体操に励んだり、歌を唄ったりして楽しい時間を共有し合った。他者とつながりを持つことに生きがいを見出し、友だちの輪

を広げる様子が伺えた。また、開催曜日を決めて教室を行うことで曜日感覚が身に付き、生活リズムの乱れも防いだ。

新たな日常においても、高齢者が健康な状態を維持できるよう介護予防・フレイル予防(運動・栄養と口腔・社会参加)、遅発性障害の予防など健康寿命を延伸する取り組みを引き続き実施していく。

老人福祉センター事業の内容

基本事業	事業名	開催回数	参加人数
機能回復訓練事業	機能回復訓練	148回	1,098名
	お気楽クラブ	1回	9名
一人暮らし高齢者に対する事業	むつみ会	5回	98名
男性の自立支援事業	囲碁・将棋クラブ	21回	999名
	男のストレッチ	12回	328名
音楽療法	うたを楽しもう	26回	664名
啓発事業	いきいき・きらきら演奏会	1回	37名
	健康年齢を上げる呼吸法と体操	3回	92名
	コツコツ体操	1回	26名
	脳もいきいき	12回	413名
	のびのび体操	3回	73名
創作・趣味活動	干支の切り絵(寅)	1回	29名
	着物帯で壁飾り	1回	8名
心と体の健康づくり事業	うたごえ体操	24回	735名
	ここからケア	8回	130名
	ぽかぽか体操	12回	387名
	じんわりストレッチ	12回	303名
三世代交流	V S 夏&盆踊り	2回	138名
同好会	絵手紙同好会	7回	96名
	クッキング同好会	0回	0名
	男の手料理同好会(火・水コース)	0回	0名

(3) 児童センター事業

今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止対策に伴う臨時休館が3回あった。お家時間を充実させるために、発達段階に応じた手作り工作キットを乳幼児健診時に配布した。昨年から1日の開館時間を3回に区切り、利用制限の措置も定着してきた。換気や玩具の消毒、検温、手指消毒等を徹底し、安心安全に遊べるように配慮した。

主に小・中学生を対象とした健康・体力増進・情緒育成・創作意欲を育てる目的の教室や行事を開催した。日常的な遊びの中で子どもたちは、友人や地域の方達とカプラ・ボードゲーム・すごろく・トランプなどのアナログな遊びで時間を共有した。一輪車や卓球、竹馬などの体を使った遊び、コマ回し・けん玉などの昔遊びを通して交流が生まれていた。

また、四季折々の工作・歳時記体験・茶道なども行い、日本の伝統文化に親しんだ。その

中でも華道は、定例の教室に加え、発表の場を設け、多くの方に観てもらい、褒めてもらう事で自信や達成感に繋がった。そして、平日の午前中の時間を利用した子育て支援事業「あーと・らぼ」では、子どもの体験だけではなく、親もリフレッシュやストレス発散できる活動を取り入れ、親子で絆を深める支援を行った。

保護者の子育ての不安や日常生活に寄り添うことで、安心して子育てができる場所、信頼できる関係性を結んだ。子どもの遊びの拠点・居場所となり、子どもの活動の様子から必要に応じた機能や役割の充実と関係機関との連携を密にし、適切に対応することができた。

今後も世代、年齢、立場を超え、複合施設の利点を生かし、地域ボランティアの方々と連携を図りながら、コロナ禍でも実施できることに一つ一つ取り組む。「あそび」を通して体験・発見・喜び・悔しさなどを体験し、家族や友だちと人間関係を築き、ルールやマナーなどの社会性を育てて逞しく生きていく学ぶ場を提供し、子どもたちの健全育成を継続していく。

児童センター事業の内容

基本事業	事業名	開催回数	参加人数
子育て支援事業	えほん・よみかたり	12回	125名
	あーと・らぼ	18回	193名
	親子あそび(ぬりえ・ままごと・知育玩具など)	295回	4,806名
児童・生徒の健康・体力に関する事	卓球	125回	1,691名
	一輪車	93回	417名
	竹馬	84回	312名
	カプラ	85回	411名
	カロム	38回	194名
	けん玉教室・けん玉	90回	448名
	ボードゲーム(オセロ・人生ゲーム)	168回	2,107名
	コマ	82回	397名
	将棋	22回	54名
	ねころびシアター	20回	154名
他学年・他校との交流	子どもいけばな教室	10回	365名
自ら考え創作意欲を育てる	ちよきちよきタイム	54回	388名
	カプラであそぼう～！！	0回	0名
	こども歳時記体験(抹茶体験)	5回	52名
	夏休みチャレンジ教室	6回	60名
	世界のボードゲームであそぼ～！	6回	164名
	デジタル講座	1回	14名
三世代交流	新年おたのしみ会	1回	47名
健全な情緒育成に関する事	クリスマスコンサート	1回	63名
	けん玉大会	0回	0名
	ドキドキお化け屋敷	4回	75名

年間登録者数

小学校	中学校	高校生	乳幼児	合計
324名 (276)	90名 (73)	22名 (11)	866名 (494)	1,302名 (854)

* () 内は前年度

① 防犯・不審者対策について

子どもたちへ不審者対処法を指導した。他の職員に定期的に見回りしてもらった。
また、毎月1回、災害や火災の想定で避難訓練を実施した。

② 安全対策について

点検チェック表を作成し、蛍光灯、おもちゃ、本棚、カーテン、机、イス、ベッド、遊具などを定期的に点検した。

③ 相談や要配慮児童への対応

相談に応じるときは、常に子ども・子育て家庭の置かれている状況や緊急性・重要度に注意し、関係機関との連携を密にした。また、要配慮児童については土・日曜日、長期休暇の様子を注視し、職員間での対応の仕方、言葉掛けなどに留意したほか、学校や地域、各関係機関と連携を図った。

(4) 母子・父子福祉センター事業

ひとり親（母子・父子）家庭及び寡婦の方々、乳幼児の親子を対象に、就労支援事業や子育て支援講座を通して福祉の向上に努めた。就労支援講座として、医療事務講座・調剤薬局事務講座・簿記入門講座・日商簿記3級検定対策講座・パソコン教室を開催した。緊急事態宣言発令中は数回休止したこともあったが、ほぼ中断することなく開催した。資格取得の試験日が迫っていた講座もあり、受講者は感染対策に留意して学習に励んでいた。前年受講者が多かったパソコン教室は、今年度は開講できる人数に達しなかったため、個別に講師が運営する教室に通ってもらった。個別対応にすることで中止にすることなく、スキルアップの支援に繋げることができた。また、医療事務講座・調剤薬局事務講座の受講生のほとんどが資格を取得し、実際に就労された方も数名いた。前年度は自粛していた託児を再開し、職員やボランティアで感染対策を講じて対応した。安心して預けられ、勉強に集中できると母達には好評だった。

子育て支援事業としては、おやこタイム・おやこ広場を開催し、乳幼児の親子の子育て支援に力を入れた。4カ月健診後のおやこタイムでは、同じ月齢の子を持つ母親達が集まり、子育ての楽しさや悩みを共有している。緊急事態宣言やまん延防止等重点措置期間は講座を中断し、解除になったら再開して続きを行った。公的な施設は一斉に閉まってしまうのでどこにも出掛けられず、子どもとずっと家にこもっていたと話す母が多かった。こういうときだからこそ同じ月齢の子や母達と出会える場があることを喜ばれていた。おやこ広場ではゆったりと遊びながら、親子の時間を過ごしている。毎週続けて来る方が多く、安心して楽しく遊べる場所になっている。ちょうど同じくらいの月齢の子との交流を求めている方が多く、親子ともいい息抜きの場になっている。

ひとり親家庭の親子交流会は、今年度は5回の開催となった。クッキングやバーベキューなど人気のある内容のものはできなかったため参加者は少なかったが、その分しっかり話をする事ができた。手芸や工作、寄せ植えなど親子でじっくり活動に取り組む時間になった。

来年度はコロナの感染拡大状況を見ながら、野外での活動も検討していく。

また、今年度は児童センター・b & g尾道との合同企画として「ドキドキお化け屋敷」を開催した。コロナ禍で大きなイベントの開催が難しい中で、たくさんの親子に参加していた

だき、楽しい思い出になったと大変喜ばれた。日頃業務の違う職員同士の連携も図れ、有意義な企画になった。

母子・父子福祉センター事業の内容

基本事業	事業名	開催回数	参加人数
就労支援事業	パソコン教室（入門編）	8回	16名
	医療事務講座	21回	118名
	調剤薬局事務講座	8回	75名
	簿記入門講座	10回	131名
	日商簿記3級検定対策講座	8回	40名
	託児	39回	64名
子育て支援	おやこタイム	37回	913名
	おやこ広場	28回	418名
	ひとり親家庭の親子交流会	5回	27名
	特別企画「ドキドキお化け屋敷」	1回	75名

(5) 福祉センター事業「よりあい広場」

障害者、高齢者の別なく尾道市在住の方ならだれでも参加できる「よりあい広場」を開催した。緊急事態宣言やまん延防止措置の適用などで、当初予定していた日程では開催できない場合もあったが、感染状況が落ち着いた頃に延期して開催した。また、新型コロナウイルスワクチン予防接種会場となっている関係で、広い会場が確保できず、会議室や和室での開催となった。人数制限をし、感染対策を取りながらの開催になったが、演奏や踊りなど、近くでゆっくり楽しんでいただけた。新型コロナの感染拡大状況に配慮しながら、次年度も市民の方に喜んでいただける講座を企画していく。

事業の内容

事業名	開催日	参加者
しの笛の音色を楽しもう	7月3日（土）	30名
癒しのハワイアン・フラ	7月30日（金）	54名
サウンド・ミュージア演奏会	3月24日（木）	30名
合計		114名

12. 共同募金事業

各地区・自治会からの戸別募金をはじめ、尾道駅や店舗前での街頭募金、法人や学校・団体からの募金及び募金箱の設置などの募金活動を実施した。コロナ禍で活動が制限される中ではあったが、様々な工夫をしながら活動を展開し、募金実績額は前年度より増加した。

令和2年度募金実績による令和3年度配分金は、各地区社協やボランティア団体等へ還元し、地域福祉活動に役立てられた。

ア 監査・実施委員会会議の開催

- ・ 監査 令和3年5月28日（金）
- ・ 審査委員会会議 令和3年8月23日（月）

- ・ 運営委員会会議 令和3年9月28日（火）書面決議
- ・ 目標額と実績 令和3年度 [参考] 令和2年度

目標額	21,500,000円	目標額	21,500,000円
実績額	18,202,195円	実績額	17,856,239円

イ 募金実績の内訳

(単位：円)

地域名	旧尾道	御調	向島	因島	瀬戸田	合計
戸別	6,872,090	594,000	1,395,900	2,168,100	1,057,800	12,087,890
街頭	344,714	65,412	57,014	663,636	40,097	1,170,873
法人	1,381,000	305,000	539,000	147,000	309,000	2,681,000
学校	206,576	24,755	21,474	16,497	19,385	288,687
職域	1,011,615	114,308	165,948	277,291	404,583	1,973,745
合計	9,815,995	1,103,475	2,179,336	3,272,524	1,830,865	18,202,195

ウ 令和3年度配分実績（令和2年度の募金を、令和3年度の事業費として活用）

- 1 地区社協に配分（63地区社協） 5,017,000円
 - （1）募金実績助成金（3,449,500円）
 - （2）自主事業助成金（1,567,500円）
- 2 ボランティア・福祉団体等に配分 1,511,000円
 - （1）ボランティア・福祉団体助成金
 - 手話・朗読・点字・介助・読み語りボランティア団体等 30団体
 - （2）当事者団体助成金
 - 尾道市老人クラブ連合会、尾道市身体障害者福祉連合会等 11団体
 - （3）地域福祉団体助成金
 - 尾道市連合民生委員児童委員協議会、因島地区区長連合会 2団体
- 3 市社協事業費に配分 2,885,239円
 - 福祉総合相談、福祉まつり、福祉教育、ボランティア養成、子育て支援、ふれあいサロンの6事業
- 4 広島県共同募金会より県内の福祉活動に配分 8,443,000円

13. 災害支援事業

(1) 災害ボランティアセンター

平成30年7月豪雨災害からの教訓を活かし、平時からの体制づくりとして災害ボランティア事前登録者の確保を進め、令和4年3月31日時点で157名の登録がなされている。

また、尾道市被災者生活サポートボラネット推進マニュアルの見直しを行った。

14. 地域包括支援センター事業

昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、地域での活動制限や外出自粛により事業が停滞する中、職員10人体制で、介護予防・日常生活支援総合事業における介護予防ケアマネジメント、包括的支援事業（総合相談支援業務、権利擁護業務、包括的・継続的ケアマネジメント支援業務）、認知症施策の推進、及び指定介護予防支援事業を実施した。

特に、保健師、社会福祉士、主任介護支援専門員の3職種が、それぞれの活動で関わる関係機関との連携や、相談対応などの情報共有を日常的に行い、チームで対応できるように努め、認知症高齢者や高齢者虐待、多問題家族、身寄りのない高齢者等の困難事例に対応した。

(1) 総合相談・支援業務

相談内容													
	認知症	高齢者虐待	権利擁護	困難事例	入退院時連携	入院・入所支援	介護保険	総合事業	一般介護予防	精神	社会資源等	その他	計
実件数	35	7	9	71	60	15	432	61	29	19	16	29	783
延件数	136	25	38	238	233	51	1,071	118	56	71	33	75	2,145

(2) 介護プラン作成件数（延べ） 4,607件

介護予防		総合事業	
直営作成（延）	1,692件	直営作成（延）	1,556件
委託作成（延）	793件	委託作成（延）	566件
合計	2,485件	合計	2,122件

(3) 介護予防普及啓発事業

月 日	事 業	参加者数
4月7日（水）	平原はつらつサロン「脳トレ体操」 講師：尾道市西部地域包括支援センター 兼長亜実 千川千賀	16名
4月8日（木）	川上さくらんぼ会「ころばぬ先のフレイル対策」「自宅で健康を維持するためのポイント」「予防体操」 講師：尾道市西部地域包括支援センター 兼長亜実 千川千賀	7名

4月13日(火)	いきいきサロンひまわり「ACP・エンディングノートについて」「特殊詐欺について」「予防体操」 講師：尾道市西部地域包括支援センター 兼長亜実 千川千賀	12名
6月1日(火)	第3区民生委員・児童委員定例会「熱中症予防について」 講師：尾道市西部地域包括支援センター 野田知子 楠千賀子	26名
6月22日(火)	福寿会「生活支援コーディネーターについて」「熱中症予防について」「オーラルフレイルについて」 講師：尾道市社会福祉協議会 松浦浩子 西部圏域生活支援コーディネーター 藤原孝太郎 尾道市西部地域包括支援センター 兼長亜実 千川千賀	15名
7月1日(木)	第9区民生委員・児童委員定例会「熱中症予防について」 講師：尾道市西部地域包括支援センター 兼長亜実 住田八重	16名
7月5日(月)	第10区民生委員・児童委員定例会「熱中症予防について」 講師：尾道市西部地域包括支援センター 赤瀬真由美 土橋健太郎	14名
7月6日(火)	老人センター男のストレッチ「熱中症予防について」 講師：尾道市西部地域包括支援センター 兼長亜実 千川千賀	28名
7月7日(水)	第4区民生委員・児童委員定例会「熱中症予防について」 講師：尾道市西部地域包括支援センター 住田八重 小林雅子	20名
7月9日(金)	吉浦さくらクラブ「熱中症・感染症予防について」「自宅で健康を維持するためのポイント」「体と頭の体操」 講師：尾道市西部地域包括支援センター 兼長亜実 千川千賀	13名
7月14日(水)	老人センターのびのび体操「熱中症予防について」 講師：尾道市西部地域包括支援センター 兼長亜実 千川千賀	19名
7月14日(水)	オレンジカフェ・友「熱中症予防について」 講師：尾道市西部地域包括支援センター 千川千賀	16名
7月20日(火)	福寿会「認知症を知ろう」「体と頭の体操」 講師：尾道市西部地域包括支援センター 住田八重 吉國陽子 千川千賀	16名
7月21日(水)	健志塾「熱中症予防について」 講師：尾道市西部地域包括支援センター 兼長亜実	24名
7月29日(木)	シルバーリハビリ指導士会西部地区「熱中症予防について」 講師：尾道市西部地域包括支援センター 兼長亜実 千川千賀	18名
10月19日(火)	福寿会「自分の人生を考えよう」「いつまでも暮らしたい このまちで あなたの笑顔が宝物」 講師：尾道市社会福祉協議会 松浦浩子 西部圏域生活支援コーディネーター 石井延明 尾道市西部地域包括支援センター 兼長亜実 赤瀬真由美	17名

10月28日(木)	シルバーリハビリ西部地区定例会 「免疫力を維持して健康に過ごしましょう」 講師：尾道市西部地域包括支援センター 兼長亜実 千川千賀	17名
10月29日(金)	老人センターうたごえ体操 「自宅で健康を維持するためのポイント」 講師：尾道市西部地域包括支援センター 兼長亜実	31名
11月4日(木)	シルバーリハビリ吉浦教室「インフルエンザ予防について」 講師：尾道市西部地域包括支援センター 兼長亜実 千川千賀	15名
11月7日(日)	日比崎地区老人クラブ連合会「フレイル予防について」「社協事業について」「タオル体操」 講師：尾道市地域包括支援センター 小郷園子さん 尾道市社会福祉協議会 松浦浩子 西部圏域生活支援コーディネーター 石井延明 尾道市西部地域包括支援センター 兼長亜実 千川千賀	29名
11月17日(水)	健志塾「消費者被害について」 講師：尾道市西部地域包括支援センター 兼長亜実 赤瀬真由美	20名
11月17日(水)	門田ほほえみサロン「フレイル予防について」 講師：尾道市西部地域包括支援センター 野田知子 千川千賀	26名
11月25日(木)	竹屋ほほえみサロン「地域包括支援センター・介護保険制度について」「消費者被害について」 講師：尾道市西部地域包括支援センター 赤瀬真由美 小林雅子	14名
12月23日(木)	シルバーリハビリ西部地区定例会 「ノロウイルス対策について」 講師：尾道市西部地域包括支援センター 千川千賀	14名
12月23日(木)	竹屋ほほえみサロン「インフルエンザ予防について」「安心して暮らすために いつまでも暮らしたい このまちで」「脳トレ体操」 講師：西部圏域生活支援コーディネーター 石井延明 尾道市西部地域包括支援センター 兼長亜実 土橋健太郎	14名
3月16日(水)	健志塾「フレイル予防について」 講師：尾道市西部地域包括支援センター 野田知子 住田八重	21名
3月18日(金)	則末ふれあいサロン「認知症を予防しよう」 講師：尾道市西部地域包括支援センター 住田八重 吉國陽子 千川千賀	19名

(4) 地域活動

月 日	表 題	内 容	参加者数
4月1日(木)	第9区民協定例会	高齢者を狙う詐欺について	16名
4月5日(月)	第10区民協定例会	高齢者を狙う詐欺について・生活支援コーディネーターより、地域の現状について	15名

4月6日(火)	第3区民協定例会	コロナ予防接種を装った詐欺について	28名
4月7日(水)	第4区民協定例会	高齢者を狙う詐欺について	24名
5月6日(木)	第9区民協定例会	コロナワクチンの申し込み方法について・事例検討会	19名
5月6日(木)	第10区民協定例会	コロナ予防接種を装った詐欺について	13名
5月12日(水)	第4区民協定例会	コロナワクチン接種について	26名
6月1日(火)	第3区民協定例会	社協の事業について・熱中症について	28名
7月1日(木)	第9区民協定例会	第8期介護保険事業計画の説明	18名
7月5日(月)	第10区民協定例会	短期集中介護予防サービスについての説明	17名
7月6日(火)	第3区民協定例会	令和3年8月～施設利用の減免制度の改定について	29名
7月7日(水)	第4区民協定例会	熱中症予防について	23名
8月2日(月)	第10区民協定例会	防災アプリの説明と高齢者を狙う詐欺について	19名
8月3日(火)	第3区民協定例会	西部圏域生活支援コーディネーターの紹介	30名
8月4日(水)	第4区民協定例会	西部圏域生活支援コーディネーターの紹介	22名
8月5日(木)	第9区民協定例会	熱中症予防について・生活支援コーディネーター交代について	21名
10月3日(日)	令和3年度高齢者相互支援推進・啓発事業研修会	「住み慣れた地域で生きていこう」 講師：野田知子 島谷千佳子	53名
10月4日(月)	第10区民協定例会	インフルエンザ予防接種について	15名
10月5日(火)	第3区民協定例会	インフルエンザの無料券について	28名
10月6日(水)	第4区民協定例会	インフルエンザの無料券について	20名
10月7日(木)	第9区民協定例会	インフルエンザの無料券について・在宅介護者の集いについて	17名
10月28日(木)	ねんりんはうす運営会議	コロナ禍の為、今年度初開催入所者の状況について	9名
11月1日(月)	第10区民協定例会	司法書士会主催公開市民講座について	14名
11月2日(火)	第3区民協定例会	司法書士会主催公開市民講座について	29名
11月4日(木)	第9区民協定例会	司法書士会主催公開市民講座について	20名

11月10日（水）	第4区民協定例会	司法書士会主催公開市民講座について	21名
11月30日（火）	にしぎこの家運営会議	サービスの自己評価及び外部評価について	7名
12月1日（水）	第4区民協定例会	認知症家族会についての啓発困難事例の検討	21名
12月2日（木）	第9区民協定例会	認知症勉強会の案内について	13名
12月6日（月）	第10区民協定例会	民生委員・介護支援専門員合同意見交換会	46名
12月7日（火）	第3区民協定例会	事例紹介：民生委員さんと共に支援できたケース	30名
1月5日（水）	第4区民協定例会	認知症の勉強会：在宅介護者の集いについて	20名
1月6日（木）	第10区民協定例会	在宅介護者の集い・認知症勉強会について	14名
3月1日（火）	第3区民協定例会	西部地域包括支援センター24時間対応について	30名
3月2日（水）	第4区民協定例会	西部地域包括支援センター24時間対応について	22名

(5) 認知症地域支援推進員の活動

月 日	表 題	内 容	参加者数
4月10日（土）	地域ケア会議	利用者の今後の支援・サービスについて	8名
4月14日（水）	オレンジカフェ福祉センター・友	認知症カフェの開催・支援に関する事	36名
4月23日（金）	認知症推進員と初期集中支援チーム員（北チーム）との会議	認知症初期集中支援チーム活動支援等	7名
4月27日（火）	在宅介護者の集い	地域包括支援センター紹介、徘徊ネットワーク紹介	47名
5月20日（木）	地域ケア会議	関係機関との情報共有及び連携について	5名
6月22日（火）	在宅介護者の集い	家族交流会等について	14名
6月25日（金）	認知症推進員と初期集中支援チーム員（北チーム）との会議	認知症初期集中支援チーム活動支援等	6名
7月14日（水）	オレンジカフェ福祉センター・友	認知症カフェの開催・支援に関する事	23名
7月15日（木）	チームオレンジについて会議	認知症講演会・研修会等	5名
7月19日（月）	個別支援会議	初期集中支援チーム導入について	5名
7月20日（火）	介護予防事業	福寿会「認知症を知ろう！」講演	16名
7月28日（水）	認知症推進員と初期集中支援チーム員（北チーム）との会議	認知症初期集中支援チーム活動支援等	6名

8月4日(水)	個別支援会議	関係機関との情報共有及び連携について	3名
8月25日(水)	初期集中支援チーム会議	認知症初期集中支援チーム活動支援等	9名
8月25日(水)	認知症推進員と初期集中支援チーム員(北チーム)との会議	認知症初期集中支援チーム活動支援等	6名
9月28日(火)	認知症推進員と初期集中支援チーム員(北チーム)との会議	認知症初期集中支援チーム活動支援等	6名
10月4日(月)	個別支援会議	サービス利用等についての必要性について	4名
10月7日(木)	ケアパス作成準備会議	認知症ケアパスの作成・普及	7名
10月11日(月)	オレンジコーディネーター研修	認知症講演会・研修会等	27名
10月13日(水)	オレンジカフェ福祉センター・友	認知症カフェの開催・支援に関すること	17名
10月25日(月)	認知症サポーター養成講座	ヤクルト販売員さんへ認知症サポーター養成講座	8名
10月26日(火)	認知症推進員と初期集中支援チーム員(北チーム)との会議	認知症初期集中支援チーム活動支援等	6名
11月10日(水)	オレンジカフェ福祉センター・友	認知症カフェの開催・支援に関すること	28名
11月16日(火)	ケアパス作成準備会議	認知症ケアパスの作成・普及	7名
12月8日(水)	ケアパス作成準備会議	認知症ケアパスの作成・普及	7名
12月8日(水)	オレンジカフェ福祉センター・友	認知症カフェの開催・支援に関すること	32名
12月16日(木)	認知症推進員と初期集中支援チーム員(北チーム)との会議	認知症初期集中支援チーム活動支援等	6名
12月21日(火)	在宅介護者の集い(講演)	認知症講演会	28名
1月4日(火)	個別支援会議	利用者の現状と今後の支援について	7名
2月1日(火)	認知症推進員と初期集中支援チーム員(北チーム)との会議	認知症初期集中支援チーム活動支援等	10名
2月17日(木)	ケアパス作成準備会議	認知症ケアパスの作成・普及	7名
3月1日(火)	認知症推進員と初期集中支援チーム員(北チーム)との会議	認知症初期集中支援チーム活動支援等	6名
3月2日(水)	個別支援会議	利用者の現状と今後の支援について	5名
3月5日(土)	認知症家族の会	定期巡回講演会	51名
3月9日(水)	オレンジカフェ福祉センター・友	認知症カフェの開催・支援に関すること	22名
3月10日(木)	地域ケア会議	利用者の現状と情報共有について	9名

3月11日(金)	個別支援会議	利用者の現状と今後の支援について	6名
3月17日(木)	個別支援	利用者の現状と今後の支援について	5名
3月17日(木)	オレンジカフェ福祉センター・友	来年度の計画等について	8名
3月18日(金)	則末サロン	認知症予防について講和	19名
3月31日(木)	個別支援会議	利用者の現状と今後の支援について	6名

(6) 包括支援センター担当者会議

月 日	表 題	内 容	参加者数
4月14日(水)	尾道市内包括担当者会議	新任職員紹介・令和3年度の目標について	40名
4月15日(木)	管理者会議	令和3年度尾道市内の地域包括支援センター活動の成果について	13名
4月16日(金)	認知症施策推進部会	令和2年度の主な活動の成果・現在の重点課題の確認	19名
4月22日(木)	介護予防・生活支援部会	令和3年度の重点課題と目標について	18名
5月13日(木)	在宅医療・介護連携推進部会	令和3年度の目標について	15名
5月20日(木)	管理者会議	生活圏域ごとの地域包括ケアシステム自己評価について	11名
6月10日(木)	介護予防・生活支援部会	地域ケア個別会議支援検討シートについて	15名
6月11日(金)	権利擁護部会	令和2年度主な活動の成果・現在の重点課題・令和3年度主な活動目標の確認	16名
6月17日(木)	在宅医療・介護連携推進部会	入院時の病院との情報共有・連携について	15名
6月17日(木)	管理者会議	担当者会議での障害の勉強会開催について	10名
6月18日(金)	認知症施策推進部会	認知症ガイドブックの見直しについて	19名
7月6日(火)	尾道市内包括担当者会議	自立支援型地域ケア会議の振り返り	40名
7月15日(木)	管理者会議	自立支援型地域ケア会議の実施方法について	11名
7月16日(金)	認知症施策推進部会	アルツハイマー月間展示パネルについて	15名
7月20日(火)	在宅医療・介護連携推進部会	障害担当者と地域包括支援センター協議内容について	12名
8月12日(木)	介護予防・生活支援部会	短期集中通所型サービスの各圏域の進捗状況	15名

8月12日(木)	認知症施策推進部会	認知症講演会の開催について	19名
8月19日(木)	管理者会議	コロナにより休止した介護予防通所型サービスの日割り計算について	11名
8月24日(火)	権利擁護部会	今後の年間計画について	13名
9月16日(木)	介護予防・生活支援部会	コロナ禍でも介護予防で取り組んだこと各包括報告	18名
9月16日(木)	管理者会議	保険者機能評価の夜間・休日連絡窓口について	11名
9月17日(金)	権利擁護部会	司法書士会主催市民公開講座について	14名
9月24日(金)	認知症施策推進部会	認知症ガイドブックの見直しについて	18名
9月24日(金)	在宅医療・介護連携推進部会	障害者支援の勉強会について	17名
10月8日(金)	権利擁護部会	公証役場の勉強会について	15名
10月14日(木)	介護予防・生活支援部会	生活支援コーディネーターと合同会議について	15名
10月15日(金)	認知症施策推進部会	認知症講演会について	19名
10月15日(金)	在宅医療・介護連携推進部会	障害から介護保険への移行について	18名
10月21日(木)	管理者会議	警察からの認知症の方の情報提供について	11名
11月5日(金)	権利擁護部会	令和3年度尾道市高齢者虐待対応研修会	15名
11月18日(木)	介護予防・生活支援部会	今年度の重点課題に添った成果について	18名
11月18日(木)	認知症施策推進部会	認知症講演会の役割分担について	19名
11月19日(金)	在宅医療・介護連携推進部会	コロナ禍における有床病院との連携について	17名
11月25日(木)	管理者会議	保健事業と介護予防の一体化事業について	11名
11月29日(月)	尾道市内包括担当者会議	障害者総合支援法について研修	40名
12月10日(金)	在宅医療・介護連携推進部会	圏域での医療・介護連携推進会議(ネットワーク会議)の方向性について	14名
12月16日(木)	介護予防・生活支援部会	地域ケア推進会議について	18名
12月17日(金)	認知症施策推進部会	認知症ガイドブックの見直しについて	16名
12月23日(木)	管理者会議	短期集中型通所サービスの会議について	11名
12月27日(月)	権利擁護部会	広島銀行尾道支店による勉強会の受講について	13名
1月18日(火)	在宅医療・介護連携推進部会	障害との連携について	15名

1月20日(木)	介護予防・生活支援部会	地域ケア個別会議について	15名
1月20日(木)	権利擁護部会	帳票を活用高齢者虐待オンライン研修	16名
1月21日(金)	認知症施策推進部会	初期集中支援チーム連絡会について	18名
1月21日(金)	管理者会議	自立支援型地域ケア会議について	11名
2月10日(木)	介護予防・生活支援部会	令和3年度の評価・次年度の目標について	18名
2月14日(月)	権利擁護部会	司法書士会主催市民公開講座について	16名
2月15日(火)	在宅医療・介護連携推進部会	令和3年度主な活動の成果について	16名
2月17日(木)	管理者会議	尾道市自立支援型地域ケア会議のアンケート集計について	11名
2月18日(金)	認知症施策推進部会	認知症講演会の感想と令和3年度の成果について	18名
3月10日(木)	介護予防・生活支援部会	令和3年度の評価と令和4年度の目標について	18名
3月14日(月)	権利擁護部会	令和3年度の成果と令和4年度目標について	16名
3月14日(月)	在宅医療・介護連携推進部会	令和4年度重点課題について	16名
3月17日(木)	認知症施策推進部会	令和3年度の評価・令和4年度の目標について	18名
3月18日(金)	管理者会議	令和4年度尾道市内の地域包括支援センター活動方針	11名

※尾道市西部地域包括支援センター定期会議を毎月1回開催（事業所会議 月1回）

(7) 研修等

ア 尾道市介護支援専門員連絡協議会主催・共催

月 日	内 容	参加者数
5月11日(火)	第227回尾道市介護支援専門員連絡協議会研修会 「ZOOM操作研修」 講師：邑岡志保さん	8名
6月8日(火)	第228回尾道市介護支援専門員連絡協議会研修会 「尾道市高齢者福祉計画及び第8期介護保険事業計画について」 講師：高齢者福祉課 佐藤由教さん 植田清香さん	8名
6月15日(火)	第229回尾道市介護支援専門員連絡協議会研修会 「令和3年度主任介護支援専門員フォローアップ研修（災害支援リーダー養成研修）」 講師：要垣内智子さん 村上友宏さん 江馬明美さん 邑岡志保さん 菅近憲文	3名

7月13日(火) 8月17日(火)	第230回尾道市介護支援専門員連絡協議会研修会 「主任介護支援専門員フォローアップ研修 自立支援に向けたケアマネジメントプロセスの指導ポイントを学ぶ」 講師：安井由枝さん 邑岡志保さん 村上泰子	3名
9月13日(月)	第232回尾道市介護支援専門員連絡協議会研修会 「8050世帯を多職種で支える」 講師：愛知県半田市社会福祉協議会 前山憲一さん	6名
1月13日(木)	尾道市地域包括ケア連絡協議会講演会 「川の流れるままに、素直に、生きていくだけですわ ～ヘルパー千福幸子さんの人生～」 講師：プラスワンケアサポート株式会社 千福幸子さん	7名
1月18日(火)	第233回尾道市介護支援専門員連絡協議会研修会 「尾道市社会福祉協議会の在宅福祉サービスについて」 講師：尾道市社会福祉協議会 石井延明 高橋 望	7名
3月18日(金)	薬剤師会・尾道市介護支援専門員連絡協議会合同研修 「在宅医療推進に向けた研修会(尾道)」 講師：広島県医師会 橋本武司さん 尾道市介護支援専門員連絡協議会 片岡智子さん 尾道市薬剤師会 友滝恵子さん	3名

イ 広島県・その他

月 日	内 容	参加者数
4月27日(火)	尾道市社会福祉協議会「認知症について学ぼう」 講師：キャラバンメイト	3名
5月13日(木)	令和3年度尾道市自立支援型ケア個別会議助言者研修 講師：広島県介護予防普及展開事業アドバイザー 望月マリ子さん	4名
5月25日(火)	地域包括ケアシステム初任者セミナー研修 「地域共生社会の実現に向けた住まいのあり方について」 講師：三菱UFJリサーチ&コンサルティング 岩名礼介さん	1名
6月～9月	介護支援専門員専門研修課程I(全13日)	1名
6月18日(金)	令和3年度自立支援型地域ケア会議「腰椎圧迫骨折で痛みはあるが、自立の可能性を検討したい事例」 事例提供者：尾道市南部地域包括支援センター 要垣内智子さん	6名
6月19日(土)	令和3年度向上研修「Q&Aから深める令和3年度介護報酬改定」 講師：厚生労働省認知症施策地域介護推進課 原 雄亮さん	3名
6月26日(土)	令和3年度地域包括支援センター現任研修「地域ケア会議」 講師：金沢市地域包括支援センターとびうめ 中 恵美さん	1名
7月9日(金)	令和3年度広島県地域包括・在宅介護支援センター協議会 令和3年度生活支援体制整備事業研修会「所属組織の強みを活かす！生活支援コーディネーターの視点と活動」 講師：コミュニティーネットハピネス代表理事 土屋幸巳さん	1名
7月～9月	尾道市認定調査員研修会(平成30年度から全9回)	1名
7月28日(水)	令和3年度高齢者虐待対応研修 「養護者による高齢者虐待対応の基本」 講師：植田美幸さん	1名
8月18日(水)	令和3年度地域包括支援センター基礎研修 講師：東京社会福祉士会 山本茂樹さん	2名

8月27日(金)	令和3年度高齢者虐待対応研修 「養護者による高齢者虐待対応の基本」 講師：広島高齢者・障がい者虐待対応専門職チーム 吉本律子さん	1名
9月2日(木)	尾道市自立支援型地域ケア会議 事例提供者：尾道市地域包括支援センター 小田桐るみさん 尾道市西部地域包括支援センター 野田知子	8名
9月5日(日)	広島県介護支援専門員協会 「適切なケアマネジメント手法」実践セミナー 講師：日本総合研修所 斎木 大さん	3名
9月9日(木)	令和3年度広島県自立支援型ケアマネジメント基本研修 「最新のトピックスと市町・地域包括支援センターの役割」 講師：広島県地域包括ケア推進センター 望月マリ子さん	1名
9月11日(土)	第8回全国介護・終末期リハ・ケア研究大会広島2021「ええ人生じゃったよ！」 講師：中国労災病院治療就労両立支援センター 豊田章宏さん	1名
9月15日(水)	医療介護連携部会・ケアマネ協共催 「65歳通過点の伴走について考える」 講師：社会福祉法人尾道さつき会 邑岡志保さん	7名
9月～11月	介護支援専門員専門研修課程Ⅱ(全7日)	1名
9月16日(木)	令和3年度介護支援専門員の倫理研修 「個人情報・プライバシー保護」 講師：広島県介護支援専門員協会 渡部貴則さん 久保田秀樹さん 金子 努さん	1名
9月21日(火)	広島県自立支援型ケアマネジメント基本研修(実践編) 講師：広島県地域包括ケア推進センター 望月マリ子さん	1名
9月22日(水)	令和3年度市町等苦情処理ブロック別連絡会議	1名
9月24日(金)	令和3年度第2回尾道市地域自立支援協議会 「精神疾患・精神障害の基礎知識」 講師：青山病院精神保健福祉士 舟川加奈さん	3名
9月28日(火)	令和3年度広島県介護支援専門員協会三次ブロック研修 「自立支援や重度化防止に向けたケアマネジメントの指導と人材育成について」 講師：相扶の郷居宅介護支援事業所管理者 荒木和美さん	1名
10月5日(火) 10月6日(水)	令和3年度認知症地域支援推進員研修(新任研修)	1名
10月8日(金)	令和3年度広島県東部認知症疾患医療センター研修会 「認知症の行動と心理症状」 講師：中川 実さん	6名
10月11日(月)	令和3年度チームオレンジ・コーディネーター研修	1名
10月20日(水)	自立支援型地域ケア会議 事例提供者：尾道市東部地域包括支援センター 浜原幹男さん 尾道市南部地域包括支援センター瀬戸田支所 原田幸男さん	6名
10月21日(木)	介護事業者におけるBCP策定第1回 講師：ミネルヴァベリタス株式会社顧問 本田茂樹さん	1名
10月28日(木)	介護事業者におけるBCP策定第2回 講師 ミネルヴァベリタス株式会社顧問 本田茂樹さん	1名

11月15日(月)	尾道市地域自立支援協議会定例会「ヤングケアラーの現状と課題について」 講師：県立広島大学 手島 洋さん	6名
11月16日(火)	令和3年度広島県認定調査員フォローアップ研修	1名
11月18日(木)	令和3年度在宅医療・介護連携の推進に係る在宅緩和ケア研修会「がん診療連携拠点病院における緩和ケアセンターの役割と地域連携」 講師：厚生連尾道総合病院 則行敏生先生	6名
11月19日(金)	令和3年度認知症セミナー「ポストコロナ時代の認知症地域包括ケアのあり方について」 講師：広島大学大学院医系科学研究科 石井伸弥さん	3名
11月26日(金)	生き生き法律教室 相続について 講師：崎谷司法書士事務所所長 崎谷 亙さん	9名
11月26日(金)	令和3年度高齢者の自立支援に係る研修ツールDVD活用研修について 講師：広島県地域包括ケア推進センター次長 望月マリ子さん	1名
11月26日(金)	市内包括医療介護連携部会主催「障がい福祉制度について」 講師：尾道市障害者サポートセンターはなはな 神尾光美さん	9名
12月1日(水)	司法書士会市民公開講座 「ぼけてもええよ。ウチらしくワシらしく」	3名
12月9日(木)	令和3年度広島県自立支援に資する介護予防ケアマネジメントのためのアセスメントマニュアル活用研修 講師：広島県地域包括ケア推進センター次長 望月マリ子さん	1名
12月10日(金)	尾道市内包括支援センター合同権利擁護研修 「終活のための公正証書について」 講師：尾道公証役場公証人 石本 仁さん	8名
12月13日(月)	地域包括によるひきこもり相談支援リモート研修会 講師：鳥取県立精神保健福祉センター所長 原田 豊さん	1名
12月15日(水)	令和3年度尾三圏域地域リハビリテーション研修会「高齢者の保健事業と介護予防一体化実施事業について」	3名
12月16日(木)	広島県介護支援専門員協会主催「ケアマネジメント向上研修」 講師：広島県介護支援専門員協会会長 落久保裕之さん	1名
12月17日(金)	自立支援型地域ケア会議 事例提供者：北部地域包括支援センター 高山敬子さん 向島地域包括支援センター 藤木ゆかりさん	7名
12月20日(月)	広島県介護支援専門員協会「介護サービス計画書の記載要領に関する研修会」 講師：あたご研究所 後藤佳苗さん	4名
12月20日(月)	尾道市社会福祉協議会主催「生活支援体制整備事業について」 地域共生包括推進会議について 講師：尾道市社会福祉協議会 松浦浩子 高橋 望	2名
12月21日(火)	令和3年度地域包括ケアシステム評価結果に係る市町情報交換会プログラム 保険者機能強化推進交付金等評価指標について	1名
12月23日(木)	令和3年度尾道市職員交通安全研修	2名

1月11日(火)	令和3年度感染症研修会「標準予防策について」 講師：興生総合病院感染管理室 鈴木沙織先生 特別非営利活動法人ピースウィンズジャパン 国内事業部医師 坂田大三先生	1名
1月13日(木)	令和3年度広島県短期集中予防サービス活用研修 講師：広島県健康福祉局 三郎丸かおるさん	1名
1月14日(金)	令和3年度広島県地域包括・在宅介護支援センター協議会リーダー研修「包括的・継続的ケアマネジメント業務における環境整備について」 講師：広島県地域包括・在宅介護支援センター協議会会長 小山峰志さん	1名
1月15日(土)	令和3年度介護保険制度及び看護・介護・地域リハビリテーション合同研修会「コロナ禍における地域包括ケアのすすめ方」 講師：熊本詫麻台リハビリテーション病院 平田好文さん 鳥取大学大学院医学系研究科 竹田伸也さん	2名
1月24日(月)	介護事業者のための業務継続計画セミナー 「BCP作成における重要ポイント」 講師：ミネルヴァベリタス株式会社顧問 本田茂樹さん 中部産業連盟主任コンサルタント 前田和彦さん	3名
1月28日(金)	令和3年度認知症地域支援体制推進全国セミナー 講師：厚労省老健局地域介護推進課 谷内一夫さん	1名
2月3日(木)	養護者による高齢者虐待対応の基本研修 講師：広島高齢者・障がい者虐待対応専門職チーム 吉本律子さん	9名
2月5日(土)	令和3年度広島県短期集中予防サービス実践事例報告研修 講師：地域包括支援センターおおの 松島恵子さん	1名
2月9日(水)	尾道市三師会合同地域医療講演会「食べることは生きること」 講師：黒瀬歯科医院院長 黒瀬 済先生	1名
2月15日(火)	令和3年度認知症講演会「認知機能低下を支援する方法」 講師：片山内科クリニック院長 片山禎夫先生	9名
2月18日(金)	令和3年度広島県自立支援型地域ケア個別会議司会者養成研修 講師：介護予防活動普及展開事業アドバイザー 望月マリ子さん	1名
2月18日(金)	自立支援型地域ケア個別会議 事例提供者：尾道市西部地域包括支援センター 小林雅子	7名
2月21日(月)	認知症カフェセミナー仙台市認知症カフェ支援事業 講師：仙台市健康福祉局保険高齢部地域包括ケア推進課	3名
3月3日(木)	令和3年度ひきこもり講演会「ひきこもりがちな家族を抱える方への支援のコツ」 講師：島根県立心と体の相談センター所長 小原圭司さん	5名
3月5日(土)	認知症の人と家族の会「認知症になっても、希望を持って暮らせる地域を」 講師：県立広島大学保健福祉学部作業療法科長 西田征治さん	1名
3月11日(金)	令和3年尾三圏域地域包括ケア推進にかかる圏域内ネットワーク会議	1名
3月15日(火)	尾道市自立支援型地域ケア会議事例提供者向け研修 講師：介護予防活動普及展開事業アドバイザー 望月マリ子さん	8名
3月22日(火)	令和3年度福祉施設・事業所のクレーム対応研修 「クレームは改善・サービス向上のためのヒント」 講師：ふくろう法律事務所弁護士 松宮良典さん	7名

15. 介護保険事業

令和3年度事業計画で定めた事業所目標にそって、全7事業所（本所4事業所・因島支所1事業所・瀬戸田支所2事業所）で、介護保険、介護予防・日常生活支援総合事業を実施した。

（1）居宅介護支援事業

要介護・要支援者の心身の状況や置かれている環境、本人や家族の希望を勘案し、質の高いケアマネジメントを行うことにより、居宅サービス、地域密着型サービスあるいはその他の保健医療サービス等を適切に利用できるように、居宅サービス計画を作成し、その計画に基づくサービスの提供が適切に行われるよう、サービス提供事業者と連絡調整を行うなどの支援を行った。また、保険者より委託を受け、要介護認定調査、住宅改修等の事業を実施した。

① 居宅介護支援事業所

事業所の目標を、「社会情勢や地域包括ケアシステムの深化を踏まえ、尾道市内の地域ごとの特色を知る。」「利用者の生活を支えるため、アセスメントを深め関係機関との連携を図る。」と定め、ケアマネジャー4名で業務を行った。

特に、新型コロナウイルス感染症の影響拡大・長期化を踏まえ、感染予防及び感染症が発生した際にも事業が継続できるようテレワークを取り入れ、研修会等は感染症対策の整ったものやオンライン研修へ、広島県介護支援専門員実務研修受講生の受け入れは日程調整しながら行った。

ア 利用者の状況

居宅サービス計画作成依頼件数 159 件、要介護認定調査実施件数 39 件

介護保険

要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
2	9	47	40	24	21	11	154

総合事業

事業対象者	要支援1	要支援2	合計
0	3	2	5

イ 研修・会議の実施状況

（ア）法人、事業所内研修・会議

月 日	内 容	参加者数
5月18日(火)	「インフォーマルサービス研修～暮らしサポートセンター、福祉まるごと相談、生活支援整備体制整備事業について～」 講師：尾道市社会福祉協議会 松浦浩子 高橋 望	4名
10月5日(火)	「法令遵守・倫理・個人情報・プライバシー保護研修」 事業所内伝達研修	4名
12月1日(水)	令和3年度尾道市西部包括圏域居宅介護支援事業所共同事例検討会	4名

2月1日(火)	令和3年度尾道市西部包括圏域事例検討会「野中式事例検討会」 講師：ケアマネジメントセンターこねくと 安井由枝さん 居宅介護事業所きらら 片岡智子さん 尾道市社会福祉協議会居宅介護支援事業所 村上泰子	4名
---------	--	----

事業所内利用者把握と諸連絡については毎週1回開催した

(イ) 事業所外研修 (尾道市介護支援専門員連絡協議会主催・共催)

月 日	内 容	参加者数
5月11日(火)	第227回尾道市介護支援専門員連絡協議会研修会 「ZOOM操作研修」 講師：邑岡志保さん	4名
6月8日(火)	第228回尾道市介護支援専門員連絡協議会研修会 「尾道市高齢者福祉計画及び第8期介護保険事業計画について」 講師：高齢者福祉課 佐藤由教さん 植田清香さん	2名
6月15日(火)	第229回尾道市介護支援専門員連絡協議会研修会 「令和3年度主任介護支援専門員フォローアップ研修(災害支援リーダー養成研修)」 講師：要垣内智子さん 村上友宏さん 江馬明美さん 邑岡志保さん 菅近憲文	3名
7月13日(火) 8月17日(火)	第230回尾道市介護支援専門員連絡協議会研修会 「主任介護支援専門員フォローアップ研修 自立支援に向けたケアマネジメントプロセスの指導ポイントを学ぶ」 講師：安井由枝さん 邑岡志保さん 村上泰子	3名
9月13日(月)	第232回尾道市介護支援専門員連絡協議会研修会 「8050世帯を多職種で支える」 講師：愛知県半田市社会福祉協議会 前山憲一さん	2名

事業所外研修 (広島県、その他)

月 日	内 容	参加者数
6月19日(土)	令和3年度向上研修会「Q&A から深める令和3年度介護報酬改定」 講師：厚生労働省老健局 原 雄亮さん	4名
8月3日(火)	令和3年度広島県介護支援専門員更新・専門研修課程Ⅰ ファシリテーター	1名
9月5日(日)	「適切なケアマネジメント手法」実践セミナー 講師：日本総合研究所 齊木 大さん	4名
9月24日(金) 9月27日(月)	令和3年度介護支援専門員の倫理研修 「個人情報・プライバシー保護」 講師：広島県介護支援専門員協会 渡部貴則さん 久保田秀樹さん 金子 努さん	1名
9月28日(火)	令和3年度広島県介護支援専門員協会三次市ブロック研修 「自立支援や重度化防止に向けたケアマネジメントの指導と人材育成について」 講師：相扶の郷居宅介護支援事業所管理者 荒木和美さん	1名
11月2日(火)	介護事業所におけるBCP策定を学ぶ 講師：ミネルヴァベタリス株式会社顧問 本田茂樹さん	1名
11月16日(火)	高齢者虐待防止研修「養介護施設従事者等における高齢者虐待への取り組み」 講師：かわさき社会福祉士事務所 川崎裕彰さん	4名

11月29日（月）	令和3年度広島県認定調査員フォローアップ研修	4名
12月16日（木）	ケアマネジメント向上研修「医療介護連携によるベストエフォート型ケアマネジメントの構築」 講師：広島県介護支援専門員協会会長 落久保裕之さん	1名
12月20日（月）	介護サービス計画書の記載要領に関する研修会 講師：あたご研究所 後藤佳苗さん	4名
9月25日（土） 11月6日（土） 12月4日（土） 1月15日（土）	「適切なケアマネジメント手法」実践研修 講師：日本総合研究所 辻まりえさん 齊木 大さん	1名
1月11日（火）	令和3年度感染症研修会「標準予防策について」 講師：興生総合病院感染管理室 鈴木沙織先生 特別非営利活動法人ピースウィンズジャパン 国内事業部医師 坂田大三先生	1名
1月24日（月）	介護事業者のための業務継続計画（BCP）セミナー 「BCP作成における重要ポイント」 講師：ミネルヴァベリタス株式会社顧問 本田茂樹さん 中部産業連盟主任コンサルタント 前田和彦さん	2名
2月15日（火）	令和3年度認知症講演会「認知機能低下を支援する方法」 講師：片山内科クリニック院長 片山禎夫先生	1名
2月22日（火）	令和3年度広島県介護支援専門員実務研修実習指導者研修 講師：広島県介護支援専門員協会 元廣 緑さん	4名
3月3日（木）	ひきこもりがちな家族を抱える方への支援のコツ 講師：島根県立心と体の相談センター所長 小原圭司さん	1名
3月17日（木）	令和3年度福祉施設・事業所のクレーム対応研修 「クレームは改善・サービス向上のためのヒント」 講師：ふくろう法律事務所弁護士 松宮良典さん	4名

(ウ) 民生委員交流会、実習受け入れ

月 日	内 容	参加者数
12月6日（月）	第10区民生委員・児童委員協議会と介護支援専門員の意見交換会	4名
9月25日（土） 11月6日（土） 12月4日（土）	広島県介護支援専門員実務研修・基礎技術研修	1名

② すずらん居宅介護支援事業所

事業所の目標を、「感染症対策をし、他職種と連携協力できる。」「利用者のストレングスの視点をもつプランを作成できる。」「令和3年度介護報酬改定を理解する。介護ソフトを活用し効率化を図る。」と定め、専任ケアマネジャー3名で業務を行った。

ア 利用者の状況

居宅サービス計画作成依頼件数 110件、要介護認定調査実施件数 81件

利用者 要介護度別	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
	2	2	42	36	12	10	6	110

イ 研修・会議の実施状況

(ア) 事業所内研修

月 日	内 容	参加者数
5月18日(火)	「インフォーマルサービス研修～くらしサポートセンター、福祉まるごと相談、生活支援整備体制整備事業について～」 講師：尾道市社会福祉協議会 松浦浩子 高橋 望	2名
10月5日(火)	「法令遵守・倫理・個人情報・プライバシー保護研修」 事業所内伝達研修	3名
10月26日(火)	高齢者虐待防止研修 動画視聴	3名
11月5日(金)	介護事業者におけるBCP策定第1回 講師：ミネルヴァベリタス株式会社顧問 本田茂樹さん	1名
11月9日(火)	介護事業者におけるBCP策定第2回 講師 ミネルヴァベリタス株式会社顧問 本田茂樹さん	1名

※事業所内でのケアマネ会議は週1回(月曜日)に実施

※生口島のケアマネ会議は2カ月に1回(第3火曜日)に実施(偶数月)

※因島のケアマネ会議は2カ月に1回(第1月曜日)に実施(奇数月)

(イ) 事業所外研修(尾道市介護支援専門員連絡協議会主催・共催)

月 日	内 容	参加者数
5月11日(火)	第227回尾道市介護支援専門員連絡協議会研修会 「ZOOM操作研修」 講師：邑岡志保さん	3名
6月8日(火)	第228回尾道市介護支援専門員連絡協議会研修会 「尾道市高齢者福祉計画及び第8期介護保険事業計画について」 講師：高齢者福祉課 佐藤由教さん 植田清香さん	3名
6月15日(火)	第229回尾道市介護支援専門員連絡協議会研修会 「令和3年度主任介護支援専門員フォローアップ研修(災害支援リーダー養成研修)」 講師：要垣内智子さん 村上友宏さん 江馬明美さん 邑岡志保さん 菅近憲文	3名
7月13日(火)	第230回尾道市介護支援専門員連絡協議会研修会 「主任介護支援専門員フォローアップ研修 自立支援に向けたケアマネジメントプロセスの指導ポイントを学ぶ」 講師：安井由枝さん 邑岡志保さん 村上泰子	2名
8月17日(火)	第231回尾道市介護支援専門員連絡協議会研修会(主任) 「主任ケアマネとしてケアマネを育てるノウハウを学び実践する」 講師：邑岡志保さん 安井由枝さん 村上泰子	2名
9月13日(月)	第232回尾道市介護支援専門員連絡協議会研修会 「8050世帯を多職種で支える」 講師：愛知県半田市社会福祉協議会 前山憲一さん	3名
1月13日(木)	尾道市地域包括ケア連絡協議会講演会 「川の流れるままに、素直に、生きているだけですわ～ヘルパー千福幸子さんの人生～」 講師：プラスワンケアサポート株式会社 千福幸子さん	1名
1月18日(火)	第233回尾道市介護支援専門員連絡協議会研修会 「尾道市社会福祉協議会の在宅福祉サービスについて」 講師：尾道市社会福祉協議会 松浦浩子 高橋 望	2名

事業所外研修（広島県、その他）

月 日	内 容	参加者数
5月13日（木）	令和3年度尾道市自立支援型ケア個別会議助言者研修 講師：広島県介護予防普及展開事業アドバイザー望月マリ子さん	1名
6月19日（土）	令和3年度向上研修会「Q&A から深める令和3年度介護報酬改定」 講師：厚生労働省老健局 原 雄亮さん	1名
11月16日（火）	令和3年度広島県認定調査員フォローアップ研修	2名
12月16日（木）	ケアマネジメント向上研修「医療介護連携によるベストエフォート型ケアマネジメントの構築」 講師：広島県介護支援専門員協会会長 落久保裕之さん	2名
12月20日（月）	介護サービス計画書の記載要領に関する研修会 講師：一般社団法人あたご研究所 後藤佳苗さん	2名
2月18日（金）	令和3年度実務研修実習指導者養成研修 講師：広島県介護支援専門員指導者	2名
3月8日（火）	令和3年度主任介護支援専門員のための実習指導者養成研修 講師：広島県介護支援専門員指導者	2名

(ウ) その他、交流会・会議

月 日	内 容	参加者数
6月18日（金）	令和3年度自立支援型地域ケア会議（第1回）傍聴	1名
8月18日（水）	令和3年度自立支援型地域ケア会議（第2回）傍聴	1名
10月20日（水）	令和3年度自立支援型地域ケア会議（第3回）助言者	1名
12月17日（金）	令和3年度自立支援型地域ケア会議（第4回）傍聴	1名
2月18日（金）	令和3年度自立支援型地域ケア会議（第5回）傍聴	1名
3月18日（金）	生口島ケアマネ会議（事例検討会）	3名

(2) 訪問介護事業

新型コロナウイルスの収束が見えない中で、 심각한感染予防の対策を続けながら緊張感の強い1年間であった。また引き続き介護職員の増員は困難で、安定した人材環境とは言えなかったが、職員個々の個性を生かしつつ、要介護者や要支援者等に対し、介護福祉士等の資格を有する訪問介護員が居宅を訪問し、入浴、排泄、食事等の身体介護サービスや調理、洗濯、買い物等の生活支援サービスを実施した。

① 訪問介護事業所

事業所の目標を、「ICTを活用することで業務の効率化を図り、生まれた時間で質の良いサービスを提供する。今、学ぶことの辛さやしんどさがあっても、目標達成した時の喜びを皆で共有できるよう頑張りましょう。」と定め、5名の常勤ヘルパーと13名の嘱託ヘルパー、27名の登録ヘルパーが在宅での身体介護や生活援助にあたった。

ア 利用者の状況

利用者数 介護 163名、総合事業 145名、合計 308名

ブロック	1	2	3	4	5	6	市外	合計
介護	3	18	38	33	48	23	0	163
総合事業	1	14	30	32	46	22	0	145
合計	4	32	68	65	94	45	0	308

介護保険

要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
51	56	29	16	11	163

総合事業

事業対象者	要支援1	要支援2	合計
4	57	84	145

イ 研修・会議の実施状況

(ア) 事業所内研修

月 日	内 容	参加者数
4月14日(水)	新年度のブロック編成について 事業所目標・個人目標 令和3年度介護報酬改定について 法令遵守・倫理・個人情報・プライバシー保護 知的障害のある人の生活を知る。	42名
7月14日(水)	「知っておきたい」認知症による被害妄想への対応方法は？ ヒヤリ・ハット事故報告 家庭でできる食中毒予防の6つのポイント 豪雨災害から3年～警報が出た！こんな時どうする？～ 交通安全週間	37名
10月13日(水)	高齢者・障害者等虐待に関するアンケート どうしてあの人は好かれるの？ 今すぐ使える「接遇マナー5原則」でコミュニケーションアップ！ 精神疾患・精神障害の基礎知識	34名
11月10日(水)	感染症について ～ノロウイルス・インフルエンザ流行前に～ 冬場に注意すべき感染症の素朴な疑問	35名
12月8日(水)	交通事故防止について がん診療連携拠点病院における緩和ケアセンターの役割と地域連携 人権週間「誰か」のことじゃない。 年末年始の対応について	38名
3月9日(水)	緊急連絡先名簿の作成について 自然災害発生時対応についてのアンケート 住宅防火いのちを守る10のポイント 高齢者虐待防止研修	39名

サービス提供責任者会議は毎月1回開催した

(イ) 事業所外研修

月 日	内 容	参加者数
9月15日(水) 9月16日(木)	令和3年度介護支援専門員の倫理研修 「個人情報・プライバシー保護」 講師：広島県介護支援専門員協会 渡部貴則さん 久保田秀樹さん 金子 努さん	1名
11月18日(木)	令和3年度在宅医療・介護連携の推進に係る在宅緩和ケア研修会「がん診療連携拠点病院における緩和ケアセンターの役割と地域連携」 講師：厚生連尾道総合病院 則行敏生先生	3名
12月23日(木)	尾道市役所交通安全研修	1名
1月11日(火)	令和3年度感染症研修会「標準予防策について」 講師：興生総合病院感染管理室 鈴木沙織先生 特別非営利活動法人ピースウィンズジャパン 国内事業部医師 坂田大三先生	1名
1月13日(木)	尾道市地域包括ケア連絡協議会講演会 「川の流れるままに、素直に、生きているだけですわ ～ヘルパー千福幸子さんの人生～」 講師：プラスワンケアサポート株式会社 千福幸子さん	1名
1月21日(金)	令和3年度第2回尾道市精神障害者地域生活支援協議会	1名
1月24日(月)	介護事業者のための業務継続計画(BCP)セミナー 「BCP作成における重要ポイント」 講師：ミネルヴァベリタス株式会社顧問 本田茂樹さん 中部産業連盟主任コンサルタント 前田和彦さん	2名
2月15日(火)	令和3年度認知症講演会「認知機能低下を支援する方法」 講師：片山内科クリニック院長 片山禎夫先生	2名
3月10日(木)	令和3年度福祉施設・事業所のクレーム対応研修 「クレームは改善・サービス向上のためのヒント」 講師：ふくろう法律事務所弁護士 松宮良典さん	1名

(ウ) 定例会議(年9回)への出席

「尾道市地域自立支援協議会」「生活支援部会」 主催：尾道市社会福祉課障害福祉係	1名
--	----

② すずらん訪問介護事業所

事業所の目標を、「援助内容を把握し利用者のことを考え笑顔でサービスを行う」「健康に過ごす(利用者・自分・家族)」「時間に余裕を持ち安全に事故のないよう行動する」「関係者との連携をとる」と定め、3名の常勤ヘルパーと6名の登録ヘルパーが在宅の身体介護や生活援助にあたった。

ア 利用者の状況

利用者数 介護 40名、総合事業 27名、合計 67名

介護保険

要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
18	14	4	3	1	40

総合事業

事業対象者	要支援1	要支援2	合計
0	5	22	27

イ 研修・会議の実施状況

(ア) 事業所内研修

月 日	内 容	参加者数
4月21日 (水)	サービス提供記録はこう書く、利用者の状態について 訪問介護で気を付けるポイント、家族帰省の際のヘルパー訪問についての確認	8名
6月23日 (水)	熱中症予防と対応、食中毒発令、緊急時の対応の手順の確認、 タブレットの入力確認	8名
9月13日 (月) 9月14日 (火) 9月15日 (水)	個人情報保護、障害者虐待防止について、災害時のサービス 提供について、感染症対策について、利用者の状態について	3名 4名 2名
10月20日 (水)	タブレット研修、個人情報・プライバシー保護、倫理、法令遵 守、高齢者・障害者への虐待防止の推進について 県外からの帰省報告書について	9名
11月17日 (水)	インフルエンザ・コロナ感染症予防の徹底 BCP研修、年末年始県外の帰省報告書	9名
12月15日 (水)	メンタルヘルス研修、ゴミ収集の確認 インフル・コロナ感染予防、県外帰省報告について	9名
2月25日 (金)	介護事業者のための業務継続計画セミナー 「BCP作成における重要ポイント」 講師：ミネルヴァベリタス株式会社顧問 本田茂樹さん 中部産業連盟主任コンサルタント 前田和彦さん	1名
3月16日 (水)	お口ケア資料を配布し各自読んでいただき誤嚥予防等 令和4年度の事業目標について	9名

(3) 訪問入浴介護事業

自宅で入浴が困難な要介護者に対して、特殊な設備を備えた入浴車で訪問し、特殊浴槽を室内に設置して入浴介護サービスを行なった。

① 訪問入浴介護事業所

事業所の目標を、「職員全員で協力し、利用者の安全に留意した移乗動作を確実にを行い、安心して快適なサービスを提供する。」と定め、1名の常勤看護職員と、2名の臨時看護職員、6名の臨時介護職員が、在宅での訪問入浴介護にあたった。

ア 利用者の状況

利用者数 14名 利用実績 601回

月 別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用回数	40	49	47	41	48	56	48	55	65	54	50	48	601

利 用 者 要介護度別	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
	0	0	0	0	3	4	7	14

イ 研修・会議の実施状況

(ア) 事業所内研修

月 日	内 容	参加者数
5月6日(木)	夏季入浴の注意事項検討会議	4名
6月24日(木)	事故発生等緊急時対応に関する研修	6名
10月25日(月)	マニュアル検討会議	4名
11月8日(月)	冬季入浴の注意事項検討会議	4名
12月23日(木)	法令遵守、倫理、個人情報・プライバシー保護伝達研修	4名
2月15日(火)	令和4年度事業所目標についての検討会議	4名

※ ケース検討会議については計画に沿って毎月1～2回開催した。

(イ) 事業所外研修

月 日	内 容	参加者数
9月15日(水)	令和3年度介護支援専門員の倫理研修 講師：広島県介護支援専門員協会 渡部貴則さん 久保田秀樹さん 金子 努さん	1名
1月24日(月)	広島県認知症介護基礎研修 (eラーニング)	1名
3月9日(水)	令和3年度福祉施設・事業所のクレーム対応研修 「クレームは改善・サービス向上のためのヒント」 講師：ふくろう法律事務所弁護士 松宮良典さん	2名

(4) 通所介護事業

限られたスペースに人が集まって飲食や活動を行う通所介護では、新型コロナウイルス感染症が広がるリスクが大変高いため、事業所が感染元とならないよう対策に細心の注意を払い、通所介護計画に沿って、「趣味」「レクリエーション」「介護予防体操」「入浴」「食事」その他必要な介護等などを通して、「楽しみ」の中で、日常的な機能を維持・向上できるように実施した。

① ふれ愛デイサービスセンター

事業所の目標を、「笑顔を絶やさず、ご利用者様、職員共にデイサービスを和やかな雰囲気にする。心に余裕を持ち周りを見て行動できるようになる。」と定め、3名の常勤職員と2名の嘱託職員、15名の臨時職員で事業を展開した。

また、これまでの比較的大人数で行うレクリエーションから、小集団かつ個別の利用者が個別のニーズに沿ったものを提供できる機能訓練体制を整えて、加算の取得に努めた。

ア 利用者の状況

利用者数 介護 65名、総合事業 8名、合計 73名

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
利用者延数	426	417	409	434	411	410
開設日数	26	26	26	27	26	26
平均利用者数	16.3	16.0	15.7	16.0	15.8	15.7

月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者延数	478	480	461	409	404	456	5,195
開設日数	26	26	26	24	24	27	310
平均利用者数	18.3	18.4	17.7	17.0	16.8	16.8	16.7

介護保険

要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
16	22	13	6	8	65

総合事業

事業対象者	要支援1	要支援2	合計
0	4	4	8

イ 研修・会議の実施状況

(ア) 事業所内研修

月 日	内 容	参加者数
4月5日(月)	サービス向上担当委員・年間計画	6名
4月20日(火)	食事改善会議	4名
8月17日(火)	敬老会について①	4名
8月25日(水)	個別機能訓練について	4名
8月26日(木)	個別機能訓練について	4名
9月10日(金)	敬老会について②	4名
9月15日(水)	緊急事態対応マニュアル作成について	6名
10月5日(火)	敬老会の反省	4名
10月27日(水)	感染対策の基礎知識 認知症について	6名
11月3日(水)	リスク管理 リスクマネジメント	6名
1月20日(木)	2月の行事(ふれ愛カフェ)について	5名
2月7日(月)	高齢者虐待防止研修	6名
3月21日(月)	花見会・花見ドライブについて	6名
3月29日(火)	自衛避難訓練	10名

(イ) 事業所外研修

月 日	内 容	参加者数
7月16日(金)	尾道市障がい者虐待防止研修	1名
9月13日(月) 9月21日(火)	令和3年度介護支援専門員の倫理研修 「個人情報・プライバシー保護」 講師：広島県介護支援専門員協会 渡部貴則さん 久保田秀樹さん 金子 努さん	1名

9月29日（水）	火災発生時の対応	1名
11月25日（木） 11月26日（金）	尾道ブロック職員研修	1名
12月10日（金）	令和3年度尾道ブロックデイサービス部会研修会	1名
1月11日（火）	令和3年度感染症研修会「標準予防策について」 講師：興生総合病院感染管理室 鈴木沙織先生 特別非営利活動法人ピースウィンズジャパン 国内事業部医師 坂田大三先生	1名
1月19日（水）	「現場で活かす転倒・転落事故防止対策」 講師：社会福祉法人 I G L 学園福祉会 菅原通俊さん	1名
1月25日（火）～ 1月28日（金）	広島県認知症介護基礎研修（eラーニング）	2名
2月9日（水）	認知症研修「チームで行う認知症ケア」 講師：社会福祉法人呉ハレルヤ会 里村佳子さん	1名
3月10日（木）	令和3年度福祉施設・事業所のクレーム対応研修 「クレームは改善・サービス向上のためのヒント」 講師：ふくろう法律事務所弁護士 松宮良典さん	1名

ウ 行事等

季節にそった行事やレクリエーションを行い、5感を使い四季を感じることができた。
午前中は、それぞれ得意な手芸や、共同作品作りを行った。

○ 年間行事

- | | |
|-----------------------|---------------------|
| 4月 花見ドライブ・花見会 | 5月 避難訓練（中止） |
| 6月 買い物ツアー（中止） | 7月 尾道大学吹奏楽コンサート（中止） |
| 9月 敬老会 | 10月 ミニ運動会 |
| 12月 鍋パーティー（中止）・クリスマス会 | |
| 2月 ふれ愛カフェ・節分会 | 3月 ひな祭り会 |
- ※誕生日会（利用者に合わせて）

○ レクリエーション

・連想ゲーム・ボール送り・ボール入れ・おじゃみなげ・輪投げ・ボーリング・風船つり・ゲートボール・新聞ふみふみゲーム・ピンポンゲーム・カップインワン・テーブルカーリング・もぐらたたき・傘入れゲーム・バスケット・プレゼント集めゲーム・カップ麺ホッケー・ピンポンゲーム・キングズカップ・しゃもじ相撲・人生ゲーム（新作）・新おじゃみいれ（新作）・競馬ゲーム（新作）・スナイパーゲーム（新作）
ふな焼き作り・たこ焼き作り

※カラオケ、密になり得るレクリエーションはコロナウイルス感染拡大防止に伴い中止

○ ボランティアのみなさん

新型コロナウイルス感染拡大防止に伴い中止

② 因島デイサービスセンター

事業所の目標を『初心にかえり、目配り・気配り職員間の「ほう・れん・そう」的確に！』と定め、3名の常勤職員と7名の嘱託職員20名、臨時職員で事業を展開した。

ア 利用者の状況

利用者数 介護 103名、総合事業 15名、合計 118名

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
利用者延数	564	579	582	596	573	586	
開設日数	26	26	26	27	26	26	
平均利用者数	21.7	22.3	22.4	22.0	22.0	22.5	
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者延数	572	581	576	508	494	535	6,746
開設日数	26	26	26	24	24	27	310
平均利用者数	22.0	22.3	22.2	21.2	20.6	19.8	21.8

介護保険

要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
40	31	20	10	2	103

総合事業

事業対象者	要支援1	要支援2	合計
1	6	8	15

イ 研修・会議の実施状況

(ア) 事業所内研修

月 日	内 容	参加者数
7月19日(月)	防災避難訓練	13名
11月12日(金)	虐待に関するマニュアル、感染症・食中毒について 安全運転管理者研修の報告	13名
11月29日(月)	防災避難訓練	34名
12月9日(木)	高齢者虐待について、クリスマス会について	12名

※介護職員・看護職員及び調理員は、個々に毎月ミーティングを行った。

(イ) 事業所外研修

月 日	内 容	参加者数
10月8日(金)	交通安全管理者講習会	1名
12月10日(金)	令和3年度尾道ブロックデイサービス部会研修会	1名
2月25日(金)	介護事業者のための業務継続計画(BCP)セミナー 「BCP作成における重要ポイント」 講師：ミネルヴァベリタス株式会社顧問 本田茂樹さん 中部産業連盟主任コンサルタント 前田和彦さん	1名

ウ 行事等

○ 年間行事

母の日週間（5月） 父の日週間（6月）七夕短冊づくり（6月）

夏祭り週間（8月）スイカ割り週間（7月）

敬老表彰（9月）クリスマス会（12月） 甘酒週間（1月）

コーヒー週間（毎月） 誕生日祝（利用者に合わせて）

○ レクリエーション

手遊び歌 サイコロしりとり 血液サラサラ体操 ラジオ体操の歌に合わせて体操
言葉遊び ジャンケンゲーム ボール遊び 輪投げ

カラオケ・唱歌など他 音楽レクリエーション

椅子に座ってでもできる身体、頭を動かせるレクリエーション

○ ボランティアのみなさん

ハーモニカ演奏（年4回） オカリナ演奏（年6回）

健康体操（年1回）

踊りグループ（クリスマス行事に合わせて）

トーンチャイム演奏（クリスマス行事に合わせて）

新型コロナウイルス感染拡大防止に伴い状況に応じて対応した。

16. 障害福祉サービス事業

障害のある人も普通に暮らし、地域の一員としてともに生きる社会作りを目指して、障害福祉サービスによる居宅介護等の「介護給付」と、移動支援等の「地域生活支援事業」を行い、障害者の自立を支えた。

（1）障害者訪問介護事業

在宅の障害者宅をホームヘルパーが訪問し、家事・介護・移動介護の援助を行い、自立支援を図った。

① 訪問介護事業所

利用者数 55名 延利用回数 6,997回

② すずらん訪問介護事業所

利用者数 8名 延利用回数 358回

（2）障害者訪問入浴介護事業

在宅の障害者宅を入浴車で訪問し、ベッド横に浴槽を運んで入浴していただくことで清潔を保ち、快適な在宅生活が送れるようにサービス提供を行った。

○尾道市社会福祉協議会訪問入浴介護事業所

利用者数 3名

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用回数	31	31	28	31	31	28	26	31	29	22	28	29	345

(3) 障害者通所介護事業

在宅の障害者がデイサービスを利用することにより外出の機会をつくり、社会的孤立感の解消と家族の身体的・精神的な介護負担の軽減を図った。

○尾道市社会福祉協議会ふれ愛デイサービスセンター

利用者数 7名

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用回数	35	37	39	39	31	33	38	34	35	24	24	31	400